EPSON

ユーザーズガイド

機能・操作方法など、本機を使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。
また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。目的に応じて必要な章をお読みください。

4014570-02

ご注意

（1）本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。

（2）本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。

（3）本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたらご連絡ください。

（4）運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

（5）本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

（6）エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合、修理等は有償で行います。

もくじ

使用可能な用紙と給紙 / 排紙

Windows プリンタドライバの機能と関連情報

Macintosh プリンタドライバの機能と関連情報

添付されているフォントについて

オプションと消耗品について

プリンタのメンテナンス

困ったときは

付録

本書中のマーク、画面、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は必ずお読みください。
それぞれのマークには次のような意味があります。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容およびプリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容、必ずお守りいただきたい（操作）を示しています。

補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

関連した内容の参照ページを示しています。

Windows の画面について

本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows 98 の画面を使用しています。

表記について

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® Millenium Edition Operating System 日本語版
Microsoft® Windows NT® Operating System Version 4.0 日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版

本書では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows 95、Windows 98、Windows Me、Windows NT4.0、Windows 2000 と表記しています。またこれらを総称する場合は「Windows」、複数の Windows を併記する場合は「Windows 95/98」のように Windows の表記を省略することがあります。

使用可能な用紙と給紙 / 排紙

ここでは、印刷できる用紙とできない用紙、用紙のセット方法や特殊紙へ印刷する際の諸注意などについて説明しています。

用紙について

印刷できる用紙の種類

EPSON 製の用紙

次の用紙が使用できます。

使用可能な用紙		型　番	説　明
普通紙	EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙 *1	LPCPPA4（A4）	本機での印刷時、最良の印刷品質を得ることができる用紙です。 用紙トレイ、用紙カセットのどちらからでも給紙できます。
特殊紙	EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート	LPCOHPS1（A4）	EPSON 製の、カラーレーザープリンタ専用の OHP シートです。用紙トレイからの給紙のみ可能です。

*1 EPSON 製上質普通紙の印刷面は、用紙の梱包紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）です。

上記以外の EPSON 製専用紙は、本機で使用しないでください。
プリンタ内部での紙詰まりや故障の原因となります。

一般の用紙

EPSON 製の専用紙以外では、次の用紙が使用できます。

使用可能な用紙		説　明
普通紙	コピー用紙	一般の複写機などで使用する用紙です。
	上質紙	紙厚は 60 〜 90g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。
	再生紙*1	紙厚は 60 〜 90g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。
特殊紙*4	官製ハガキ*2	官製ハガキ（190g/m^2）が使用可能です。往復ハガキの場合は、中央に折り跡のないものを使用してください。
	封筒	のりやテープが付いていない洋形 0・4・6 号サイズの封筒が使用可能です。
	ラベル紙*3	台紙全体がラベルで覆われている、レーザープリンタ用のラベル紙が使用可能です。
	厚紙	紙厚は 91 〜 163g/m^2 の範囲内のものが使用可能です。
	不定形紙	用紙幅 92 〜 216mm*5、用紙長 148 〜297mm の範囲内のものが使用可能です。

*1 再生紙は、一般の室温環境下（温度 15 〜 25 ℃、湿度40 〜 60%）以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙の使用において給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

*2 絵入りのハガキなどを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着し給紙できなくなる場合がありますので、ご注意ください。また 4 面連刷ハガキは使用できません。
本書「給紙ローラのクリーニング」222 ページ

*3 台紙全体がラベルなどで覆われていないラベル紙は、プリンタ内部でのラベルのはがれにより故障の原因となるため、使用しないでください。

*4 特殊紙への印刷の際は、用紙別にご注意いただく事項が異なります。
以下のページを参照してください。
本書「特殊紙への印刷について」27 ページ

*5 Windows では 92.1mm 〜 215.9mm になります。

- 紙の種類によっては特に印刷面の指定がない場合でも、印刷する面によって排紙後の用紙の状態に差が出ることがあります。
- 用紙がカールなどしてきれいに排紙されない場合は、印刷面を替えて用紙をセットしてください。
- 特殊紙への印刷時は、印刷品質を良好な状態に保つため印刷速度を落として印刷します。
本書「プリント速度」281 ページ
- 用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。

印刷できない用紙

プリンタ（給紙ローラ、感光体、定着器）の故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、ハガキなど）
- アイロンプリント紙
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷した後の用紙
- モノクロレーザープリンタやカラーレーザープリンタ、複写機で印刷した後の用紙
- 他のカラーレーザープリンタやカラー複写機専用 OHP シート
- 一度印刷した後の裏紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙
- 糊、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙
- 和紙

給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

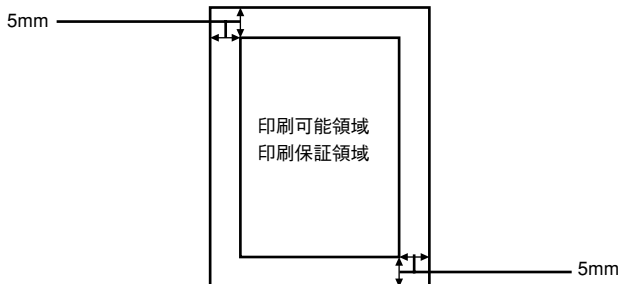
- 薄すぎる (59g/m^2 以下)用紙､厚すぎる(通常の官製ハガキ(190g/m^2)以外の 164g/m^2 以上）用紙
- 濡れている（湿っている）用紙、湿度管理されていない環境で保存された用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが異なる用紙
- 画像不良のおこりやすい用紙（レーザープリンタ / インクジェット兼用紙）
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙

定着器の熱（約 180 ℃以下）で変質、変色する用紙

- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙
- アイロンプリント紙

印刷できる領域

本機の印刷できる領域には次の2種類があります。

- 印刷保証領域：印刷の実行と印刷品質（画質など）を保証する領域です。
- 印刷可能領域：印刷の実行のみを保証する領域です。
- ハガキ〜A4の定形紙の印刷可能領域と印刷保証領域は同じです。
  用紙の各端面から5mmを除く範囲に印刷できます。

アプリケーションソフトによっては、印刷保証領域が上記より小さくなる場合があります。

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ホコリがつかないよう、包装紙などに包んだり、箱に入れて保管してください。

給紙装置と用紙のセット方法

セットできる用紙サイズと容量

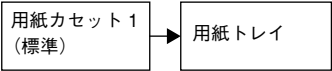
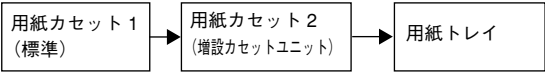
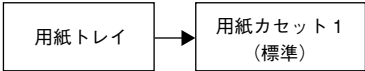
本機の給紙装置で使用できる用紙の種類は次の通りです。
特殊紙を使用する場合は、必ず用紙トレイにセットしてください。

<table>
<tr><th colspan="2">給紙装置</th><th colspan="2">用紙種類</th><th>用紙サイズ</th><th>紙　厚</th><th>容　量</th></tr>
<tr><td rowspan="11">標準装備の給紙装置</td><td rowspan="10">用紙トレイ</td><td colspan="2">普通紙</td><td>A4、A5、B5、Letter(LT)、Half-Letter(HLT)、Executive(EXE)、GovernmentLetter(GLT)</td><td rowspan="2">60 〜 90g/m^2</td><td rowspan="2">150枚(または総厚 18.5mm)</td></tr>
<tr><td colspan="2">EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙</td><td>A4</td></tr>
<tr><td rowspan="8">特殊紙*1</td><td>官製ハガキ</td><td>100mm × 148mm</td><td rowspan="2">190 g/m^2</td><td rowspan="2">50 枚</td></tr>
<tr><td>往復ハガキ</td><td>148mm × 200mm</td></tr>
<tr><td>封筒</td><td>洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号</td><td>ー</td><td>10 枚</td></tr>
<tr><td>ラベル紙</td><td>ハガキ〜 A4</td><td>91〜163g/m^2</td><td>50 枚</td></tr>
<tr><td>厚紙</td><td>ハガキ〜 A4</td><td>91〜163g/m^2</td><td>50 枚</td></tr>
<tr><td rowspan="2">不定形紙</td><td rowspan="2">用紙幅：92 〜 216mm (Windows　の場合は、92.1 〜 215.9mm)
用紙長*2：148 〜 297mm</td><td>60 〜 90g/m^2</td><td>150枚(または総厚 18.5mm)</td></tr>
<tr><td>91〜163g/m^2</td><td>50 枚</td></tr>
<tr><td>EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート</td><td>A4</td><td>140g/m^2</td><td>50 枚</td></tr>
<tr><td>用紙カセット</td><td colspan="2">普通紙
EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙</td><td>A4、Letter(LT)</td><td>60 〜 90g/m^2</td><td>500枚(または総厚 55mm)</td></tr>
<tr><td>オプション</td><td>増設カセットユニット LP30CWC1</td><td colspan="2">普通紙
EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙</td><td>A4、Letter(LT)</td><td>60 〜 90g/m^2</td><td>500枚(または総厚 55mm)</td></tr>
</table>

*1 特殊紙の詳細については、以下のページを参照してください。
本書「特殊紙への印刷について」27 ページ
*2 用紙長を 210mm 未満に設定した場合は、良好な印字品質を保つために印刷速度を落として印刷します。

給紙装置の優先順位について

プリンタドライバで給紙装置を［自動選択］に設定すると、印刷実行時にプリンタドライバで設定した用紙サイズと一致する用紙がセットされている給紙装置から給紙します。
また、最初に給紙した給紙装置の用紙がなくなると、他の給紙装置を調べて同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙します。
給紙装置を調べる順序（初期設定値）は次の通りです。

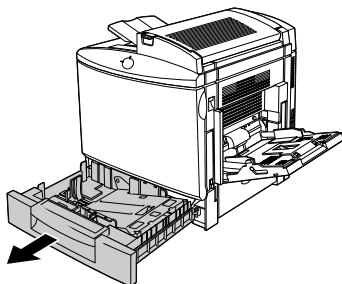
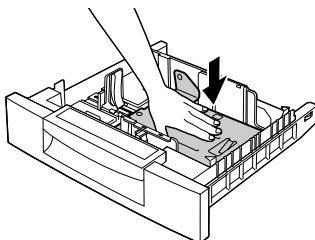
- 標準状態

- 増設カセットユニット（オプション）装着時

- ［プリンタ設定］ダイアログで、優先する給紙装置を変更することができます。
  本書「［プリンタ設定］ダイアログ」Windows 70 ページ
  「［プリンタセットアップ］ダイアログ」Macintosh 156 ページ

- 用紙サイズや給紙装置の指定をアプリケーションソフト上で行っている場合、アプリケーションソフト上での設定がプリンタドライバでの設定より優先される場合があります。

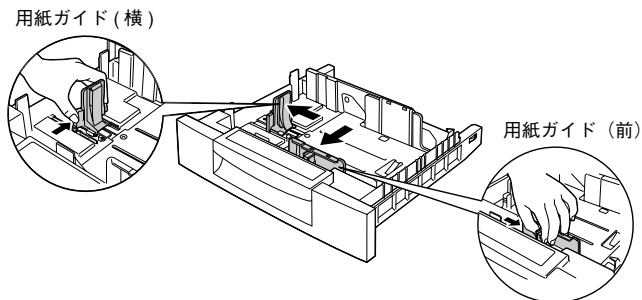
同サイズの普通紙の場合、以下の連続給紙が可能です。

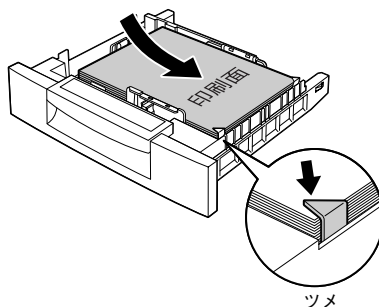
給紙装置の組み合わせ	合計枚数
標準（用紙カセット 1 ＋ 用紙トレイ）	650 枚
オプションの増設カセットユニット装着時	1,150 枚

用紙カセットへの用紙のセット

ここでは、標準の用紙カセットに用紙をセットする方法を説明します。オプションの増設カセットユニットの場合も、同じ手順で用紙をセットできます。

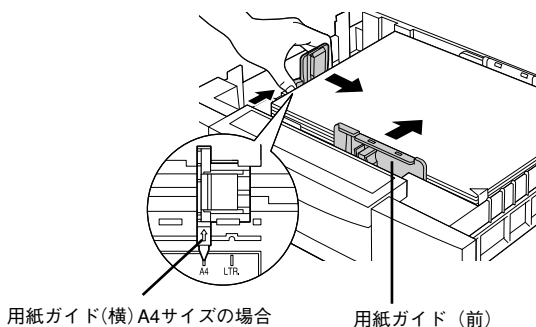
1. **用紙カセットを取り外します。**

2. **用紙カセット内部の金属板がカチッと音がして固定されるまで押し下げます。**

3 **用紙ガイド（前）/（横）を、用紙がセットできるようにずらします。**

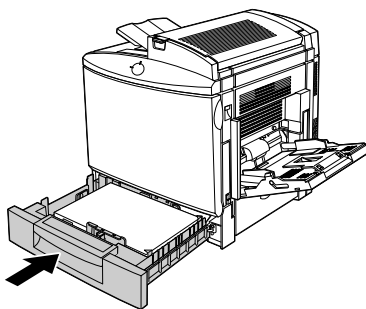
- 図に示す部分をつまんでガイドを移動します。
- 用紙がセットしやすいように用紙幅より少し広めにずらします。

4 **用紙をセットします。**

印刷する面を上に向けて、用紙カセットの右側 2 箇所のツメの下に差し込むようにしてセットします。

用紙のセット時には、次の点に注意してください。

- 用紙の四隅をそろえてセットしてください。
- 折り跡やシワの入った用紙は取り除いてください。
- 用紙は最大 500 枚（総厚 55mm）までセットできます。最大セット枚数以上の用紙をセットすると正常に給紙できない場合があります。
- 用紙カセット右側2箇所のツメの上に用紙が乗り上げないように注意してください。

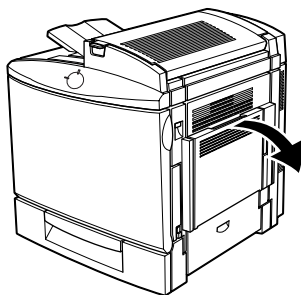
5 **用紙ガイド（前）/（横）を用紙の側面に合わせます。**

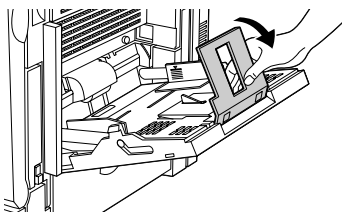
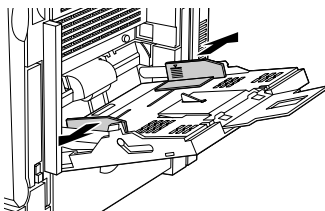
用紙ガイド（横）の突起部分を用紙カセット底面の用紙サイズ目盛りに合わせます。

用紙ガイド（横）は、必ず用紙カセット底面の用紙サイズ目盛りに合わせてください。用紙ガイド（横）は、用紙カセットの用紙サイズをプリンタ側に知らせる働きがあります。用紙ガイド（横）が用紙サイズ目盛りに合っていない場合、プリンタ側は用紙サイズを正しく検知できないため正常な印刷が行えません。

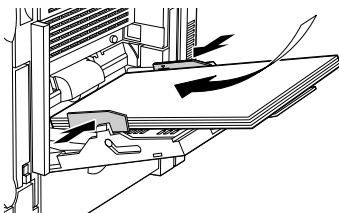
6 **用紙カセットをプリンタに差し込みます。**

以上で用紙カセットへの用紙のセットは終了です。

用紙トレイへの用紙のセット

ここでは普通紙、EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙を例に、用紙トレイに用紙をセットする方法を説明します。

1 **用紙トレイを開けます。**

2 **延長トレイを広げます。**

ハガキや封筒などの小さなサイズの用紙をセットする場合は広げる必要はありません。

3 **左右の用紙ガイドを、用紙のサイズより広くなるようにずらします。**

4 **用紙をセットします。**

① 印刷する面を下に向け、左右の用紙ガイドに沿わせて用紙を縦方向にセットします。
② 左右の用紙ガイドは、用紙トレイ底面の用紙サイズ目盛りに合わせます（用紙の側面に軽く当たる状態にします）。

用紙のセット時には、次の点に注意してください。

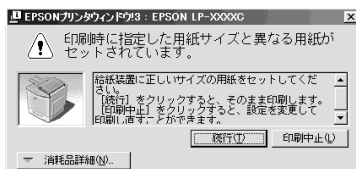
- 用紙の四隅をそろえてセットしてください。
- 折り跡やシワの入った用紙は取り除いてください。
- 普通紙の場合、最大 150 枚（総厚 18.5mm）までセットできます。最大セット枚数以上の用紙をセットすると正常に給紙できない場合があります。
  封筒などの特殊紙がセットできる枚数については、以下のページを参照してください。
  本書「給紙装置と用紙のセット方法」15 ページ

セットする用紙のサイズを変更しない場合は、以上で用紙のセットは終了です。
用紙サイズを変更する場合は、次ページに進みます。

トレイ用紙サイズの設定

用紙トレイは、自動的に用紙のサイズを検知することができません。そのため、用紙トレイにセットする用紙のサイズを変更した場合は、以下の方法でプリンタに用紙トレイの用紙サイズを設定してください。

ポイント

- Windows NT4.0/2000 をお使いの場合は、ローカルマシンの管理者権限のあるユーザ（Administrators）でログオンする必要があります。
- 設定に誤りがあるとプリンタは用紙サイズエラーを発生して、以下の画面を表示します。[続行] ボタンをクリックするとプリンタは、印刷を再開します。ただし、画面上と異なる配置で印刷される場合があります。

プリンタは、用紙を通紙することで、用紙サイズを認識して自動的に［トレイ用紙サイズ］を変更します。次回印刷時からは、エラーを発生することなく正常に印刷できます。

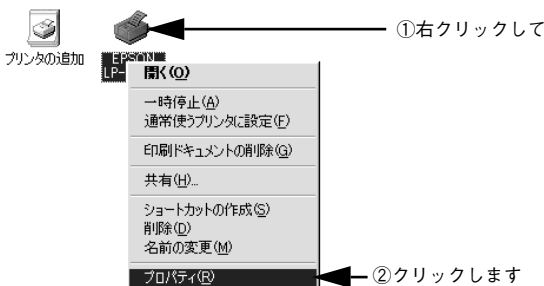
Windows での設定

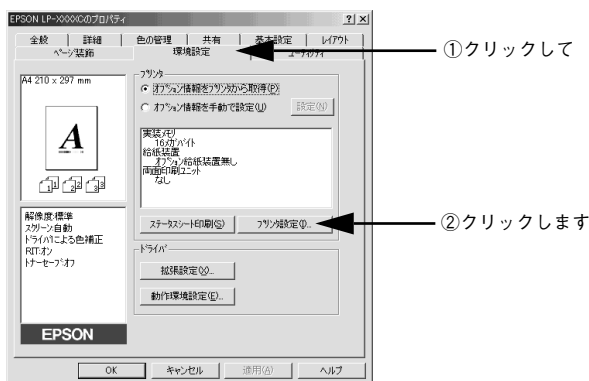
1 プリンタの電源がオンになっていることを確認します。

2 Windows の［プリンタ］フォルダを開きます。

［スタート］ボタンをクリックして、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

3 本機のプリンタドライバの設定画面を開きます。

［LP-2000C］アイコンを右クリックして、メニュー内の［プロパティ］をクリックします。

4 **［プリンタ設定］ダイアログを開きます。**

［環境設定］タブをクリックしてから、［プリンタ設定］ボタンをクリックします。

5 **プリンタが印刷中でないことを確認してから、用紙トレイにセットした用紙のサイズを選択します。**

［トレイ用紙サイズ］のリストボックスから、セットしてある用紙のサイズを選択します。［設定実行］ボタンをクリックしてから［閉じる］ボタンをクリックします。

プリンタ印刷中に［設定実行］ボタンをクリックしないでください。
正常に設定されない場合があります。

その他の項目については、ヘルプまたは以下のページをご覧ください。
本書「［プリンタ設定］ダイアログ」70 ページ

6 **［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。**

選択したサイズがプリンタに設定されます。以上でトレイ用紙サイズの設定は終了です。

Macintosh での設定

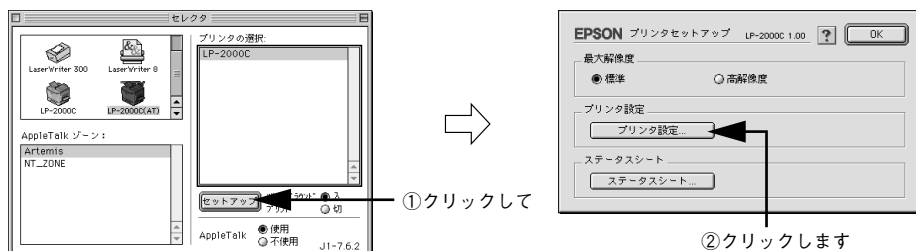
1　プリンタの電源がオンになっていることを確認します。

2　セレクタを開いて、本機を選択します。

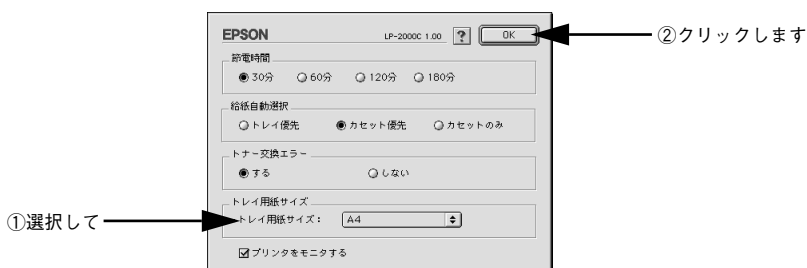
プリンタの選択方法の詳細は、以下のページをご覧ください。

スタートアップガイド「プリンタドライバの選択」41 ページ

3　［プリンタ設定］ダイアログを開きます。

［セットアップ］ボタンをクリックしてから、［プリンタ設定］ボタンをクリックします。

4　プリンタが印刷中でないことを確認してから、用紙トレイにセットした用紙のサイズを選択します。

［トレイ用紙サイズ］のメニューから、セットしてある用紙のサイズを選択します。

プリンタの印刷中に［OK］ボタンをクリックしないでください。
正常に設定されない場合があります。

その他の項目については、以下のページをご覧ください。

本書「［プリンタセットアップ］ダイアログ」156 ページ

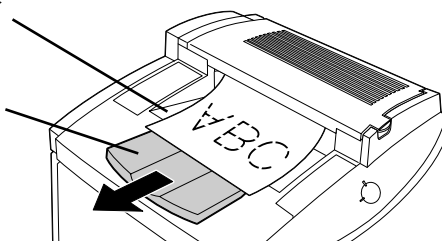
5　［OK］ボタンをクリックして画面を閉じます。

選択したサイズがプリンタに設定されます。以上でトレイ用紙サイズの設定は終了です。

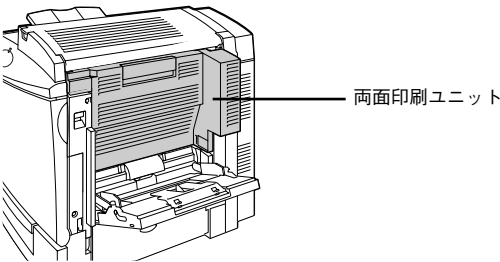
排紙装置について

印刷した用紙を排紙する装置について説明します。

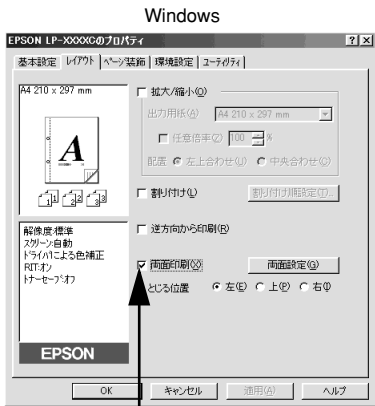
フェイスダウントレイ

プリンタ本体の上面がフェイスダウントレイです。印刷面を下にして排紙されます。A4、Letter（80g/m^2）の場合、500 枚まで排紙できます。

延長トレイ

フェイスダウントレイに収まらないサイズの用紙を排紙する場合などに、排紙された用紙を保持するよう必要に応じて引き出します。

両面印刷ユニット（オプション）について

以下の用紙に印刷できます。

用紙種類	普通紙（用紙厚 60 ～ 90g/m²）/EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙
用紙サイズ	A4、Letter(LT)

両面印刷ユニットを使って自動両面印刷を行う場合は、プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログを開いて、［両面印刷］のチェックボックスをチェックします。
☞ 本書「［レイアウト］ダイアログ」Windows　50 ページ
Macintosh　144 ページ

両面印刷ユニット使用時の制限事項

- 用紙の表側に印刷するデータと、用紙の裏側に印刷するデータで、用紙サイズや給紙装置の設定が異なる場合、両面印刷はできません。この場合、両方とも用紙の表側に印刷して出力します。
- A5、B5、Half Letter（HLT）、Executive（EXE）、Government Letter（GLT）および不定形サイズの用紙は両面印刷できません。
- 特殊紙は、両面印刷できません。

特殊紙への印刷について

ここでは、ハガキなど、特殊紙への印刷方法について説明します。

- 特殊紙は、用紙トレイにセットしてください。用紙カセットから特殊紙は給紙できません。
- 特殊紙への印刷時は、良好な印刷品質を保つために印刷速度を落として印刷します。
  本書「プリント速度」281 ページ

ハガキへの印刷

- 絵入りハガキを給紙すると、絵柄裏移り防止用の粉が給紙ローラに付着して、給紙できなくなる場合があります。
  本書「給紙ローラのクリーニング」222 ページ
- 以下のハガキは使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。
  インクジェットプリンタ用の専用ハガキ
  私製ハガキ
  箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ
  絵ハガキなどの厚い（190g/m² 以上）ハガキ
  他のプリンタや複写機で一度印刷したハガキ
  大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください。）
  四面連刷ハガキ

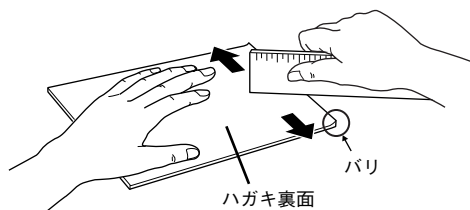
プリンタドライバの設定		ダイアログ	項目	設定値
官製ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	[ハガキ 100mm × 148mm]
			給紙装置	[用紙トレイ]
		プリンタ設定	トレイ用紙サイズ	[ハガキ]
	Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	[ハガキ]
		プリント	給紙装置	[用紙トレイ]
		プリンタ設定	トレイ用紙サイズ	[ハガキ]
往復ハガキ	Windows	基本設定	用紙サイズ	ユーザー定義サイズで設定
			用紙種類	[厚紙]
			給紙装置	[用紙トレイ]
	Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	カスタム用紙で設定
		プリント	用紙種類	[厚紙]
			給紙装置	[用紙トレイ]

ポイント

- 奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数 mm 上に反らせてセットしてください。
- ハガキに印刷する前に、同じサイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などを確認してください。
- 往復ハガキは、折り跡のないものを使用してください。

ハガキの「バリ」除去について

ハガキによっては、裏面に「バリ」(裁断時のかえり)が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には以下の方法に従って除去してください。

ハガキを水平な所に置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に 1 〜 2 回こすり、「バリ」を除去します。

注 意

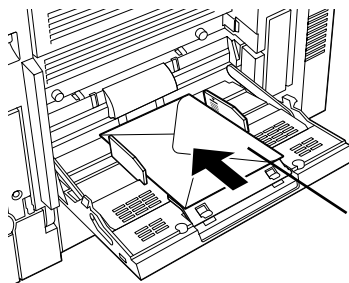
「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなるおそれがあります。万一、用紙を給紙できなくなった場合は、給紙ローラをクリーニングしてください。

本書「給紙ローラのクリーニング」222 ページ

封筒への印刷

封筒の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の封筒を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

以下の封筒は使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。特に糊付け加工が施されている封筒は、致命的な故障の原因になる場合がありますので、絶対に使用しないでください。

- 封の部分に糊付け加工が施されている封筒
- 箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のある封筒
- リボン、フックなどが付いている封筒
- 他のプリンタや複写機で一度印刷した封筒
- 二重封筒
- 窓付きの封筒
- 高温（約 180 ℃以下）で変質する可能性のあるインクで印刷がされた封筒

給紙方法：

- フラップを閉じ、印刷面を下にしてセット
- セット可能枚数：10 枚

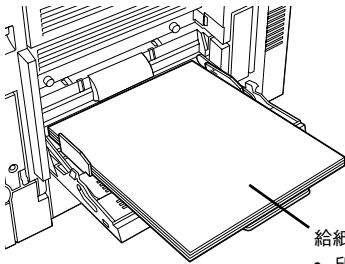
プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	[洋形０号] [洋形４号] [洋形６号]
		給紙装置	[用紙トレイ]
	プリンタ設定	トレイ用紙サイズ	[洋形０号] [洋形４号] [洋形６号]
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	[洋形０号] [洋形４号] [洋形６号]
	プリント	給紙装置	[用紙トレイ]
	プリンタ設定	トレイ用紙サイズ	[洋形０号] [洋形４号] [洋形６号]

- 印刷可能な封筒のサイズは、洋形 0 号、洋形4 号、洋形6 号の3 つ（洋形封筒のみ）です。長形、角形などの封筒はご使用になれません。
- セットしても給紙されなかった場合は、先端を数 mm 上に反らせてセットしてください。

厚紙への印刷

厚紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量の厚紙を購入する前には、必ず試し印刷をして、印刷の状態を確認してください。

厚紙への印刷時は、プリンタドライバの［用紙種類］を必ず［厚紙］に設定してください。

本書「用紙種類」Windows 40 ページ
Macintosh 134 ページ

給紙方法：
- 印刷面を下にしてセット
- セット可能枚数：50 枚（163g/m^2）

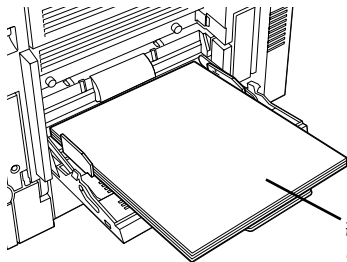
プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［厚紙］
	プリンタ設定	トレイ用紙サイズ	用紙トレイにセットしたサイズ
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［厚紙］
	プリンタ設定	トレイ用紙サイズ	用紙トレイにセットしたサイズ

ラベル紙への印刷

ラベル紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量のラベル紙を購入する前には、必ず試し印刷をして印刷の状態を確認してください。

注意

以下のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。

- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 一部がはがれているラベル紙
- 糊がはみ出しているラベル紙
- 台紙全体がラベルで覆われていないラベル紙
- インクジェットプリンタ用のラベル紙

給紙方法：

- 印刷面（ラベル面）を下に向けてセット
- セット可能枚数：50 枚

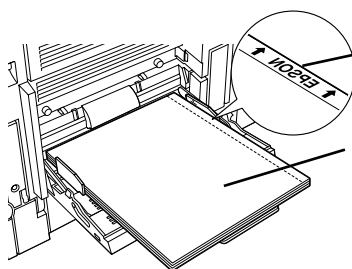
プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
		給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	厚紙
	プリンタ設定	トレイ用紙サイズ	用紙トレイにセットしたサイズ
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	印刷データで設定した用紙のサイズを設定
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	厚紙
	プリンタ設定	トレイ用紙サイズ	用紙トレイにセットしたサイズ

ポイント

- レーザープリンタ用またはコピー機用のものを使用してください。
- 紙が厚い（91 ～ 163g/m^2）の場合は、プリンタドライバの［用紙種類］を［厚紙］に設定してください。

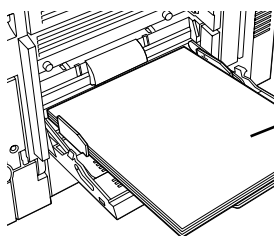
OHP シートへの印刷

本機では EPSON 製カラーレーザープリンタ用 OHP シート（型番：LPCOHPS1）をご使用ください（以下、「専用 OHP シート」と記載）。

- OHP シートへの印刷時は、プリンタドライバの［用紙種類］を必ず［OHP シート］に設定してください。
  本書「用紙種類」Windows 40 ページ
  Macintosh 134 ページ
- 以下の OHP シートに印刷を行うと、故障や印刷不良の原因となります。
  ・専用 OHP シート以外の OHP シート
  ・一度印刷した OHP シート
  ・専用 OHP シートの非印刷面への印刷
  特にインクジェットプリンタ用 OHP シートまたは表面に特殊コートを施した OHP シートは、致命的な故障の原因になる場合がありますので、絶対に使用しないでください。
- OHP シートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHP シートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。
- 印刷直後の OHP シートは熱くなっていますのでご注意ください。

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	［A4］
		給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［OHP シート］
	プリンタ設定	トレイ用紙サイズ	［A4］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	［A4］
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］
		用紙種類	［OHP シート］
	プリンタ設定	トレイ用紙サイズ	［A4］

不定形紙への印刷

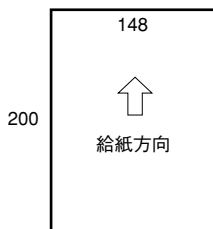
本機では、用紙幅 92 ～ 216mm（Windowsの場合は 92.1～215.9mm)、用紙長 148 ～297mm のサイズの用紙に印刷することができます。

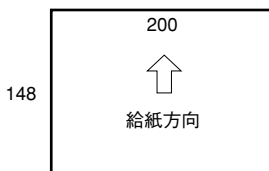
アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。

給紙方法：
- 印刷面を下に向けて印刷
- セット可能枚数：150 枚 *1
- 用紙幅：92 ～ 216mm
  用紙長：148 ～297mm

プリンタドライバの設定	ダイアログ	項目	設定値
Windows	基本設定	用紙サイズ	ユーザー定義サイズで設定 *2
		給紙装置	［用紙トレイ］
Macintosh	用紙設定	用紙サイズ	カスタム用紙で設定 *2
	プリント	給紙装置	［用紙トレイ］

*1 紙厚が 91～ 163g/m² の場合のセット可能枚数は 50 枚です。
*2 用紙長を 210mm 未満に設定した場合は、良好な印字品質を保つために速度を落として印刷します。

用紙のセット方向は、プリンタドライバのユーザー定義サイズで設定した通りにプリンタにセットしてください。

< 例 >ユーザー定義サイズを「用紙幅 148×用紙長 200mm」に設定した場合

< 例 >ユーザー定義サイズを「用紙幅 200×用紙長 148mm」に設定した場合

200
148
給紙方向

Windows プリンタドライバの機能と関連情報

プリンタドライバの詳細説明と、Windows でお使いの際に関係する情報について説明しています。

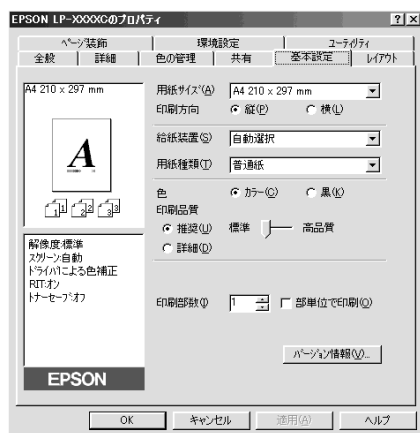
プリンタドライバの設定

印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバのプロパティを開いて変更します。
プロパティの開き方は、2 通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。

アプリケーションソフトからの開き方

通常の印刷時は、この方法で設定します。アプリケーションソフトからプリンタドライバを開く方法は、ソフトウェアによって異なります。標準的な方法は、[ファイル]メニューから［印刷］をクリックして［印刷］ダイアログを表示させ、[プロパティ]ボタンをクリックします。以下のページの手順を参考にしてください。

☞ スタートアップガイド「印刷手順」35 ページ

［プリンタ］フォルダからの開き方

画面は Windows 98 の場合です。

画面は Windows 2000 で［プロパティ］を開いた場合です。

［プリンタ］フォルダでは、コンピュータにインストールされているプリンタの設定および管理と新しいプリンタの追加が実行できます。［プリンタ］フォルダでのプリンタドライバの設定値は、アプリケーションソフトからプリンタドライバを開いた際の初期値になります。

1 Windows の［プリンタ］フォルダを開きます。

［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせてから、［プリンタ］をクリックします。

2 ［プリンタ］フォルダ内の［EPSON　LP-2000C］アイコンを右クリックしてから、Windows 95/98/Me の場合は［プロパティ］を、Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値］を、Windows 2000 の場合は［印刷設定］をクリックします。

Windows NT4.0/2000 の場合、プリンタに装着したオプションを設定したり、接続先のポートを変更するときは、［プロパティ］を選択する必要があります。プリンタドライバの設定値を変更する場合に、［ドキュメントの既定値］または［印刷設定］を選択します。

プリンタドライバで設定できる項目

本章は、LP-2000C プリンタドライバの設定項目に関して以下の項目に分けて説明します。

印刷の基本設定

用紙サイズ、給紙方法、印刷方法など、印刷に関わる基本的な設定を行うには、以下のページを参照してください。

本書「[基本設定] ダイアログ」38 ページ

レイアウトの設定

拡大 / 縮小印刷、割り付け印刷など、レイアウトに関する設定を行うには、以下のページを参照してください。

本書「[レイアウト] ダイアログ」50 ページ

ページ装飾

スタンプマークを重ねて印刷したい、印刷の日付や印刷を行うユーザー名を印刷するには、以下のページを参照してください。

本書「[ページ装飾] ダイアログ」58 ページ

プリンタの環境設定

プリンタに装着したオプションを認識させたり、ステータスシートを印刷したり、またプリンタの動作環境を設定するには、以下のページを参照してください。

本書「[環境設定] ダイアログ」66 ページ

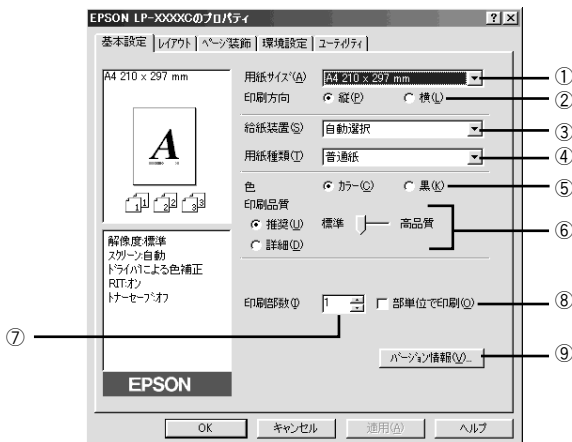
ユーティリティの起動

プリンタの状態をモニタする EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動するには、以下のページを参照してください。

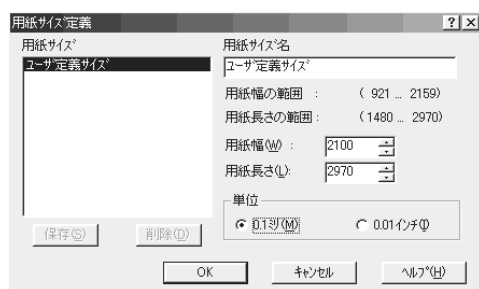
本書「[ユーティリティ] ダイアログ」75 ページ

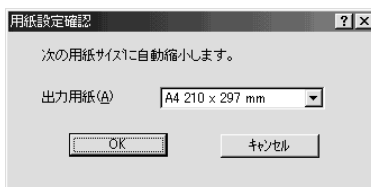
［基本設定］ダイアログ

プリンタドライバの［基本設定］ダイアログでは、印刷に関わる基本的な設定を行います。

< 例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

①用紙サイズ

アプリケーションソフトで設定した印刷データの用紙サイズを選択します。目的の用紙サイズが表示されていない場合は、スクロールバーの矢印［▲］［▼］をクリックして表示させてください。

- アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバの［用紙サイズ］は必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、間違ったサイズで印刷したり、印刷できない場合があります。
- Windows NT4.0/2000 の場合は、本機のサポートしないサイズが表示されます。本機がサポートしないサイズは選択しないでください。
  本書「セットできる用紙サイズと容量」15 ページ

自動縮小印刷：

プリンタがサポートするサイズより大きい A2 などを選択した場合､以下の画面が表示されます。［出力用紙］のリストボックスで選択した用紙サイズに合わせて、自動縮小して印刷します。

ユーザー定義サイズ：

任意の用紙サイズを設定するには、リスト内の［ユーザー定義サイズ］を選択します。

設定できるサイズは以下の通りです。
用紙幅：921 ～ 2159mm（3.63 ～ 8.50 インチ）
用紙長：1480 ～ 2970mm（5.83 ～ 11.69 インチ）
本書「任意の用紙サイズを登録するには」48 ページ

②印刷方向

印刷する用紙の方向を、［縦］・［横］のいずれかクリックして選択します。アプリケーションソフトで設定した印刷の向きに合わせます。

③給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探し給紙します。
用紙トレイ	用紙トレイから給紙します。
用紙カセット 1	標準の用紙カセットから給紙します。
用紙カセット 2	オプションの増設カセットユニットにセットしている用紙カセットから給紙します。

- 選択した給紙装置に指定された用紙サイズがセットされていない場合や正しく検知されない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。
  本書「［拡張設定］ダイアログ」71 ページ
- ［自動選択］を選択して拡大／縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して給紙します。
- 用紙トレイはセットした用紙サイズを自動的に検知できませんので、必ず［プリンタ設定］ダイアログで用紙サイズを設定してください。
  本書「トレイ用紙サイズの設定」22 ページ

④用紙種類

特殊紙（OHP シート、厚紙）に印刷する場合に選択します。

項目	説明
普通紙	普通紙に印刷する場合に選択します。
OHP シート、厚紙	左記の特殊紙に印刷する場合に選択します。[給紙装置］には［用紙トレイ］が設定されます。

ハガキ、封筒へ印刷する場合は、設定の必要はありません。

⑤色

カラー印刷を行うときは、[カラー] を、モノクロ印刷を行うときは [黒] を選択します。

⑥印刷品質

印刷の品質を決定するさまざまな機能を設定します。

項目	説明
推奨	一般的に推奨できる条件で印刷します。ほとんどの場合、この［推奨］でよい印刷結果が得られます。[標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）どちらかを選択できます。通常は［標準］の設定で十分な印刷品質が得られます。[高品質］は、印刷品質を最優先にして印刷を行うときに選択してください。
詳細	［詳細］をクリックすると、プリセットメニューのリストボックスと［設定変更］／［保存 / 削除］ボタンが有効になります。

カラー印刷時には、以下のプリセットメニューをご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック /CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
オートフォトファイン !4	EPSON独自の画像補正技術オートフォトファイン!4を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
ICM	Windows 95/98/Me/2000 の ICM(Image Color Matching) 機能を使用してスキャナから取り込んだ画像と、プリンタの印刷結果の色合いを合わせて印刷します。
sRGB	スキャナやディスプレイなどの機器が sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチングを行って印刷します。ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ / グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック /CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

項目	説明
［設定変更］ボタン	［設定変更］ボタンをクリックすると［詳細設定］ダイアログが開き、詳細な設定ができます。詳しくは以下のページを参照してください。 本書「［詳細設定］ダイアログ」43 ページ
［保存 / 削除］ボタン	［詳細設定］ダイアログで設定した内容を保存 / 削除できます。詳しくは以下のページを参照してください。 本書「ユーザー設定の保存方法」47 ページ 保存したユーザー設定は、プリセットメニューから選択できます。

⑦印刷部数

印刷する部数（1 〜 999）を設定します。

⑧部単位で印刷

チェックマークを付けると、2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、⑦の［印刷部数］で指定します。

アプリケーションソフト側で部単位印刷の設定ができる場合は、アプリケーションソフト側の設定をオフ（部単位印刷しない）にしてから、プリンタドライバで設定してください。

⑨［バージョン情報］ボタン

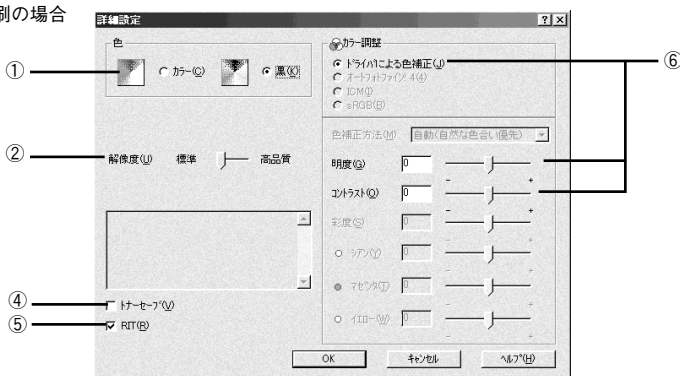
クリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を示すダイアログが開きます。

［詳細設定］ダイアログ

［基本設定］ダイアログで［印刷品質］の［詳細］をクリックして、さらに［設定変更］ボタンをクリックすると、印刷条件の詳細な設定ができます。

カラー印刷の場合

モノクロ印刷の場合

①色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［黒］を選択します。［色］の設定によって、設定できるほかの印刷条件は異なります。

②解像度

印刷の解像度を［標準］(300dpi) または［高品質］(600dpi)のどちらかに設定できます。［高品質］を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合は、［標準］に設定してください。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、解像度を［標準］に設定してください。

③スクリーン（カラー印刷のみ）

スクリーン線数（lpi）を選択します。

項目	説明
自動	スクリーン線数を自動的に設定します。
階調優先	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。
解像度優先	解像度を優先して印刷します。細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。

［基本設定］－［用紙種類］で［OHP シート］を選択している場合は、OHPシート専用のスクリーンが用いられるので設定できません。

④トナーセーブ

クリックしてチェックマークを付けると、トナーセーブ機能が有効になります。色の表現力を低く抑えて印刷します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

カラー印刷の場合、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

⑤ RIT

クリックしてチェックマークを付けると、RIT*1（Resolution Improvement Technology）機能が有効になります。大きな文字を印刷するときに、より効果が得られます。

*1 RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するEPSON独自の印刷機能。

- RIT機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合はRIT機能を使用しないでください。
- カラー印刷の場合、③の［スクリーン］の設定またはデータ上の色によってRIT機能が有効にならない場合があります。

⑥ドライバによる色補正

プリンタドライバによるカラー調整を行います。［ドライバによる色補正］を選択した場合は、以下の設定でカラーを調整できます。

ガンマ：

ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。この設定は、［ドライバによる色補正］を選択した場合にのみ有効です（モノクロ印刷では設定できません）。

［1.5］	従来の EPSON カラーレーザープリンタ（LP-8000C/8200C）の色合いに近づけて印刷します。
［1.8］	通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値 1.5 に比べ立体感がありメリハリのある画像を印刷することができます。
［2.2］	sRGB 対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください。⑨の［sRGB］を選択しても同様の結果が得られます。

色補正方法：

色の補正方法を選択できます。（モノクロ印刷では設定できません。）

［自動（自然な色合い優先）］	文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
［自動（鮮やかさ優先）］	文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
［自然な色合い］	より自然な発色になるようにカラー調整します。
［鮮やかな色合い］	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
［色補正なし］	カラー調整しません。ICM 用プロファイルを作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

明度：

画像全体の明るさを調整します。

コントラスト：

画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度：

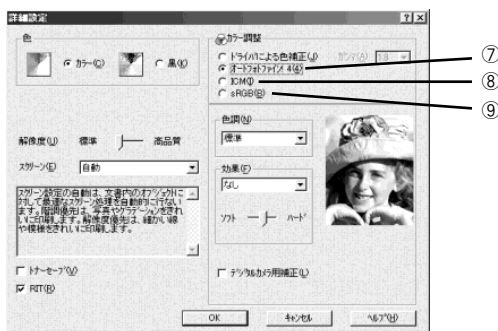
画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります（モノクロ印刷では設定できません）。

シアン、マゼンタ、イエロー：

各色の強さを調整します（モノクロ印刷では設定できません）。

	-25 ← 0 → +25	
シアン	赤みが強くなります。	青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。	赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。	黄色（イエロー）が強くなります。

⑦オートフォトファイン !4（カラー印刷のみ）

EPSON 独自のオートフォトファイン !4 機能を使って、画像を高画質化します。ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や Photo CD のデータなどを自動的に補正して印刷します。

項目	説明
色調	印刷する際の画像の色調の補正方法を、[標準]［硬調］［セピア］［鮮やか］［モノクロ］［色調補正なし］の項目から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。
効果	印刷する際に画像に特殊効果を加えて印刷します。[なし］［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンパス］［和紙］の中から選択することができます。リスト下のスライドバーは、加える効果の強弱（[ハード]、[ソフト]）を調整することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。
デジタルカメラ用補正	デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正をして印刷します。

- 画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が多少長くなります。
- オートフォトファイン !4 は、1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対して最も有効に機能します。256 色などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

⑧ ICM（カラー印刷のみ）

Windows 95/98/Me/2000 の ICM（Image Color Matching）機能を使用して、スキャナから取り込んだ画像とプリンタの印刷結果の色合いを合わせるときに選択します。

⑨ sRGB*1（カラー印刷のみ）

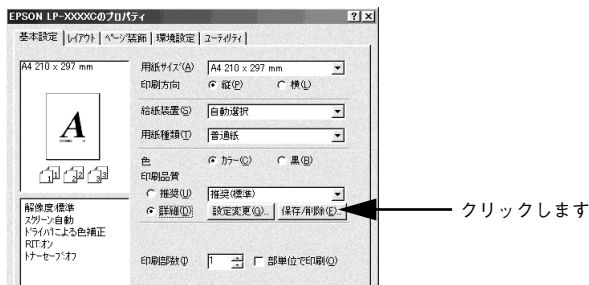
スキャナやディスプレイなどが sRGB に対応している場合、それぞれの機器とカラーマッチング（色合わせ）を行って印刷します。
ご利用の機器が sRGB に対応しているかは、機器のメーカーにお問い合わせください。

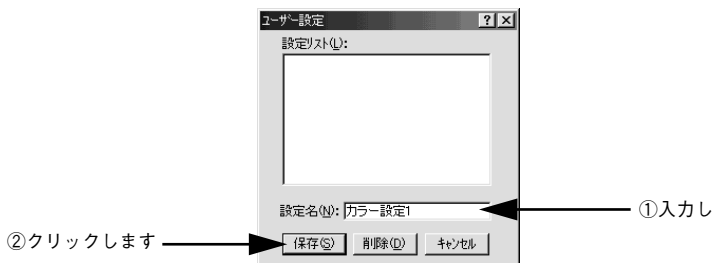
*1 sRGB：Microsoft 社とヒューレットパッカード社が共同で制定した RGB の色の規格。

ユーザー設定の保存方法

ここでは、［詳細設定］ダイアログの設定を保存する方法、また、以前に保存した設定を削除する方法を説明します。

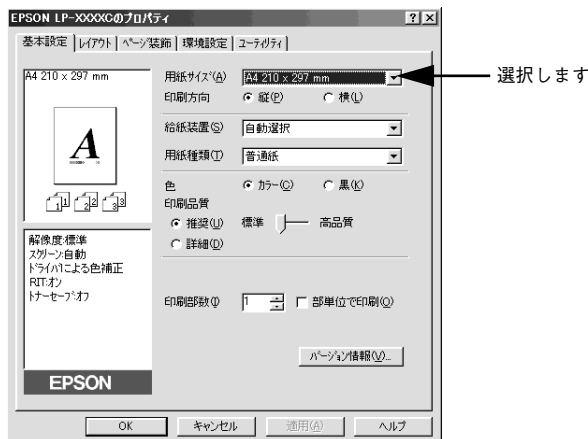
1 **［詳細設定］ダイアログで各項目を設定し、［OK］ボタンをクリックします。**

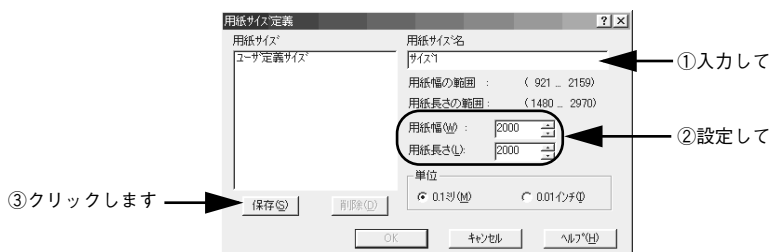
2 **［保存 / 削除］ボタンをクリックします。**

3 **［設定名］に任意の名称を入力し、［保存］ボタンをクリックします。**

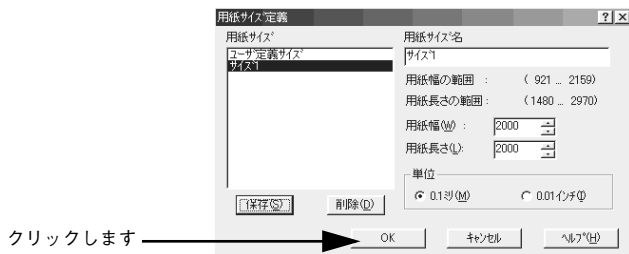
設定を削除する場合は、［設定リスト］から削除する設定名をクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。10 件まで登録することができます。

［基本設定］ダイアログのプリセットメニューに設定が追加されました。
以上でユーザー設定の保存は終了です。

任意の用紙サイズを登録するには

［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として登録することができます。

1 プリンタドライバの［基本設定］ダイアログを開き、［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。

2 登録名を［用紙サイズ名］に入力し、登録したい［用紙幅］と［用紙長さ］を入力してから、［保存］ボタンをクリックします。

数値の単位は、［0.1 ミリ］または［0.01 インチ］のどちらかを選択できます。

- 登録できる用紙サイズの数は 20 までです。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］リストから変更したい用紙サイズを選択して保存し直します。
- すでに登録されている用紙サイズを削除する場合は、［用紙サイズ］リストからサイズ名をクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。

3 ［OK］ボタンをクリックします。

これで、定義した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。

本書「不定形紙への印刷」33 ページ

［レイアウト］ダイアログ

プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログでは、印刷するページのレイアウトに関わる設定を行います。

< 例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

①拡大 / 縮小

チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、拡大 / 縮小機能が有効になります。詳しくは以下のページを参照してください。

本書「拡大 / 縮小して印刷するには」51 ページ

②割り付け

チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数と順序を設定するには、［割り付け順設定］ボタンをクリックします。詳しくは以下のページを参照してください。

本書「1 ページに複数ページのデータを印刷するには」52 ページ

③逆方向から印刷

印刷データを180度回転して印刷する場合にクリックしてチェックマークを付けます。

④両面印刷

オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に選択できます。クリックしてチェックマークを付けると、両面印刷を行います。製本印刷の設定も行えます。

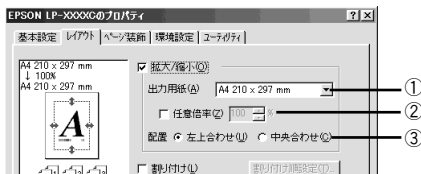
本書「両面印刷 / 製本印刷をするには」54 ページ

両面印刷を行う場合、次の点に注意してください。

- 両面印刷ユニットを使って自動両面印刷できるのは、A4、Letter（LT）サイズの普通紙だけです。それ以外のサイズの用紙、および特殊紙には両面印刷ユニットを使用しての両面印刷はできません。
- 両面印刷の製本機能と割り付け機能を同時に設定することはできません。
- 用紙カセットの用紙ガイドは、用紙サイズの目盛りに正しく合わせてください。また、用紙トレイにセットした用紙のサイズを正しく設定してください。用紙サイズが正しく検知されないと、両面印刷ができない場合があります。

拡大 / 縮小して印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［拡大 / 縮小］のチェックボックスをチェックすると、拡大 / 縮小機能が有効になり、以下の項目が設定できます。

<例> Windows 98でアプリケーションソフトから開いた場合

①出力用紙

プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小（フィットページ）印刷するには、用紙サイズをリストから選択します。縮小拡大率をその下の［倍率］ボックスに表示します。

②任意倍率

チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、50 ～ 200% までの任意の倍率を 1% 単位で設定できます。この場合は、フィットページ印刷は行われません。

③配置

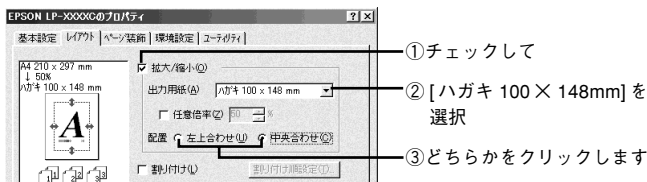
フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するかを選択します。

- ［左上合わせ］を選択した場合は、用紙の左上を基準にしてフィットページ印刷を行います。
- ［中央合わせ］を選択した場合は、用紙の中央を基準にしてフィットページ印刷を行います。

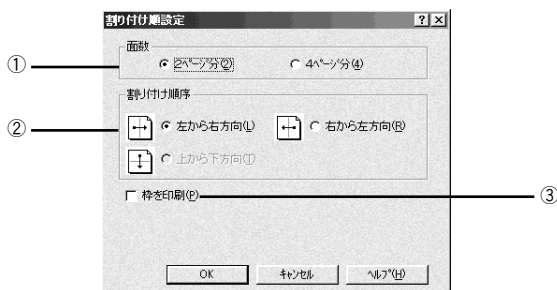
フィットページ印刷の手順

フィットページ機能を使って用紙サイズA4の印刷データをハガキサイズに縮小印刷する手順は以下の通りです。

1. **プリンタにハガキサイズの用紙がセットされていることを確認します。**

2. **［レイアウト］ダイアログを開いて、各項目を設定します。**
   この場合［基本設定］ダイアログの［用紙サイズ］は［A4］になります。

3. **［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。**

1 ページに複数ページのデータを印刷するには

［レイアウト］ダイアログで［割り付け］のチェックボックスをチェックして［割り付け順設定］ボタンをクリックすると、［割り付け順設定］ダイアログが開いて以下の項目が設定できます。

①割り付けページ数

1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

②割り付け順序

割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。［印刷方向］（縦・横）と［割り付けページ数］によって、選択できる割り付け順序は異なります。

③枠を印刷

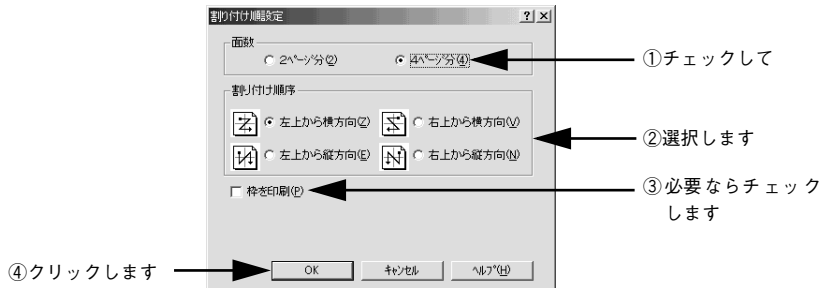
割り付けたページの周りに枠線を印刷するには、クリックしてチェックマークを付けます。

割り付け印刷の手順

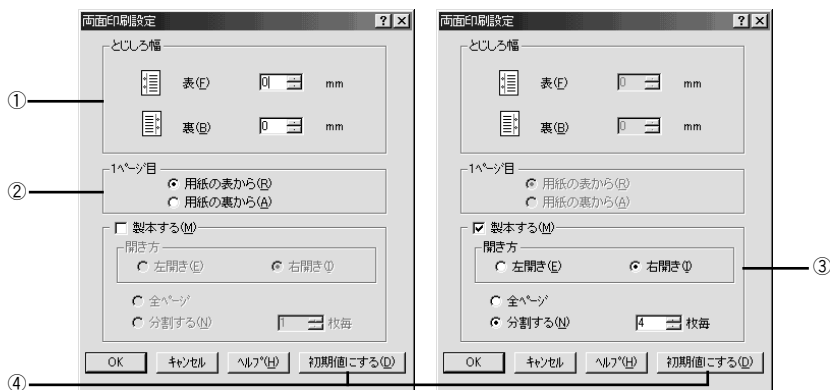
4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1 ［レイアウト］ダイアログを開いてから［割り付け順設定］ダイアログを開きます。

2 ［4 ページ分］を選択して、［割り付け順設定］ダイアログの各項目を設定します。

割り付けたページの周りに枠線を入れたいときは［枠を印刷］のチェックボックスをチェックします。

3 ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

両面印刷 / 製本印刷をするには

［レイアウト］ダイアログで［両面設定］ボタンをクリックすると、［両面印刷設定］ダイアログが表示され、以下の項目が設定できます。

①とじしろ幅

両面印刷するときのとじしろ幅（余白）を、用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

② 1ページ目

両面印刷する場合、印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

③製本する

クリックしてチェックマークを付けると、［基本設定］ダイアログの［印刷方向］に応じて製本した場合の開き方を選択できます。

- ［印刷方向］が［縦］の場合は、［左開き］か［右開き］かを選択できます。
- ［印刷方向］が［横］の場合は、［下開き］のみ設定できます。

さらに、製本するページの単位を設定できます。

- ［全ページ］を選択すると、すべてのページをまとめて製本します。
- ［分割する］を選択して用紙枚数を指定すると、指定枚数ごとに製本します。最大 10 枚毎まで分割することができます。

- ［製本する］をチェックすると、両面印刷の［とじる位置］と［とじしろ幅］の設定は無効になります。
- 部単位での印刷になります。

④［初期値にする］ボタン

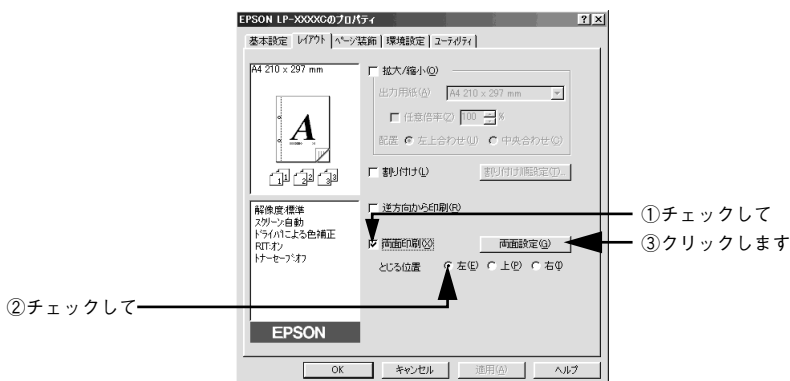
両面印刷の設定を初期状態に戻すときにクリックします。

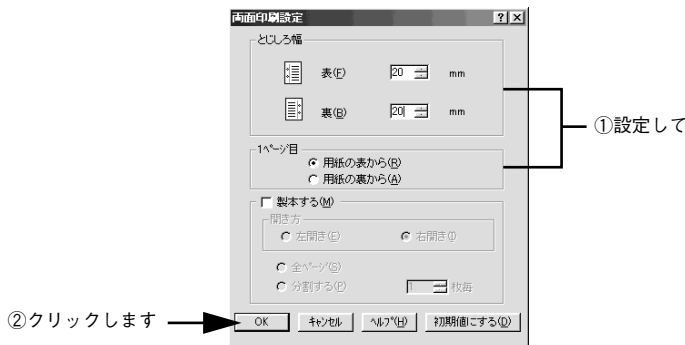
両面印刷の手順

A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する場合の手順は以下の通りです。

1 **プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙（ここではA4）がセットされていることを確認します。**

2 **［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。**

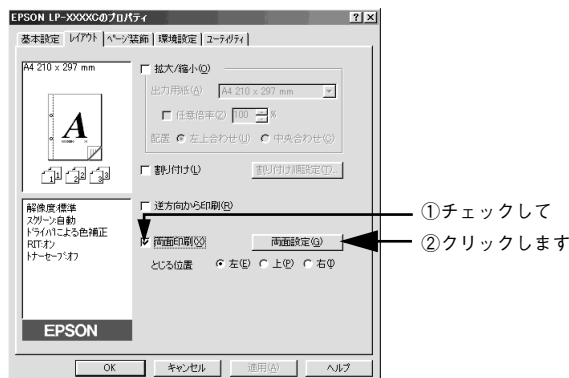
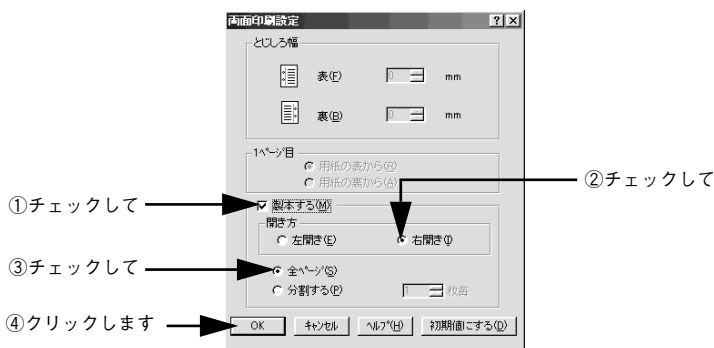
［両面印刷］と［とじる位置］の［左］をチェックして、［両面設定］ボタンをクリックします。

3 **［両面印刷設定］ダイアログの各項目を設定します。**

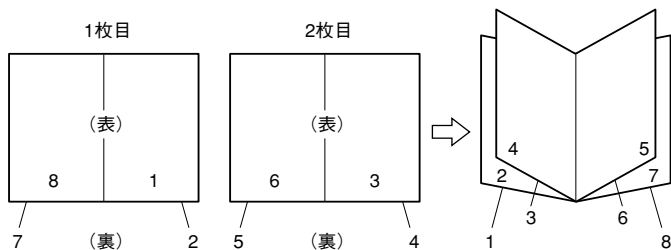
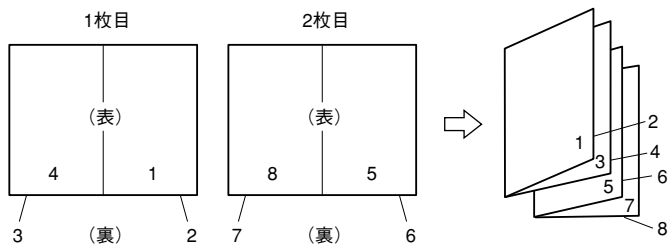
各項目を設定してから、［OK］ボタンをクリックします。

4 **［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。**

製本印刷の手順

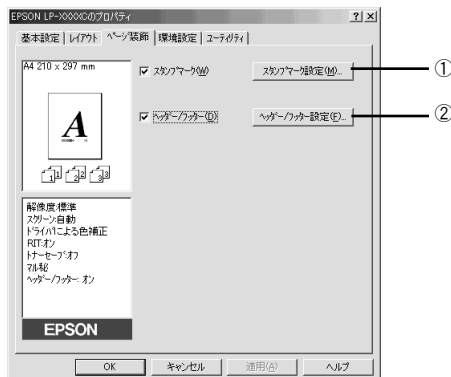
8 ページの印刷データ（縦長）を右開きになるように製本印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. **プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙（A4、Letter）がセットされていることを確認します。**

2. **［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。**
   ［両面印刷］をチェックして、［両面設定］ボタンをクリックします。

3. **［両面印刷設定］ダイアログの以下の項目を設定します。**
   ［製本する］と［開き方］の［右開き］、［全ページ］をチェックして、［OK］ボタンをクリックします。

4. **［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。**

以下のように印刷されますので､2 枚の用紙をまとめて2つ折りにしてとじてください。

［製本する］の［分割する］を選択する（例：分割数 =1 枚毎）と、以下のように印刷されます。この場合は、1 枚ずつ 2 つ折りにしてからまとめてとじます。

［ページ装飾］ダイアログ

［ページ装飾］ダイアログは、スタンプマーク印刷、ヘッダー / フッター印刷を行う場合に設定するダイアログです。

< 例 > Windows 98 でアプリケーションソフトから開いた場合

①スタンプマーク

印刷データに ㊙ などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷するには、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。

☞ 本書「スタンプマークを印刷するには」59 ページ

②ヘッダー / フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷するには、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、［ヘッダー / フッター設定］ボタンをクリックします。

［ヘッダー / フッター設定］ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号）を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

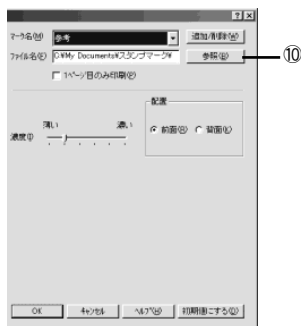
Windows NT4.0/2000 の場合、［ヘッダー / フッター］の設定は［動作環境設定］ダイアログでの［ドキュメント設定］の影響を受けます。

☞ 本書「［動作環境設定］ダイアログ」73 ページ

スタンプマークを印刷するには

［ページ装飾］ダイアログで［スタンプマーク］のチェックボックスをチェックして［スタンプマーク設定］ボタンをクリックすると、［スタンプマーク設定］ダイアログが開きます。

ビットマップマーク選択時

（ビットマップマーク登録時のみ）

テキストマーク選択時
（テキストマーク登録時のみ）

①プレビュー部

選択しているスタンプマークが表示されます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン

オリジナルのビットマップ (BMP*1 画像) マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除するには、［追加 / 削除］ボタンをクリックして［追加 / 削除］ダイアログを開きます。登録 / 削除の手順については、以下のページを参照してください。

本書「オリジナルスタンプマークの登録方法」62 ページ

*1 BMP：画像ファイルを保存する際のファイル形式の 1 つ。

④ 1ページ目のみ印刷

クリックしてチェックマークを付けると、用紙の 1 ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

⑤配置

スタンプマークを文書の［前面］または［背面］どちらに配置するかを選択します。［前面］に配置すると、印刷データの文字やグラフィックスがスタンプマークにかくれてしまう場合があります。

⑥濃度

スタンプマークの印刷濃度（薄い・濃い）を調整します。

⑦位置

スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します。

⑧オフセット

スタンプマークの印刷位置をスライドバーで調整できます。

ポイント

［サイズ設定］、［位置］、［オフセット］を設定する場合、スタンプマークが印刷可能領域を超えないように注意してください。

⑨サイズ

印刷するスタンプマークのサイズを調整します。スライドバーを［－］側に移動するとより小さく、［＋］側に移動するとより大きくスタンプマークが印刷されます。

⑩ファイル名（ビットマップマーク登録時のみ）

登録したビットマップマークを［マーク名］で選択した場合は、登録したビットマップのファイル名が表示されます。登録したビットマップファイルを変更する場合は、［参照］ボタンをクリックしてファイルを選択し直してください。

⑪テキスト（テキストマーク選択時のみ）

登録したテキストマークを［マーク名］で選択した場合は、登録した文字列が表示されます。一時的に文字を追加して変更することもできます。登録した文字を変更する場合は、［追加 / 削除］ボタンをクリックして同一マーク名で上書きしてください。

⑫フォント設定（テキストマーク選択時のみ）

テキストマークを選択した場合は、登録したテキストのフォントおよびスタイル（形状）を、リストボックスの中から選択することができます。

⑬回転（テキストマーク選択時のみ）

テキストマークを選択した場合は、テキストマークの角度を設定できます。入力欄に角度を直接入力するか、スライドバーをスライドしてください。

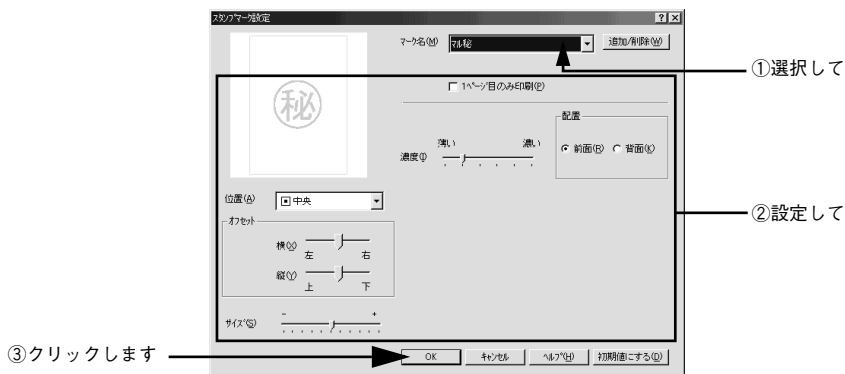
⑭［初期値にする］ボタン

［スタンプマーク］ダイアログの設定を初期値に戻すときにクリックします。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. ［ページ装飾］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。

2. 印刷したいスタンプマークを選択して、各項目を設定します。

3. ［OK］ボタンをクリックして［ページ装飾］ダイアログを閉じ、［OK］ボタンをクリックして印刷を実行します。

オリジナルスタンプマークの登録方法

すでに登録されているスタンプマークのほかに、テキスト（文字）マークやビットマップ（画像）マークが登録できます。登録するマークの種類に合わせて、それぞれの手順をお読みください。

オリジナルスタンプマークは 10 件登録することができます。

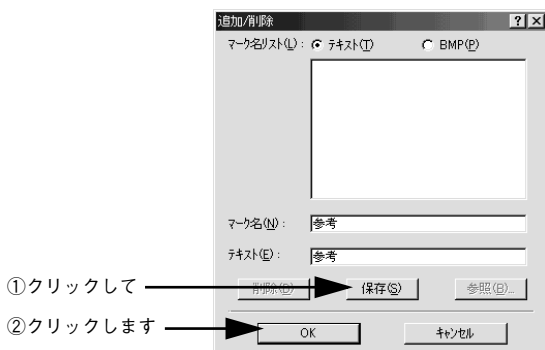
テキストマークの登録方法

1 ［スタンプマーク設定］ダイアログを開いて、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

2 ［テキスト］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［テキスト］に登録したい文字を入力します。

直接［テキスト］に文字を入力すると、同じ文字が自動的に［マーク名］に入力されます。入力した文字と同じマーク名を付けたい場合に便利です。

3 ［保存］ボタンをクリックして、［OK］ボタンをクリックします。

これで［スタンプマーク設定］ダイアログの［マーク名］リストにオリジナルのテキストマークが登録されました。

登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［マーク名リスト］から選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、［スタンプマーク設定］ダイアログとプリンタプロパティのダイアログを［OK］ボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

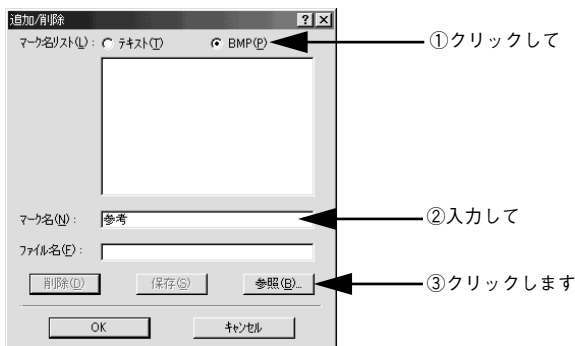
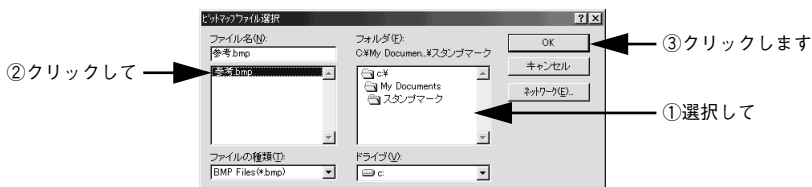
4 ［スタンプマーク設定］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で、登録したスタンプマークを確認できます。

ビットマップマークの登録方法

1. アプリケーションソフトでスタンプマークを作成し、BMP 形式で保存します。

2. ［スタンプマーク設定］ダイアログを開いて、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

3. ［BMP］をクリックし、［マーク名］に任意の登録名を入力してから、［参照］ボタンをクリックします。

4. ❶ でスタンプマークを保存したフォルダを選択し、登録するスタンプマークのファイル名をクリックしてから、［OK］ボタンをクリックします。

5 **[保存] ボタンをクリックして、[OK] ボタンをクリックします。**

これで [スタンプマーク設定] ダイアログの [マーク名] リストにオリジナルのビットマップマークが登録されました。

登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を [マーク名リスト] から選んで [削除] ボタンをクリックします。[削除] ボタンをクリックした後、[スタンプマーク設定] ダイアログとプリンタプロパティのダイアログを [OK] ボタンをクリックして必ず一旦閉じてください。

6 **[スタンプマーク設定] ダイアログで [OK] ボタンをクリックします。**

画面左側のプレビュー部で、登録したスタンプマークを確認できます。

［環境設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログは、お使いのOS や開き方によって画面のイメージや設定できる項目が異なります。なお、Windows NT4.0/2000 については、管理者（Administrators）権限の有無によっても、設定できる項目が異なります。

［プリンタ］フォルダから開いた場合

設定項目	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0/2000 管理者	Windows NT4.0/2000 管理者以外	Windows NT4.0/2000 管理者	Windows NT4.0/2000 管理者以外
		ドキュメントの既定値 / 印刷設定		プロパティ	
ステータスシート印刷	○	○	○	○	○
プリンタ設定	○	ー	ー	○	△
拡張設定	○	○	○	ー	ー
動作環境設定	○	△	△	○	△

アプリケーションソフトから開いた場合

設定項目	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0/2000 管理者	Windows NT4.0/2000 管理者以外
ステータスシート印刷	○	○	○
プリンタ設定	ー	ー	ー
拡張設定	○	○	○
動作環境設定	△	△	△

○ :選択可（ダイアログを開いて設定できます）
× :選択不可（グレー表示して選択・設定できません）
ー :非表示（選択・設定できません）
△ :確認のみ（選択できますが、設定できません）

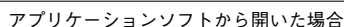
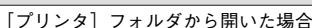
ダイアログの開き方については、以下のページを参照してください。
本書「プリンタドライバの設定」35 ページ

以下に代表的な画面を掲載して項目の説明をします。

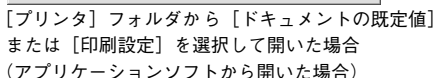
＜例＞ Windows 95/98/Me

［プリンタ］フォルダから開いた場合

アプリケーションソフトから開いた場合

＜例＞ Windows NT4.0/2000

［プリンタ］フォルダから［プロパティ］を選択して開いた場合

［プリンタ］フォルダから［ドキュメントの既定値］または［印刷設定］を選択して開いた場合
（アプリケーションソフトから開いた場合）

①プリンタ（オプション情報）

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開くと、プリンタに装着しているオプションの最新情報を表示します。本機では、実装しているメモリ容量とオプション（給紙装置など）の有無を表示します。オプション情報は、次のいずれかの方法で取得します。

オプション情報をプリンタから取得	プリンタドライバが自動的にオプション情報を取得します。
オプション情報を手動で設定	［設定］ボタンをクリックして［実装オプション設定］ダイアログを開き、取り付けているメモリの容量やオプションを手動で設定します。 本書「［実装オプション設定］ダイアログ」69 ページ

アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いた場合（Windows NT4.0 の場合は［ドキュメントの既定値］、Windows 2000 の場合は［印刷設定］を選択したとき）は、最新のオプション情報は表示されません。［設定］ボタンも表示されますが設定はできません。

②［ステータスシート印刷］ボタン

プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートを印刷します。

③［プリンタ設定］ボタン

このボタンをクリックすると［プリンタ設定］ダイアログが開き、節電機能やトレイ用紙サイズが設定できます。詳しくは、以下のページを参照してください。

本書「［プリンタ設定］ダイアログ」70 ページ

④［拡張設定］ボタン

印刷位置のオフセット値、白紙節約機能、ページエラー回避などの設定を行うときにクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。

本書「［拡張設定］ダイアログ」71 ページ

⑤［動作環境設定］ボタン

印刷データを一時的に保存するためのフォルダを指定します。詳しくは、以下のページを参照してください。

本書「［動作環境設定］ダイアログ」73 ページ

［実装オプション設定］ダイアログ

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開き、［オプション情報を手動で設定］をクリックして［設定］ボタンをクリックすると、［実装オプション設定］ダイアログが開きます。

設定を変更した場合は［OK］ボタンをクリックすることで有効になります。

①実装メモリ

標準メモリ（16MB）と増設したメモリの容量の合計を、リストから選択します。
単位はメガバイト（MB）です。

標準メモリは、64MB、128MBなどの大容量のものに交換することができます。

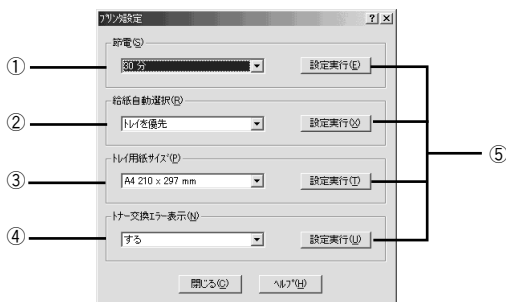
②オプション給紙装置

オプション給紙装置を装着していない場合は、［オプション給紙装置無し］をクリックして選択します。オプション給紙装置を装着している場合は、装着した給紙装置名をクリックして選択します。選択を解除するには、再クリックします。

③両面印刷ユニット

オプションの両面印刷ユニットを装着した場合は、クリックしてチェックマークを付けます。

［プリンタ設定］ダイアログ

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開き、［プリンタ設定］ボタンをクリックすると、［プリンタ設定］ダイアログが開きます。

印刷中に［設定実行］ボタンをクリックしないでください。正常に設定されない場合があります。

設定を変更した場合は［設定実行］ボタンをクリックすることで有効になります。

①節電

節電状態に入るまでの時間を設定します。頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間（初期設定 30 分）が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行ってから、印刷を開始します。

②給紙自動選択

［基本設定］ダイアログの［給紙装置］が［自動選択］に設定され、用紙カセットと用紙トレイにセットした用紙サイズが同じ場合、どちらを優先して給紙するかを設定できます。

［トレイを優先］	用紙トレイから先に給紙します。
［カセットを優先］	用紙カセットから先に給紙します。（初期設定）
［カセットのみ］	用紙カセットからのみ給紙します。用紙トレイからは給紙しません。

③トレイ用紙サイズ

用紙トレイにセットした用紙のサイズを指定します。設定が異なったまま印刷を実行すると印刷はできますが用紙交換エラーまたは用紙サイズエラーが発生し、画面上にメッセージが表示されます。

④トナー交換エラー表示

トナーがなくなった場合の対応を設定できます。

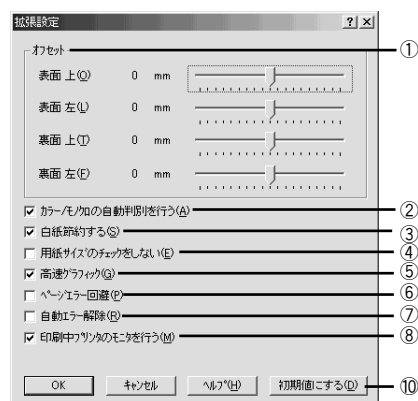
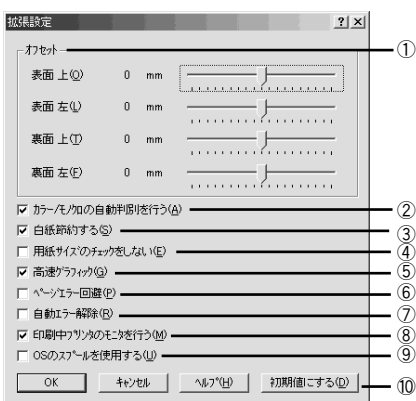
［しない］	トナーがなくなっても交換を促すメッセージを表示しません。トナーがなくなった状態で印刷すると、印刷品質が悪くなります。
［する］	トナーがなくなると印刷を停止し、交換を促すメッセージを表示します。（初期設定）

⑤［設定実行］ボタン

［プリンタ設定］ダイアログの設定を変更した場合に、設定した内容を有効にするときにクリックします。プリンタの印刷中は、クリックしないでください。

［拡張設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログで［拡張設定］ボタンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが開きます。

Windows 95/98/Me

Windows NT4.0/2000

①オフセット

印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。1mm 単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置）：-9mm（上方向）～ 9mm（下方向）

左（水平位置）：-9mm（左方向）～ 9mm（右方向）

②カラー / モノクロの自動判別を行う

印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。

③白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないことで用紙を節約することができます。

④用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットしてある用紙のサイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なってもエラーを発生することなく印刷します。

⑤高速グラフィック

グラフィック（円や短形などを重ねて描いた図形）を高速で印刷できます。グラフィックが正常に印刷できない場合はチェックを外してください。

⑥ページエラー回避

印刷データに問題が発生した場合にチェックしてください。
チェックすると印刷品質を落として印刷するため、エラーを回避できることがあります。

⑦自動エラー解除

以下の状態のときに発生するエラーを自動的に解除して印刷を続行します。

- プリンタにセットしてある用紙サイズと印刷データの用紙のサイズが異なる場合
- 印刷データの用紙サイズがプリンタのサポートしていないサイズの場合
- 印刷に必要なメモリが足りない場合

⑧印刷中プリンタのモニタを行う

印刷中にEPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を監視します。必ずチェックした状態で印刷してください。チェックを外すと正常な印刷ができません。

⑨ OSのスプールを使用する（Windows NT4.0/2000）

Windows のスプール機能を使用します。アプリケーションソフトによっては、画面と異なる印刷結果になる印刷時間が長くなるなどの問題が発生することがあります。この場合は、チェックを外してください。

⑩［初期値にする］ボタン

［拡張設定］ダイアログ内の設定を初期値に戻します。

［動作環境設定］ダイアログ

［環境設定］ダイアログで［動作環境設定］ボタンをクリックすると、［動作環境設定］ダイアログが開きます。

Windows 95/98/Me

Windows NT4.0/2000

①中間スプールフォルダ選択

スプールファイルや部数印刷する際の印刷データを一時的に保存するフォルダを指定します。通常は、設定の必要はありません。

- Windows NT4.0 の［ドキュメントの既定値］と Windows 2000 の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開いた場合は、現在の設定状態を表示するだけで設定はできません。設定を変更する場合は、［プロパティ］から［動作環境設定］ダイアログを開いてください。
- Windows NT4.0/2000 で中間スプールフォルダを選択する場合は、選択するフォルダのアクセス権（またはアクセス許可）の設定が「変更」または「フルコントロール」になっていることを確認してから選択してください。
- 印刷データを一時的に保存するフォルダの空き容量が少ないと、扱うデータによっては印刷できない場合があります。このようなときに空き容量の大きなドライブにある任意のフォルダを選択することにより印刷ができるようになります。

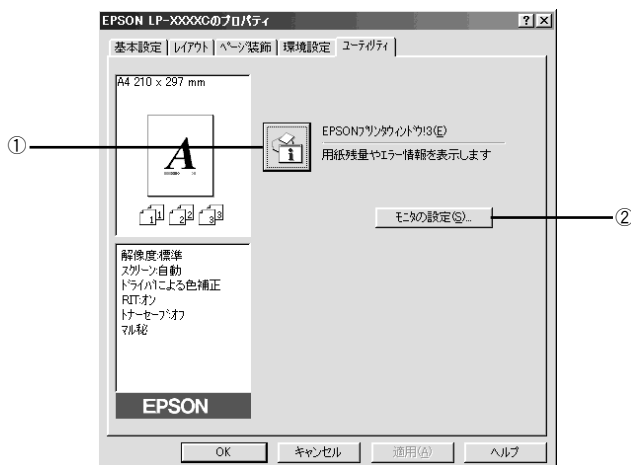
②ドキュメント設定（Windows NT4.0/2000）

ヘッダー/ フッターの印刷を設定できます。[ページ装飾] ダイアログのヘッダー/ フッターの設定は、ここでの設定によって下表のように影響を受けます。

	[ヘッダー / フッターの設定を許可しない]		
	チェックなし	チェックあり	
	−	[ヘッダー / フッターの印刷]	
		チェックなし	チェックあり
[ページ装飾] ダイアログの [ヘッダー / フッター] チェックボックス	設定を変更できます。	チェックなしのまま設定は変更できません。	チェックありのまま設定は変更できません。
[ページ装飾] ダイアログの [ヘッダー / フッター設定] ボタン	設定を変更できます。	ボタンはクリックできません（設定変更不可）。	ボタンをクリックしてヘッダー / フッターの印刷内容を確認できますが、設定は変更できません。
説明	ヘッダー/フッターの印刷は［ページ装飾］ダイアログで設定できます。管理者権限のないユーザーでも自由にヘッダー/ フッターの印刷を設定できます。	ヘッダー/フッターは印刷できません。	ヘッダー / フッターの印刷は［動作環境設定］ダイアログで設定します。[標準設定] ボタンをクリックして［ヘッダー / フッター設定］ダイアログを開き、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・日付・日付 / 時刻・部番号）を選択してください。

- Windows NT4.0 の［ドキュメントの既定値］と Windows 2000 の［印刷設定］から［動作環境設定］ダイアログを開いた場合は設定できません。設定を変更する場合は、［プロパティ］から［動作環境設定］ダイアログを開いてください。
- 管理者権限のあるユーザーのみが設定できます。ヘッダー / フッター印刷を管理する必要がある場合はここで設定してください。

［ユーティリティ］ダイアログ

プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログでは、ユーティリティソフトのEPSONプリンタウィンドウ!3に関わる設定を行います。

① EPSONプリンタウィンドウ!3

中央のアイコンボタンをクリックすると、プリンタの状態やトナー残量がモニタできるEPSONプリンタウィンドウ!3が起動します。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞ 本書「EPSONプリンタウィンドウ!3とは」76ページ

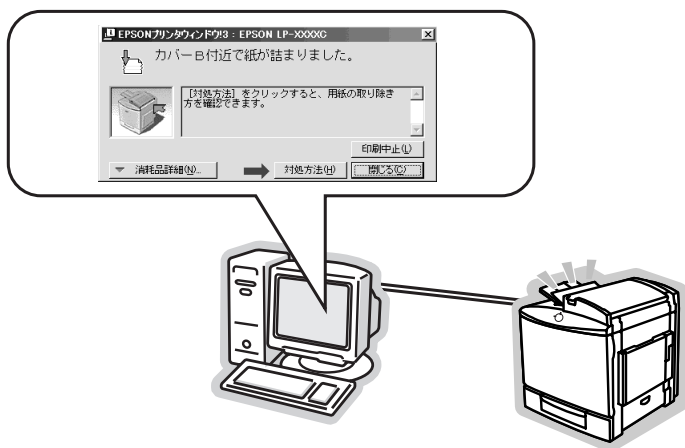
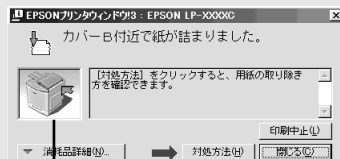
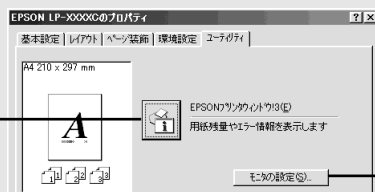
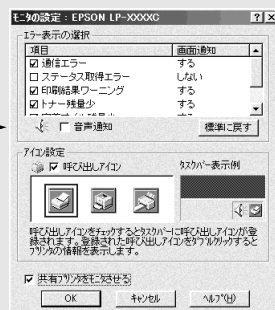
②［モニタの設定］ボタン

EPSONプリンタウィンドウ!3の動作環境を設定する場合にクリックします。

☞ 本書「［モニタの設定］ダイアログ」82ページ

EPSON プリンタウィンドウ !3 とは

EPSON プリンタウィンドウ !3 は、以下の接続形態においてプリンタの状態をコンピュータ上でモニタできるユーティリティです。

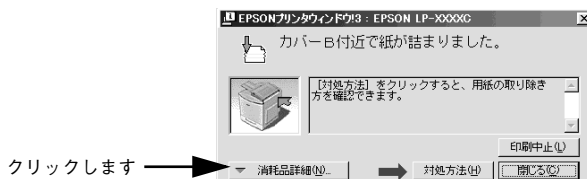
- ローカル接続
- TCP/IP 直接接続
- Windows 共有プリンタ

プリンタの状態を表示します
ポップアップウィンドウ
印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。
EPSONプリンタウィンドウ!3 : EPSON LP-XXXXC
カバーB付近で紙が詰まりました。
[対処方法]をクリックすると、用紙の取り除き方を確認できます。
印刷中止(L)
消耗品詳細(N)...
対処方法(H)
閉じる(C)
[プリンタ詳細]ウィンドウ
消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で確認することができます。
EPSONプリンタウィンドウ!3 : EPSON LP-XXXXC
印刷できます。
印刷できます。
閉じる(C)
用紙残量
用紙トレイ : A4
用紙カセット1 : A4
用紙カセット2 :
トナー残量
黒 :
シアン :
マゼンタ :
イエロー :
感光体ライフ :
オイルロール :
EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開きます
[ユーティリティ]ダイアログ
プリンタのプロパティから EPSON プリンタウィンドウ !3 を呼び出すことができます。
EPSON LP-XXXXCのプロパティ
基本設定
レイアウト
ページ装飾
環境設定
ユーティリティ
A4 210 x 297 mm
EPSONプリンタウィンドウ!3(E)
用紙残量やエラー情報を表示します
モニタの設定(S)...
プリンタのプロパティからモニタの設定画面を開くことができます。
タスクバー
タスクバーの呼び出しアイコンからEPSON プリンタウィンドウ !3 を呼び出すことができます。
EPSON LP-XXXX
モニタの設定
18:21
タスクバーの呼び出しアイコンからモニタの設定画面を開くことができます。
動作環境を設定します
[モニタの設定]ダイアログ
どのような状態をエラーとして表示するかなど、EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定することができます。
モニタの設定 : EPSON LP-XXXXC
エラー表示の選択
項目
画面通知
通信エラー
する
ステータス取得エラー
しない
印刷結果ワーニング
する
トナー残量少
する
音声通知
標準に戻す
アイコン設定
呼び出しアイコン
タスクバー表示例
呼び出しアイコンをチェックするとタスクバーに呼び出しアイコンが登録されます。登録された呼び出しアイコンをダブルクリックするとプリンタの情報を表示します。
共有プリンタをモニタさせる
OK
キャンセル
ヘルプ(H)

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確認するために、3 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。

本書「[プリンタ詳細］ウィンドウ」79 ページ

［方法 1］

プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］タブの［EPSON プリンタウィンドウ !3］アイコンをクリックします。

［方法 2］

アプリケーションソフトから印刷を実行します。エラーが発生してプリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れたときに、［消耗品詳細］ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。

［方法 3］

Windows のタスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ!3 の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンでアイコンをクリックしてから［EPSON LP-2000C］をクリックします。

初期値では、呼び出しアイコンは設定されていませんので、以下のページを参照して呼び出しアイコンを設定してください。

本書「モニタの設定」81 ページ

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①プリンタ

プリンタの状態をグラフィックで表示します。

②メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

本書「対処が必要な場合は」80 ページ

③［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じるときにクリックします。

④用紙残量

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙残量の目安を表示します。オプションの給紙装置が装着されている場合は、その給紙装置（カセット）についての情報も表示します。

⑤トナー残量

ET カートリッジのトナーがどれくらい残っているか目安を表示します。

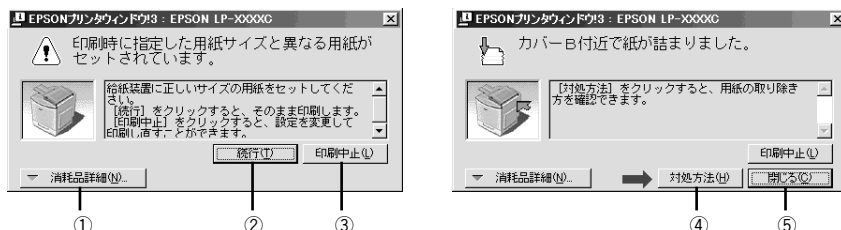
⑥感光体ライフ

感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命（ライフ）の目安を表示します。

⑦オイルロール

定着オイルロールがあとどれくらい残っているか目安を表示します。

対処が必要な場合は

何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウがコンピュータの画面上に現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解消されると、自動的に閉じます。

①［消耗品詳細］ボタン

クリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。

本書「［プリンタ詳細］ウィンドウ」79 ページ

②［続行］ボタン

表示されているワーニングを無視して印刷を続行します。続行した場合、画面と異なる状態で印刷されるなどのトラブルが発生することがあります。

③［印刷中止］ボタン

現在処理中の印刷を中止して、データを削除します。プリンタが印刷動作を続行している時にクリックすると、他人のデータを削除する場合がありますので注意してください。

④［対処方法］ボタン

クリックすると順を追って対処方法を説明します。

⑤［閉じる］ボタン

クリックすると、ポップアップウィンドウを閉じます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

共有プリンタを監視できない場合は

以下の設定がされているかを確認してください。

- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）上のネットワークコンピュータのプロパティを開き、ネットワークコンポーネントに Microsoft ネットワーク共有サービスが設定されていること。
- 共有プリンタを提供しているコンピュータ（プリントサーバ）に、対応するプリンタのドライバがインストールされ、かつ、そのプリンタの共有設定がされていて、EPSON プリンタウィンドウ !3 の［モニタの設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］にチェックマークが付いていること。
- プリントサーバ側とクライアント側で、コントロールパネルのネットワーク構成に IPX/SPX 互換プロトコルが設定されていないこと（Windows 95/98 のみ）。

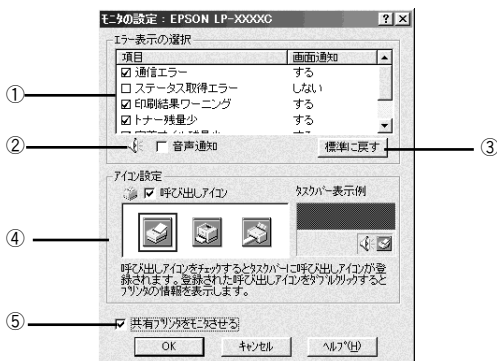
モニタの設定

EPSON プリンタウィンドウ !3 のモニタ機能を設定します。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタさせるかなどを設定します。

［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2 通りあります。

［方法 1］
プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の［モニタの設定］ボタンをクリックします。

［方法 2］
上記［方法 1］のモニタ設定時に呼び出しアイコンを設定した場合は、Windows のタスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ !3 の呼び出しアイコンを、マウスの右ボタンでクリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。

［モニタの設定］ダイアログ

①エラー表示の選択

画面通知しないエラーを選択します。チェックマークを外したエラーは通知されなくなります。

②音声通知

チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、エラー発生時に音声でも通知します。

ポイント

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻すときにクリックします。

④アイコン設定

［呼び出しアイコン］をクリックしてチェックマークを付けると、EPSON プリンタウィンドウ!3 の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせてクリックして選択できます。

ポイント

タスクバーに設定したアイコンをマウスの右ボタンでクリックすると、メニューが表示されて［モニタの設定］ダイアログを開くことができます。

⑤共有プリンタをモニタさせる

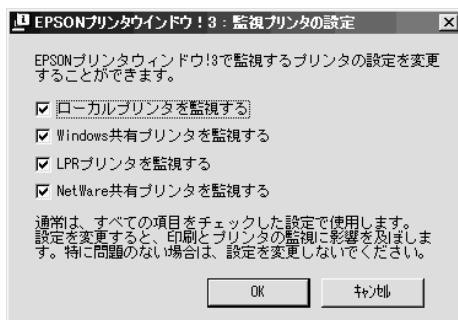
クリックしてチェックマークを付けると、ほかのコンピュータ（クライアント）から共有プリンタをモニタさせることができます。

本書「プリンタを共有するには」84 ページ

監視プリンタの設定

［監視プリンタの設定］ユーティリティは、EPSON プリンタウィンドウ !3 で監視するプリンタの設定を変更するためのユーティリティで、EPSON プリンタウィンドウ !3 とともにインストールされます。通常は設定を変更する必要はありません。何らかの理由で監視するプリンタの設定を変更したい場合のみご使用ください。

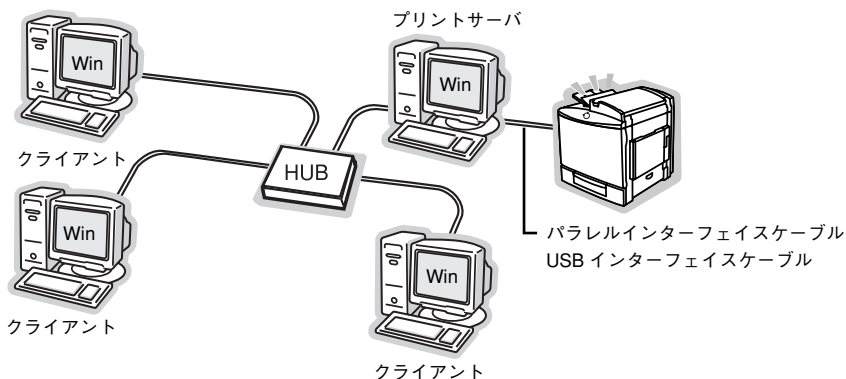
1. Windows の［スタート］ボタンをクリックし、［プログラム］から［Epson］にカーソルを合わせてから、［監視プリンタの設定］をクリックします。

2. 監視しないプリンタのチェックボックスをクリックしてチェックマークを外します。

3. ［OK］ボタンをクリックして、ダイアログを閉じます。

以上で設定は終了です。

プリンタを共有するには

Windows の標準ネットワーク環境でプリンタを共有する方法を説明します。

Windows のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタをほかのコンピュータから共有することができます。ネットワークで共有するプリンタをネットワークプリンタと呼びます。プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。

Windows のバージョンとアクセス権（Windows NT4.0/2000）によって、ネットワークプリンタの設定方法（プリンタドライバのインストール方法）が異なります。設定を始める前に、必ず以下のページを参照してください。

☞ スタートアップガイド「Windows のプリンタ共有機能を使用したネットワークプリンタのセットアップ」32 ページ

ここでは、プリンタを共有させるためのプリントサーバと、共有プリンタを利用するクライアントそれぞれの設定方法を説明します。お使いの Windows のバージョンに応じた設定手順に従ってください。

プリントサーバ側の設定

☞ 本書「Windows 95/98/Me プリントサーバの設定」85 ページ
☞ 本書「Windows NT4.0/2000 プリントサーバの設定と代替 / 追加ドライバの インストール」88 ページ

クライアント側の設定

☞ 本書「Windows 95/98/Me クライアントでの設定」93 ページ
☞ 本書「Windows NT4.0 クライアントでの設定」97 ページ
☞ 本書「Windows 2000 クライアントでの設定」99 ページ

- プリンタを共有する場合は、プリントサーバ側で必ず共有プリンタをモニタできるように設定してください。
  本書「［モニタの設定］ダイアログ」82 ページ
- Windows 95/98/Me で EPSON プリンタウィンドウ !3 を使用している場合、IPX/SPX互換プロトコルが設定されていると通信エラーが発生することがあります。IPX/SPX 互換プロトコルの設定を解除することで通信エラーの回避ができます。
- 以下の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあることが前提となります。

プリントサーバの設定

Windows 95/98/Me プリントサーバの設定

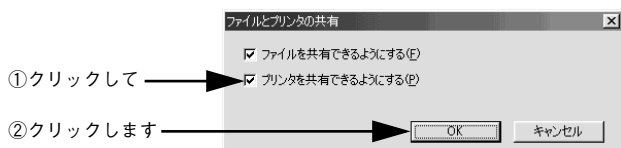
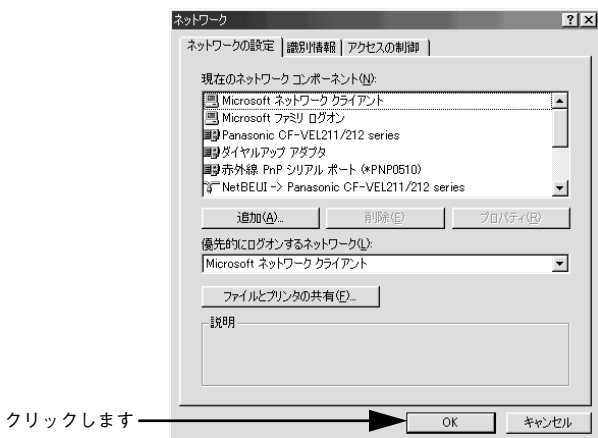
Windows 95/98/Me をプリントサーバとして使用する場合は、以下の手順に従ってください。

1 Windowsの［コントロールパネル］を開きます。

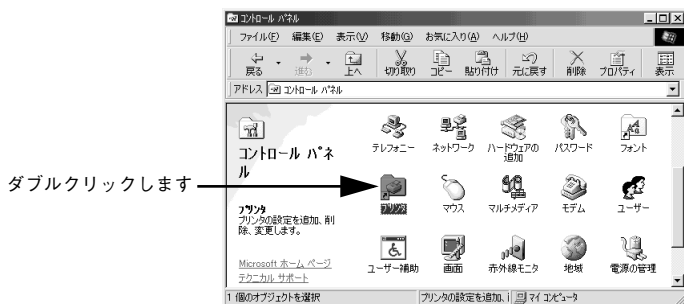
［スタート］ボタンをクリックして、カーソルを［設定］に合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。

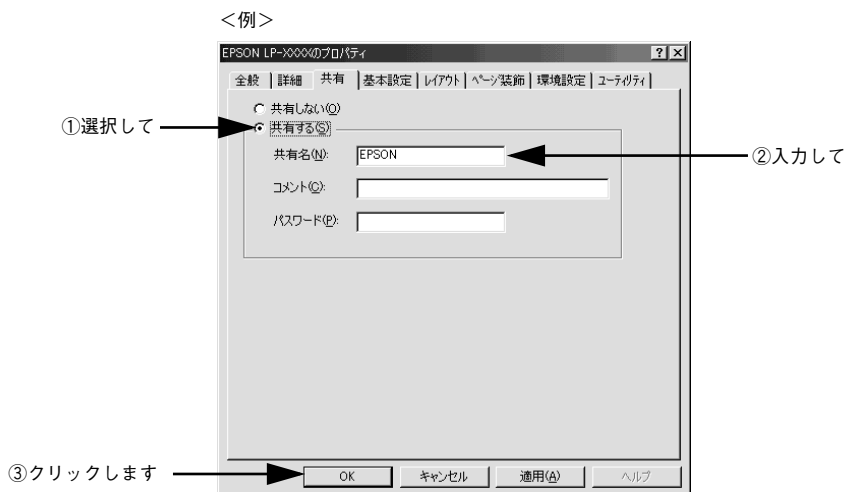
3 ［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックします。

4 ［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、［OK］ボタンをクリックします。

5 ［OK］ボタンをクリックします。

ポイント

- ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows 95/98/Me のCD-ROM をコンピュータにセットし、［OK］ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、1 の手順でコントロールパネルを開いて 6 から設定してください。

6 コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

7 **LP-2000C のアイコンを選択して、[ファイル] メニューの [共有] をクリックします。**

8 **[共有する] を選択して、[共有名] を入力し、[OK] ボタンをクリックします。**
必要に応じて、[コメント] と [パスワード] を入力します。

<例>

エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）やー（ハイフン）を使用しないでください。

9 **EPSON プリンタウィンドウ !3 の[モニタの設定]ダイアログで [共有プリンタをモニタさせる] をチェックします。**

本書「[モニタの設定] ダイアログ」82 ページ

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

Windows NT4.0/2000 プリントサーバの設定と代替 / 追加ドライバのインストール

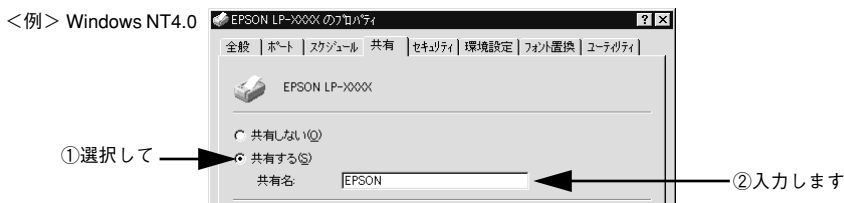
Windows NT4.0/2000 をプリントサーバとして使用する場合は、以下の手順に従ってください。クライアントとサーバの OS が異なる場合のクライアント用の代替 / 追加ドライバをプリントサーバにインストールする手順も同時に説明します。

- ローカルマシンの管理者権限（Administrators）のあるユーザーで Windows NT4.0/2000 にログオンする必要があります。
- Windows NT4.0 で代替ドライバ機能を使用する場合は、Windows NT4.0 Service Pack 4 以降が対象となります。

1 Windows の［プリンタ］フォルダを開きます。

［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2 LP-2000C のアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。

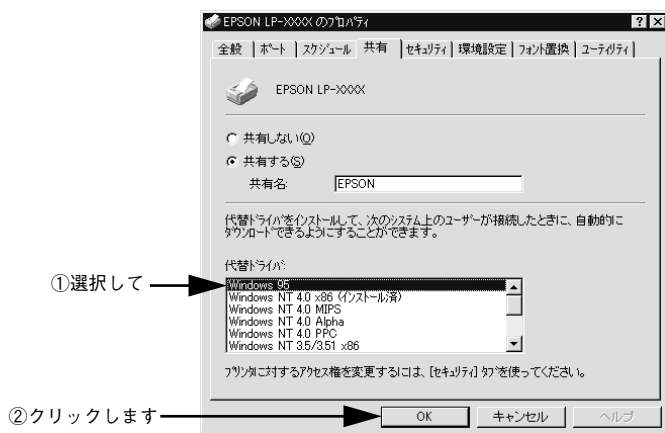
3 ［共有する］を選択して、［共有名］を入力します。

- 代替 / 追加ドライバをインストールする場合は、次の 4 へ進んでください。
- 代替 / 追加ドライバをインストールしない場合は、[OK] ボタンをクリックして設定を終了します。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

- エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）やー（ハイフン）を使用しないでください。
- クライアントとサーバが同じ OS の場合は、代替 / 追加ドライバをインストールする必要がありません。

4 **クライアント用にインストールする代替 / 追加ドライバを選択します。**

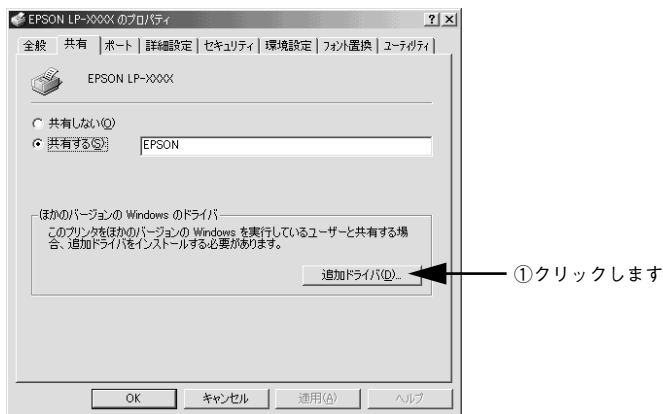
- Windows NT4.0 プリントサーバの場合：

① クライアントの Windows バージョンを選択します。
Windows　95/98/Me クライアント用の代替ドライバをインストールする場合は、［Windows 95］をクリックして選択します。

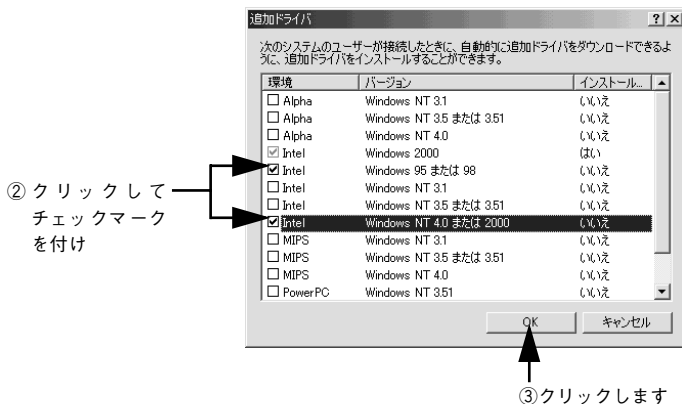
② ［OK］ボタンをクリックします。

ポイント

- Windows NT4.0 クライアント用の代替ドライバ［Windows NT 4.0 x86］はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- ［Windows 95］以外の代替ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していないOSの代替ドライバはインストールできません。

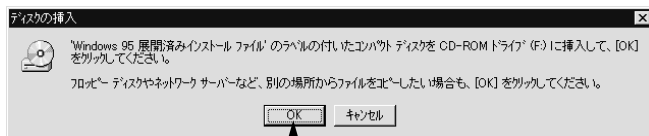
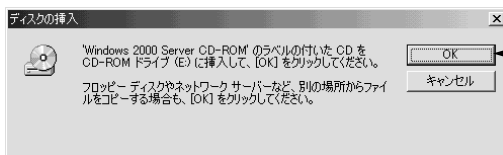
- Windows 2000 サーバの場合：

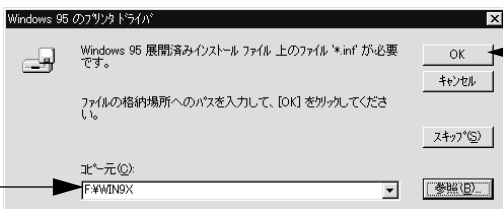
① [追加ドライバ] ボタンをクリックします。

② クライアントの Windows バージョンを選択します（チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます）。

クライアントの OS	選択項目
Windows 95/98/Me	[Windows 95 または 98]
Windows NT4.0	[Intel Windows NT4.0 または 2000]

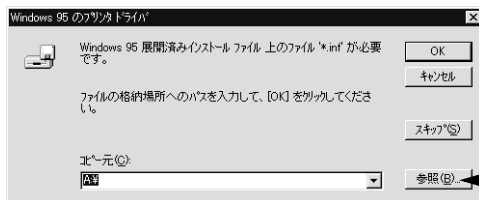
③ [OK] ボタンをクリックします。

- Windows 2000 専用のプリンタドライバ [Intel Windows 2000] はインストール済みのため、選択する必要はありません。
- [Intel Windows 95 または 98] と [Intel Windows NT 4.0 または 2000] 以外の追加ドライバは選択しないでください。本機のプリンタドライバが対応していない OS の追加ドライバはインストールできません。

5 以下のメッセージが表示されたら、本機のEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットして［OK］ボタンをクリックします。

Windows NT4.0 の場合

Windows 2000 の場合

*CD-ROM ドライブの記号は環境によって異なります。

6 メッセージに表示されたクライアント用のプリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力し、［OK ］ボタンをクリックします。
4 で複数のクライアントを選択した場合は、5 へ戻ります。

* クライアントOS によって多少メッセージは異なります。

クライアントの OS	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0
セット先ドライブ例	D ドライブ E ドライブ F ドライブ	
入力例	D:¥WIN9X E:¥WIN9X F:¥WIN9X :	D:¥WINNT40 E:¥WINNT40 F:¥WINNT40 :

- 入力方法がわからない場合は、以下の手順で指定することができます。
①［参照］ボタンをクリックします。

②入力例に記載されているご利用の OS フォルダを［ファイルの場所］から選択します。

- Windows 2000 をご使用の場合は［デジタル署名が見つかりませんでした］というメッセージを表示するダイアログが表示されることがあります。この場合は［はい］をクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本機に添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

7 Windows 2000 の場合は、［閉じる］ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

Windows NT4.0 の場合は、代替ドライバがインストールされるとプロパティは自動的に閉じます。

ネットワークプリンタに対するセキュリティ（クライアントのアクセス許可）を設定してください。印刷が許可されないクライアントは、プリンタを共有できません。詳しくは Windows のヘルプを参照してください。

8 EPSON プリンタウィンドウ !3 の［モニタ設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］をチェックします。

本書「［モニタの設定］ダイアログ」82 ページ

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。続いて各クライアント側の設定を行ってください。

クライアントの設定

ここでは、ネットワーク環境が構築されている状態で、ネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。

ポイント

- ここでは、サーバを使用した環境での一般的な（Microsoft ワークグループ）接続方法について説明します。ご利用の環境によっては以下の手順で接続できない場合もあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
- ここでは、［プリンタ］フォルダからネットワークプリンタに接続してプリンタドライバをインストールする方法を説明します。Windows デスクトップ上の［ネットワークコンピュータ］や［マイネットワーク］からネットワークプリンタへ接続してプリンタドライバをインストールすることもできます。最初の接続方法が異なるだけで、基本的な設定方法はここでの説明と同じです。

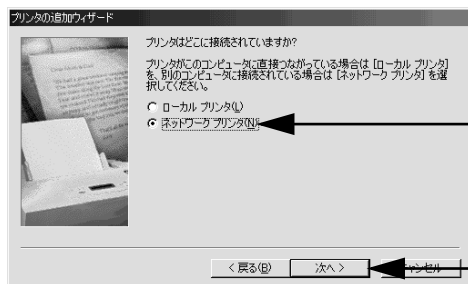
Windows 95/98/Me クライアントでの設定

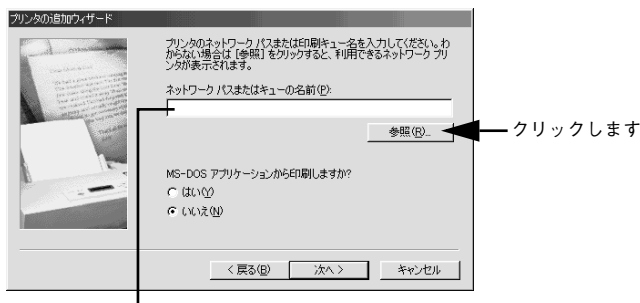
Windows 95/98/Me から共有プリンタを使用する場合は、以下の手順に従ってください。

1 Windows の［プリンタ］フォルダを開きます。

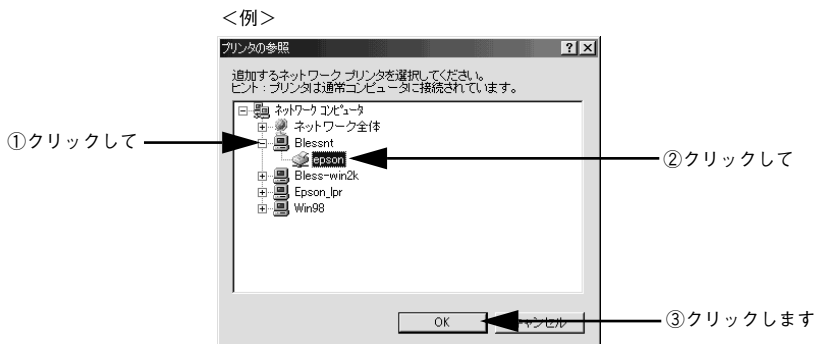
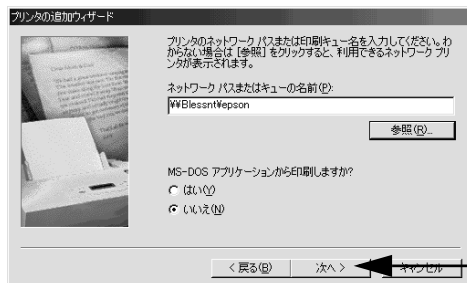
［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［ネットワークプリンタ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。

❹ ［参照］ボタンをクリックします。

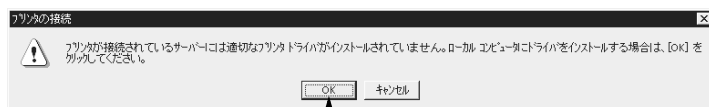
ご利用のネットワーク構成図が表示されます。

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名¥共有プリンタ名

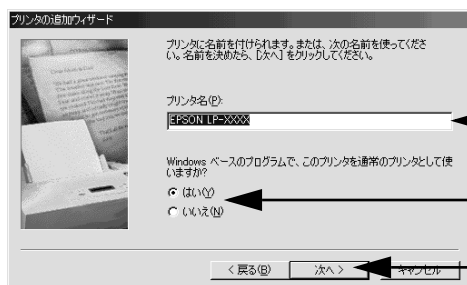
❺ プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）の［+］をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。

<例>

プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。

6 ［次へ］ボタンをクリックします。

ポイント

以下の画面が表示された場合は、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタドライバをインストールします。以下のページに進みます。

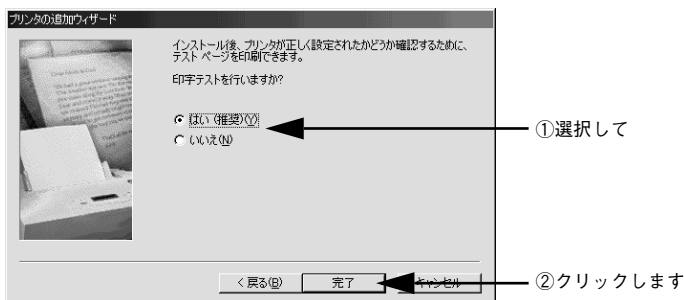
本書「クライアントでEPSONプリンタソフトウェアCD-ROM が必要な場合（インストールの続き）」102 ページ

既にプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。

7 接続するネットワークプリンタ名を確認し、通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

ポイント

プリンタ名を変更することができます。変更したプリンタ名は、クライアントコンピュータ上での名前となります。

8　テストページを印刷するかどうかを選択して［完了］ボタンをクリックします。

以上でクライアントの設定は終了です。

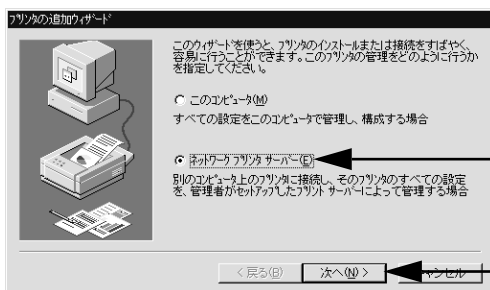
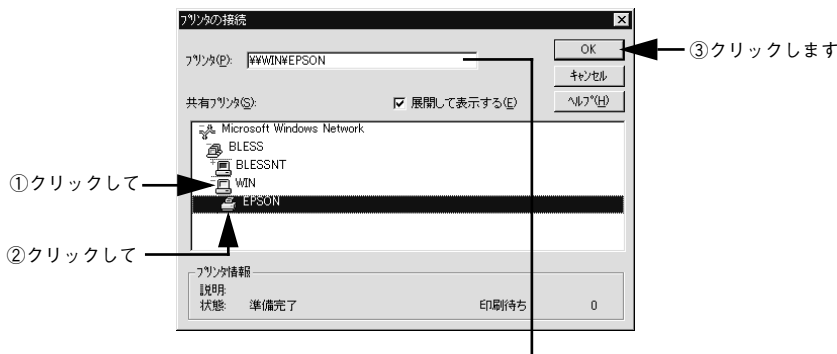
印字テストを行う場合は、プリンタドライバのインストールが終了すると自動的にテストページを印刷します。印字テストの終了ダイアログが表示されたら、正しくテストページが印刷されたかどうか確認して、［はい］または［いいえ］ボタンをクリックして対処してください。

Windows NT4.0 クライアントでの設定

Windows NT4.0 が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

クライアントOSにログオンするユーザーのアクセス権によって、インストール方法が異なります。詳しくは以下のページを参照してください。
スタートアップガイド「クライアント側でのインストール方法」33 ページ

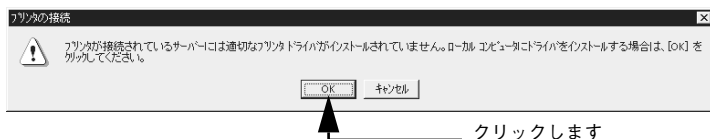
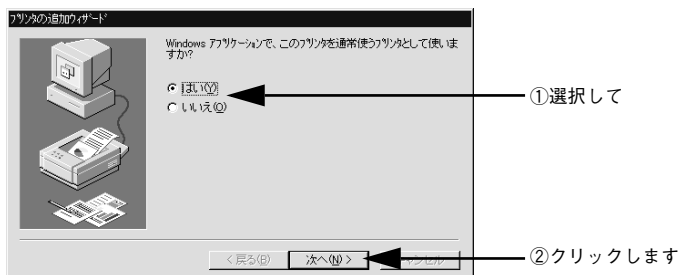
1. **Windows の［プリンタ］フォルダを開きます。**
   ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2. **［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。**

3. **［ネットワークプリンタサーバ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。**

4. **プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［OK］ボタンをクリックします。**

入力欄に以下の書式で直接入力（半角文字）することもできます。
¥¥ 目的のプリンタが接続されているコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- 既にプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。
- 以下の画面が表示された場合は、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタドライバをインストールします。以下のページに進みます。

本書「クライアントでEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMが必要な場合（インストールの続き）」102 ページ

5 **通常使うプリンタとして使用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。**

6 **［完了］ボタンをクリックします。**

以上でクライアントの設定は終了です。

Windows 2000 クライアントでの設定

Windows 2000 が稼働するクライアントを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

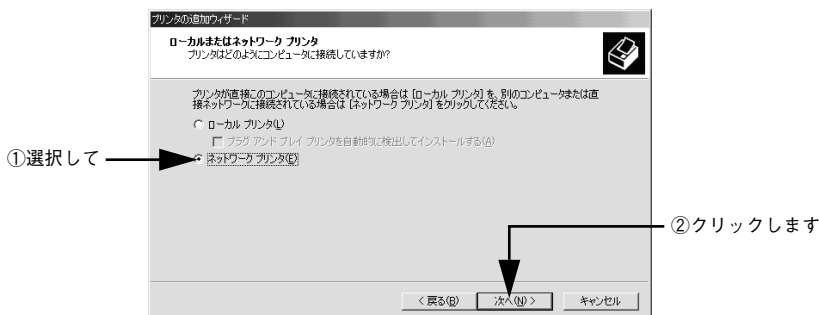
ポイント

クライアントOSにログオンするユーザーのアクセス権によって、インストール方法が異なります。詳しくは以下のページを参照してください。
スタートアップガイド「クライアント側でのインストール方法」33 ページ

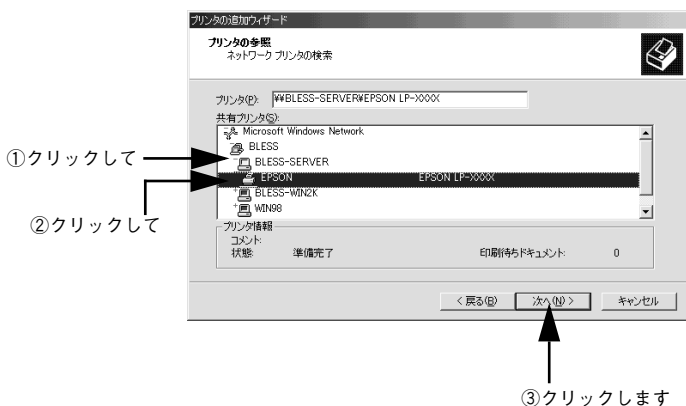
1 Windows の［プリンタ］フォルダを開きます。

［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

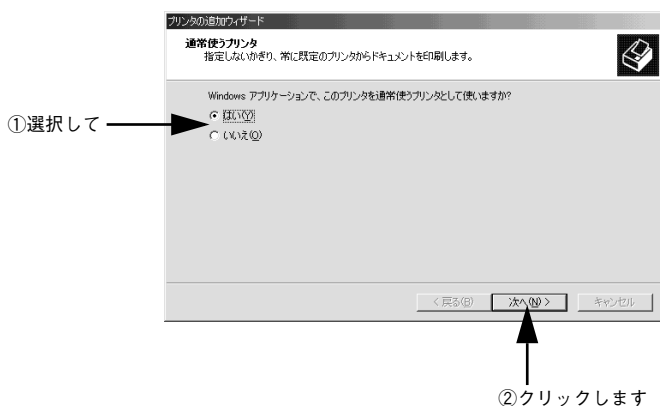
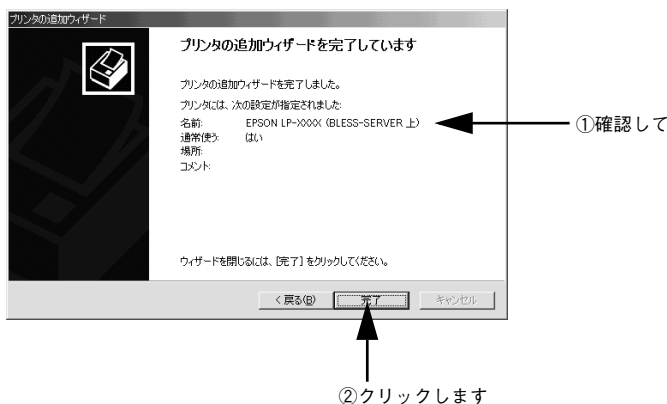
2 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックし、［次へ］ボタンをクリックします。

3 ［ネットワークプリンタ］を選択してから、［次へ］ボタンをクリックします。

4 ［次へ］ボタンをクリックします。

ネットワークプリンタ名がわかっている場合は直接ボックスに入力できます。ここではネットワーク構成図から共有プリンタを選択する方法を説明します。

5 プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）をクリックし、ネットワークプリンタの名前をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

- プリンタが接続されているコンピュータ（またはサーバ）が、プリンタの名称を変更している場合があります。ご利用のネットワークの管理者にご確認ください。
- 既にプリンタドライバをインストールしている場合は、既存のプリンタドライバを使用するか、新しいプリンタドライバを使用するか選択する必要があります。選択を促すダイアログが表示されたら、メッセージに従って選択してください。
- 以下の画面が表示された場合は、本機に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタドライバをインストールします。以下のページに進みます。

本書「クライアントでEPSONプリンタソフトウェアCD-ROMが必要な場合（インストールの続き）」102 ページ

6. 通常使うプリンタとして利用するかどうかを選択して、［次へ］ボタンをクリックします。

7. 設定内容を確認して［完了］ボタンをクリックします。

クライアントで EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM が必要な場合（インストールの続き）

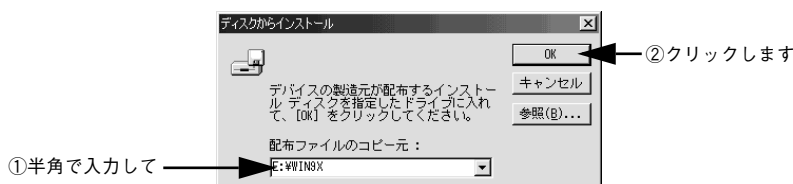
Windows NT4.0/2000 プリントサーバに代替 / 追加ドライバをインストールしていない場合や、Windows 95/98/Me プリントサーバと Windows NT4.0/2000 クライアントの組み合わせの場合は、クライアントでネットワークプリンタに接続してから以下の手順を続けてください。Windows のバージョンによって画面が多少異なりますが、基本的な手順は同じです。

1. **ネットワークプリンタに接続して以下のような画面が表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**

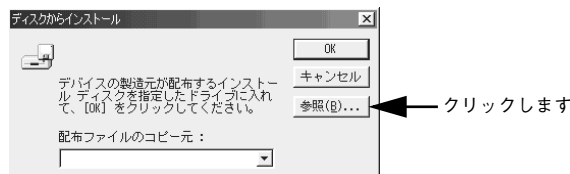
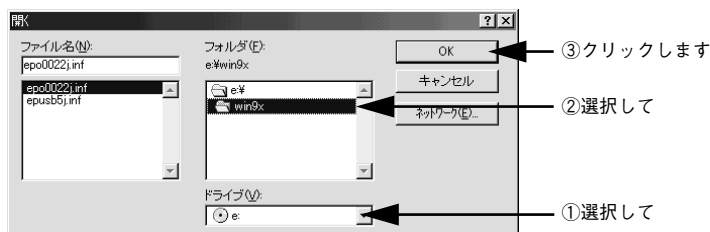
2. **［ディスク使用］ボタンをクリックします。**

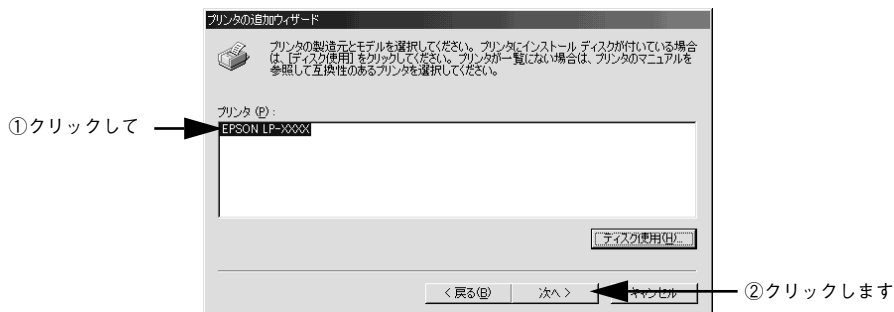
同梱の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM からプリンタドライバをインストールします。

3. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

4 プリンタドライバが収録されているドライブ名とディレクトリ名を半角文字で入力し、［OK ］ボタンをクリックします。

クライアントの OS	Windows 95/98/Me	Windows NT4.0	Windows 2000
セット先ドライブ例	D ドライブ E ドライブ		
入力例	D:¥WIN9X E:¥WIN9X :	D:¥WINNT40 E:¥WINNT40 :	D:¥WIN2000 E:¥WIN2000 :

ポイント

- 入力方法がわからない場合は、以下の手順で指定することができます。
①［参照］ボタンをクリックします。

②［ドライブ］または［ファイルの場所］から［CD-ROM］のアイコンを選択し、入力例に記載されているご利用の OS フォルダを選択します。

- Windows 2000 をご使用の場合は［デジタル署名が見つかりませんでした］というメッセージを表示するダイアログが表示されることがあります。この場合は［はい］をクリックして、そのままインストール作業を進めてください。本機に添付のプリンタドライバであれば問題なくお使いいただけます。

5 お使いのプリンタの機種名をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。

6 この後は、画面の指示に従って設定してください。

以上でクライアント側の設定は終了です。

プリンタ接続先の変更

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートを、必要に応じて追加または変更できます。コンピュータにローカル接続している場合は、プリンタドライバをインストールしたままの設定で使用できますので変更は不要です。

ポイント

プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。

Windows 95/98/Me の場合

ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

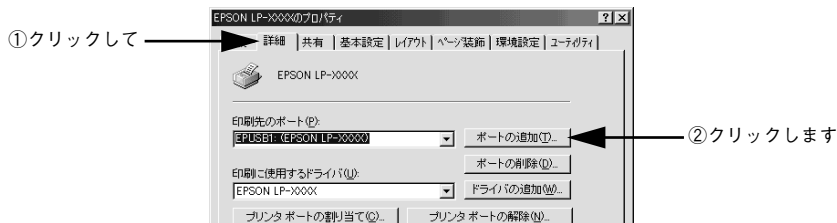
1 Windows の［プリンタ］フォルダを開きます。

［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2 本機のプリンタドライバの設定画面を開きます。

LP-2000C アイコンを右クリックしてから、［プロパティ］をクリックします。

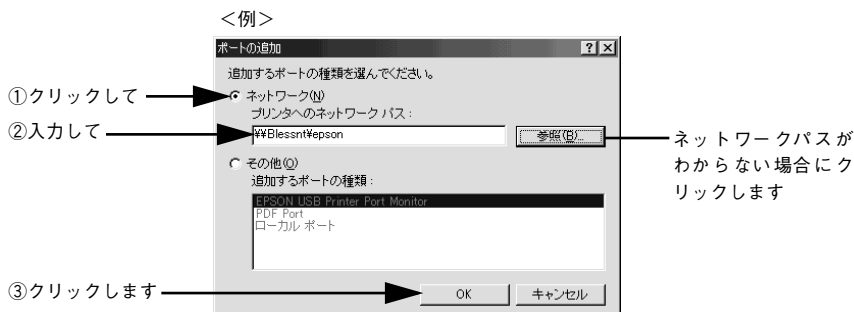
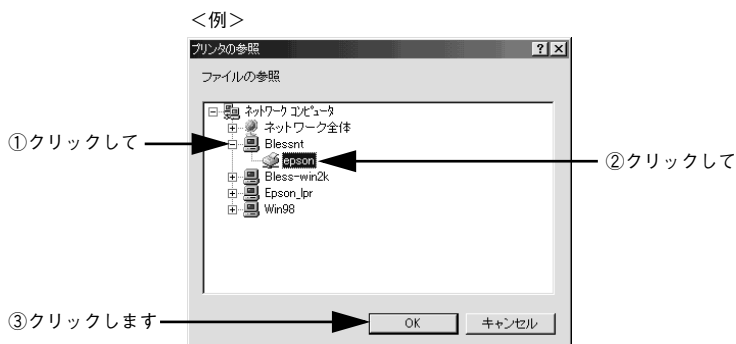
3 **［詳細］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。**

すでに登録されているポートを指定する場合は、［印刷先のポート］から選択します。USB 接続の場合は［EPUSBx］をパラレル接続の場合は［LPT1］を選択して［OK］ボタンをクリックします。ネットワークプリンタのポートを追加する場合は、次の手順に進みます。

［印刷先のポート］に設定されている代表的なポートは、以下のとおりです。（ご利用のコンピュータによっては表示されないポートもあります。）

- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタ ポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- EPUSBx：USB ポートです。Windows 98/Me をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します。EPSON プリンタ用の USB デバイスドライバがインストールされているときのみ表示されます（最後の x には数字が表示されます）。
- PRN：EPSON PCシリーズ/NEC PCシリーズ標準の14ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。PRN が表示されない場合は LPT1 を選択します。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 **［ネットワーク］をクリックし、［プリンタへのネットワーク パス］を入力して［OK］ボタンをクリックします。**

［プリンタへのネットワーク パス］は以下のように入力します。
¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

ポイント

ネットワークプリンタへのパスがわからない場合は、[参照] ボタンをクリックして、以下のダイアログで目的のプリンタをクリックして [OK] ボタンをクリックします。

5 追加したポート名が [印刷先のポート] で選択されていることを確認してから、[OK] ボタンをクリックします。

以上でプリンタ接続先の変更は終了です。

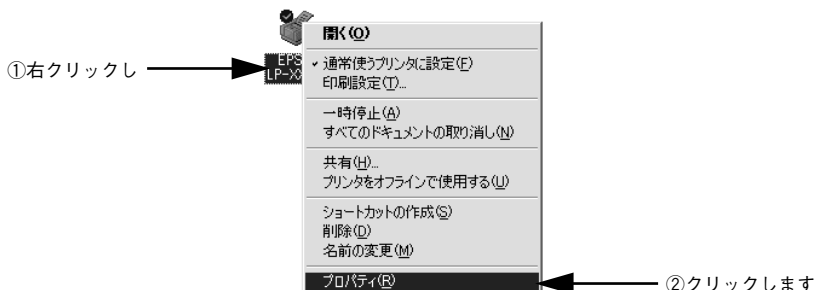
Windows NT4.0/2000 の場合

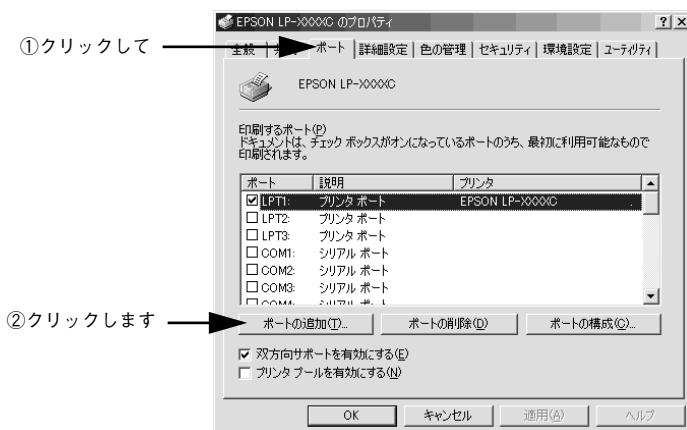
ネットワークパスを指定してポートを追加することで、ネットワーク上に接続された本機に接続することができます。

1 Windows の［プリンタ］フォルダを開きます。

［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2 プリンタの設定画面を開きます。

LP-2000C のアイコンを右クリックしてから［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックして［ポートの追加］ボタンをクリックします。

すでに登録されているポートを指定する場合は、リスト内から選択してチェックを付けます。

［印刷先のポート］に設定されている代表的なポートは、以下のとおりです。（ご利用のコンピュータによっては表示されないポートもあります。）

- LPTx：通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の「LPT1」を選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- USBx：USB ポートです。Windows 2000 をご利用で本機を USB ケーブルで接続した場合に選択します（最後の x には数字が表示されます）。
- FILE：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

4 ［プリンタポート］ダイアログが表示されたら、［Local Port］を選択して［新しいポート］ボタンをクリックします。

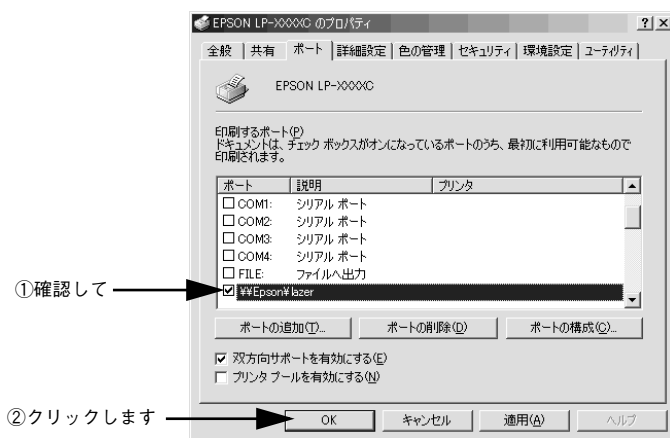
5 ポート名を入力して［OK］ボタンをクリックします。

ポート名は以下のように入力します。

¥¥ 目的のプリンタが接続されたコンピュータ名 ¥ 共有プリンタ名

<例>

6 ［プリンタポート］ダイアログの画面に戻りますので、［閉じる］ボタンをクリックします。

7 ポートに設定した名前が追加され、選択されていることを確認してから［OK］ボタンをクリックします。

以上でプリンタ接続先の設定は終了です。

印刷を高速化するには

本機をパラレルインターフェイスケーブルで接続している場合、印刷データの転送方法としてDMA転送を利用することで、印刷を高速化することができます。

DMA転送とは

通常、印刷データはコンピュータのCPU（Central Processing Unit）を経由してプリンタへ送られます。しかし、CPUは同時にいくつもの処理をこなしているため、この方法ではCPUに負担がかかり、効率よくプリンタへ印刷データを送れません。

ECP コントローラチップを搭載したコンピュータの場合は、印刷データの流れを変更することで、CPU を経由しないでプリンタへ直接印刷データを送ることができます。その結果印刷速度が向上することになります。このような、データ転送の方法を DMA（Direct Memory Access）転送と呼びます。

DMA転送を設定する前に

プリンタドライバでDMA転送を行う前に、以下の項目の確認と設定が必要です。

ご利用のコンピュータは DOS/V 機で ECP コントローラチップが搭載されていますか？

ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。

ご利用のコンピュータで DMA 転送が可能ですか？

ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。

BIOS セットアップでパラレルポートの設定が［ECP］または［ENHANCED］になっていますか？

ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照していただき、BIOS を設定してください。

この BIOS の設定は、一旦本機のプリンタソフトウェアを削除（アンインストール）してから行ってください。BIOS 設定後、再度プリンタソフトウェアをインストールしてください。

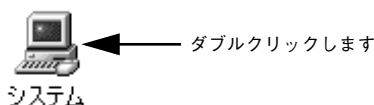
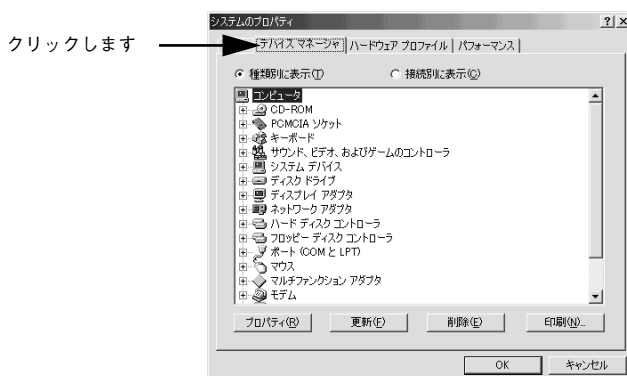
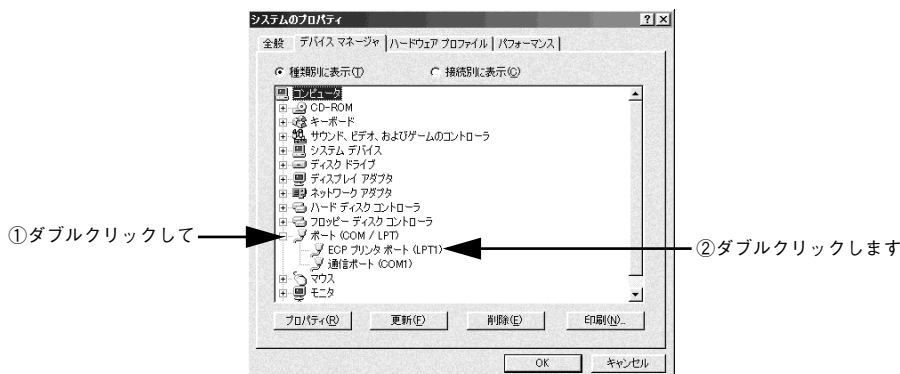
本書「プリンタソフトウェアの削除」120 ページ
スタートアップガイド「セットアップ」29 ページ

エプソン純正のパラレルケーブルでプリンタとコンピュータを接続していますか？

以上の確認と設定が済みましたら、お使いのOSごとの説明に進んでください。

Windows 95/98/Me の設定

1. **Windows の［コントロールパネル］を開きます。**
   ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。

2. **［システム］アイコンをダブルクリックします。**

3. **［デバイスマネージャ］タブをクリックします。**

4. **［ポート（COM/LPT）］をダブルクリックして開き、本機が接続されているポートをダブルクリックします。**
   プリンタの接続先を変更していない場合は［ECP プリンタポート（LPT1）］を選択します。

5 ［リソース］タブをクリックし、すべてのI/Oポートアドレスをメモ用紙に控えて、［自動設定］のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。

ポイント

このとき、自動設定時に使用していたI/Oポートアドレス（I/Oの範囲）をメモ用紙に控えて覚えておいてください。**6** で必要になります。

6 ［基にする設定］または［設定の登録名］リストで、**5** でメモに控えたI/Oポートアドレスと［DMA］、［IRQ］（割込み要求）の設定が表示される基本設定を探して選択します。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

これで、データの転送方法がDMA転送に変更されました。
以上でDMA転送の設定は終了です。

ポイント

一部のコンピュータでは、上記の設定をしたにもかかわらず、DMA転送がご利用になれない場合があります。お使いのコンピュータのメーカーにDMA転送が可能かどうかお問い合わせください。

Windows NT4.0 の設定

Windows NT4.0 をご利用の場合は、BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、本機のプリンタドライバをインストールしてください。そのまま DMA 転送をご利用いただくことができます。ここでは、設定が確実にされているかを確認します。

- BIOSの設定方法については、ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- BIOS のパラレルポート設定を行う場合は、BIOS を設定する前に本機のプリンタドライバを一旦削除してください。そして、BIOS の設定後に再度プリンタドライバをインストールしてください。

1 Windows の［プリンタ］フォルダを開きます。

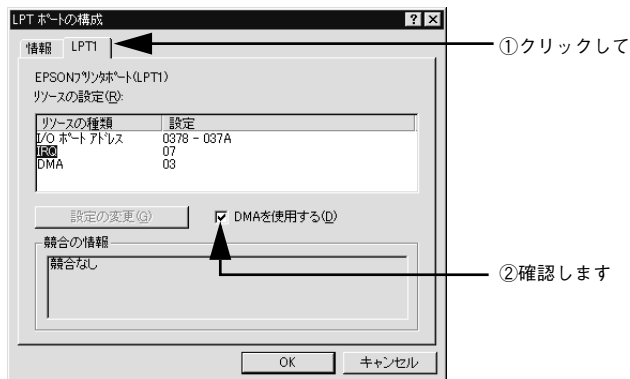
［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2 本機のプリンタドライバの設定画面を開きます。

LP-2000C のアイコンを右クリックして［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］のタブをクリックし、［ポートの構成］ボタンをクリックします。

4 **本機が接続されているポートのタブをクリック、［DMA を使用する］のチェックボックスにチェックが付いていることを確認します。**

コンピュータのLPT1ポートにプリンタを接続している場合は、[LPT1]を選択します。

以上でDMA転送設定の確認は終了です。

ポイント

コンピュータの拡張スロットにLPTボードが装着されている場合、［LPT2］や［LPT3］が表示されます。

- LPT2やLPT3の構成情報には、拡張ボードで設定されているI/Oアドレスが表示されます。
- IRQとDMAは、拡張ボードの設定を手動で設定する必要があります。設定方法は、［IRQ］と［DMA］をクリックして、［設定の変更］ボタンをクリックして設定してください。

Windows 2000 の設定

Windows 2000 をご利用の場合は、BIOS のパラレルポート設定を ECP モードに設定した上で、添付のプリンタソフトウェア CD-ROM から EPSON プリンタポートをインストールしてください。

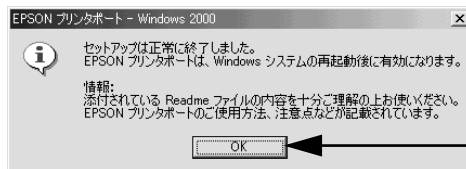
- EPSON プリンタポートをインストールおよび設定するには、Administrators の権限が必要です。
- 添付の Readme ファイルを必ず一読してからインストールを行ってください。Readme ファイルには、注意事項やトラブル発生時の対処方法などの情報が掲載されています。

1. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

2. 機種選択画面が表示されたら［LP-2000C］をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

3. 以下の画面が表示されたら［ LPT 接続時の印刷の高速化 ］をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

4. ［EPSON プリンタポートのインストール］をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

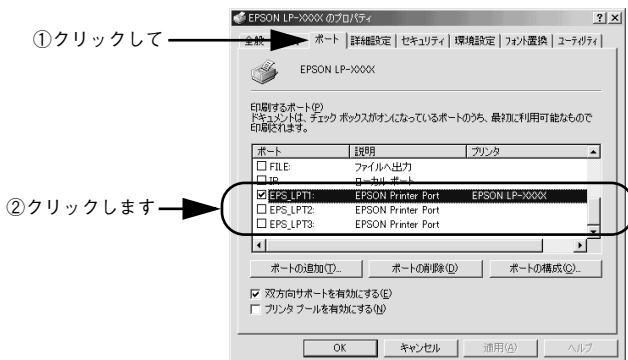
5 インストールが終了したら［OK］ボタンをクリックします。

6 Windows を再起動します。

必ず Windows を再起動させてから以降の作業に進んでください。再起動させずに以降の作業を行うと、動作が不安定になります。

7 本機のプロパティ画面を表示します。

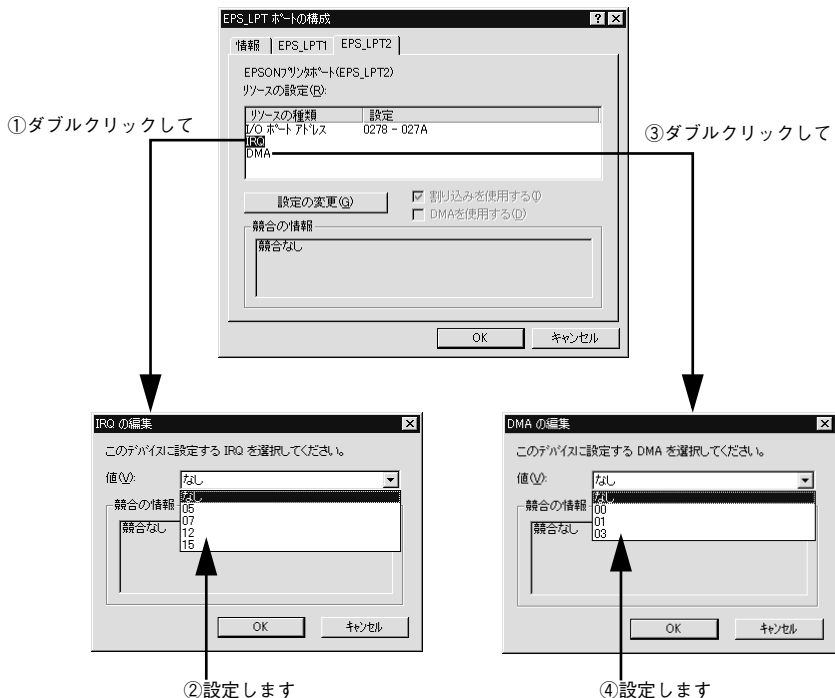
［スタート］ボタンをクリックし、［設定］を選択してから［プリンタ］をクリックします。本機のプリンタアイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］をクリックします。

8 ［ポート］タブをクリックし、使用するパラレルポートを選択します。

［印刷するポート］の中から、使用する［EPS_LPTx:］のチェックボックスをクリックしてチェックをつけます。

- EPS_LPT1：コンピュータ内蔵のパラレルポート専用
  ［EPS_LPT1］を使用する場合は、以上で EPSON プリンタポートの設定は終了です。［閉じる］ボタンをクリックして、［プロパティ］画面を閉じます。
- EPS_LPT2：市販のパラレルポート拡張ボード用
  次の 9 へ進みます。
- EPS_LPT3：市販のパラレルポート拡張ボード用
  次の 9 へ進みます。

❾ EPS_LPT2/3 を使用する場合は、以下の手順でIRQ、DMA の設定を行ってからコンピュータを再起動させます。

① [ポートの構成] ボタンをクリックし、使用する EPS_LPT2 または EPS_LPT3 のタブをクリックします（拡張ボードが装着されている場合のみ EPS_LPT2、EPS_LPT3 が表示されます）。

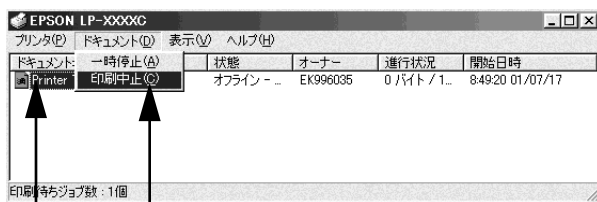
② [IRQ]、[DMA] の設定を行います。[リソースの設定] から [IRQ]、[DMA] をダブルクリックし、拡張ボードで設定した値を設定します。

③ [OK] ボタンをクリックして [ダイアログ] 画面を閉じます。設定が変更された場合には、コンピュータの再起動を促すメッセージが表示されます。[プロパティ] 画面を閉じてから再起動してください。

これで EPS_LPT2/3 の設定が完了し、接続されているプリンタへの EPS_LPTx ポートの割り当てができるようになります。

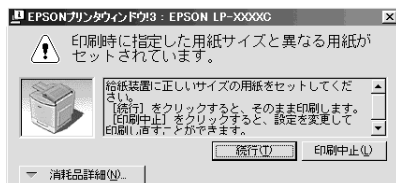
プリンタドライバを再インストールした場合には、❼ ～ ❾ に従って EPSON プリンタポートの再設定を行ってください。

印刷の中止方法

1. 画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。

2. 中止したい印刷データをクリックして選択し、［ドキュメント］メニューの［印刷中止］または［キャンセル］をクリックします。

処理済のデータが印刷された後、印刷が止まります。

ポイント

EPSON プリンタウィンドウ!3 上から［印刷中止］ボタンをクリックして印刷を中止することもできます。ただし、プリンタが印刷動作を続行している時にクリックすると、他人が実行した印刷データを削除することがありますのでご注意ください。

プリンタソフトウェアの削除

ドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

- USBデバイスドライバは、USB接続している場合にインストールされるドライバです。
- EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットして表示される画面からも削除することができます。

1. **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2. **Windows の［コントロールパネル］を開きます。**
   ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［コントロールパネル］をクリックします。

3. **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**

4 **削除するドライバを選択してから、［追加と削除］ボタンをクリックします。**

Windows 2000 の場合は、［プログラムの変更と削除］をクリックしてから、削除対象となる項目をクリックして［変更 / 削除］ボタンをクリックします。

この後は、削除したいプリンタソフトウェアごとに以下のページに進みます。

☞ 本書「プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除」122 ページ
☞ 本書「USB デバイスドライバの削除」124 ページ

ポイント

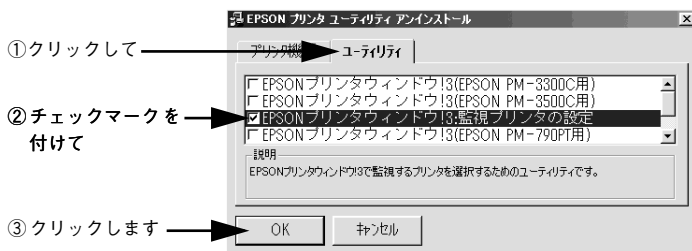
- [EPSON USB プリンタデバイス] は、Windows 98/Me で USB 接続をご利用の場合にのみ表示されます。
- インストールが不完全なまま終了していると [USB プリンタデバイス] の項目が表示されないことがあります。その場合は、プリンタソフトウェア CD-ROM 内の [Epusbun.exe] ファイルを実行してください。
  ① コンピュータに「プリンタソフトウェア CD-ROM」をセットします。
  ② [エクスプローラ] などで CD-ROM に収録されたファイルを表示させます。
  ③ [Win9x] フォルダをダブルクリックして開きます。
  ④ [Epusbun.exe] アイコンをダブルクリックします。

プリンタドライバと EPSON プリンタウィンドウ !3 の削除

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

☞ 121 ページ手順 ❹ から続けてください。

❺ ［プリンタ機種］タブをクリックし、お使いのプリンタのアイコンを選択します。

- EPSON プリンタウィンドウ !3 で監視するプリンタを設定できるユーティリティだけを削除することもできます。監視プリンタの設定ユーティリティを削除すると、本機以外の EPSON プリンタウィンドウ !3 に対しても監視プリンタの設定が変更できなくなります。削除の手順は以下の通りです。

- 監視プリンタの設定ユーティリティを削除すると、次の確認メッセージが表示されます。［はい］ボタンをクリックすると、監視プリンタの設定ユーティリティの削除が始まります。

6. **プリンタドライバの削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。**

プリンタドライバの削除が始まります。

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら［はい］ボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを［通常使うプリンタ］として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定します。メッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。

7. **終了のメッセージが表示されたら、［OK］ボタンをクリックします。**

これでプリンタドライバと EPSON プリンタソフトウェア !3 の削除（アンインストール）は終了です。

プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

USB デバイスドライバの削除

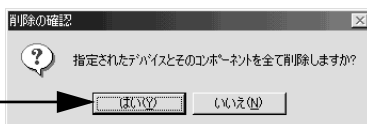
Windows 98/Me で USB 接続をご利用の場合のみ必要なドライバです。

- USB デバイスドライバを削除する前に、プリンタドライバを削除してください。
- USBデバイスドライバを削除すると、USB 接続しているほかのエプソン製プリンタも利用できなくなります。

以下の手順から続けて、下記の作業を行ってください。

☞ 121 ページ手順 4 から続けてください。

5 **［はい］をクリックします。**

USB デバイスドライバの削除が始まります。

6 **［はい］をクリックします。**

コンピュータが再起動します。

以上で USB デバイスドライバの削除は終了です。

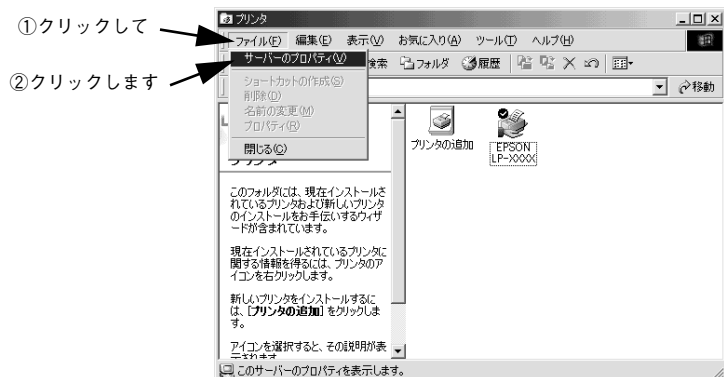
追加ドライバを削除するには（Windows 2000）

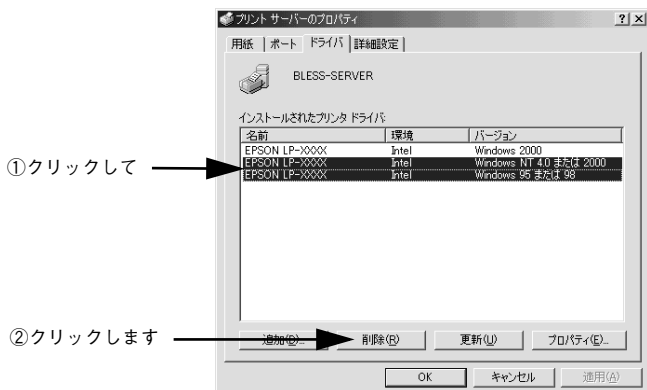
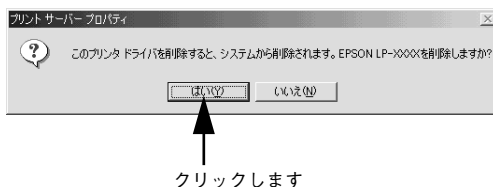
Windows 2000 プリントサーバにクライアント用の追加ドライバをインストールしている場合は、以下の手順で追加ドライバを削除（アンインストール）できます。

Windows NT4.0 プリントサーバにインストールされている代替ドライバは削除することができません。
- プリンタドライバ自体を削除しても代替ドライバは削除されません。
- プリンタドライバをバージョンアップする場合は、バージョンアップしたプリンタドライバを代替ドライバとして再度インストールしてください。
  上書きインストールされた代替ドライバは問題なく動作します。

1. **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

2. **Windows の［プリンタ］フォルダを開きます。**
   ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［プリンタ］をクリックします。

3. **［ファイル］メニューから［サーバーのプロパティ］をクリックします。**

4. **［ドライバ］タブをクリックして、［インストールされたプリンタドライバ］リストを開きます。**

5 削除したい追加ドライバをクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。

6 削除を確認するメッセージが表示されたら、［はい］ボタンをクリックします。

7 ［閉じる］ボタンをクリックしてプロパティを閉じます。

以上で追加ドライバの削除は終了です。

Macintosh プリンタドライバの機能と関連情報

プリンタドライバの詳細説明と、Macintosh でお使いの際に関係する情報について説明しています。

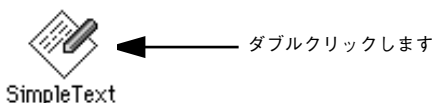
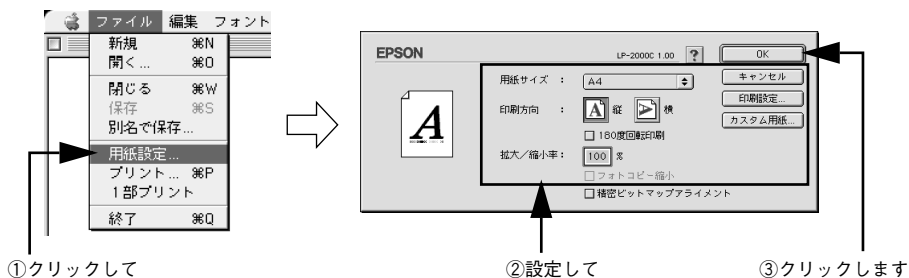
設定ダイアログの開き方

ここでは、Macintosh アプリケーションソフトでの、基本的な印刷手順について説明します。

用紙設定の手順

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。ここでは、SimpleText を例に説明します。

用紙設定をする前にセレクタで LP-2000C 用のプリンタドライバを選択してください。
スタートアップガイド「プリンタドライバの選択」41 ページ

1. ［SimpleText］アイコンをダブルクリックして起動します。

2. ［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタの設定］など）を選択します。

3. **必要な項目を設定します。**

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。
本書「［用紙設定］ダイアログ」130 ページ
本書「任意の用紙サイズを登録するには」131 ページ

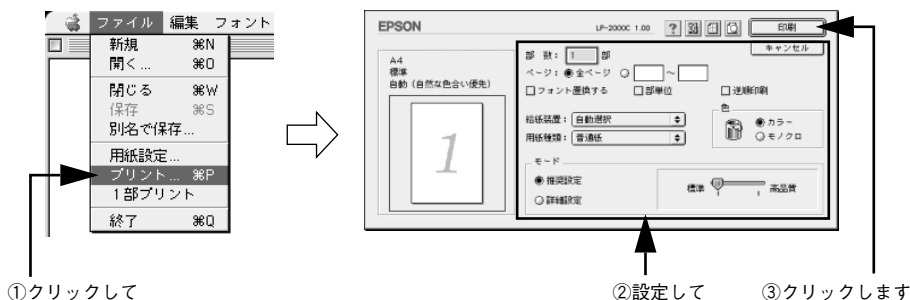
4. ［OK］ボタンをクリックして終了します。

この後、印刷データを作成します。

印刷設定の手順

印刷する際に、プリンタドライバ上で印刷部数などを設定します。

アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

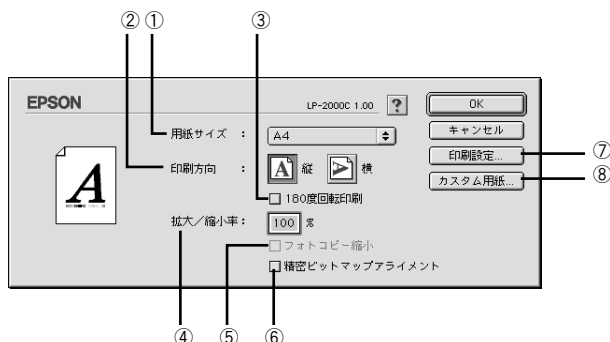
1. ［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。

2. 印刷に必要な項目を設定します。OHP シート、厚紙に印刷する場合は、［用紙種類］から印刷する用紙を選択します。

通常は、［プリント］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

本書「［プリント］ダイアログ」133 ページ

3. ［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

[用紙設定] ダイアログ

[用紙設定] ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。

①用紙サイズ
印刷する用紙のサイズをポップアップメニューから選択します。

②印刷方向
用紙に対する印刷の向きを、[縦]・[横] のいずれかクリックして選択します。

③ 180 度回転印刷
印刷データを 180 度回転して印刷する場合にクリックします。

④拡大 / 縮小率
印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。拡大 / 縮小率を 25% ～ 400% まで、1% 単位で指定できます。

拡大 / 縮小印刷をすると、カラーの色合いが元データと比べて変わることがあります。

⑤フォトコピー縮小
[拡大/縮小率] が 100% 未満の場合に有効になります。クリックしてチェックマークを付けると、指定した縮小率で用紙中央に印刷します。この場合、[精密ビットマップアライメント] は選択できません。

⑥精密ビットマップアライメント
クリックしてチェックマークを付けると、印刷領域を約 4% 縮小して印刷のムラを押さえ、よりきれいに印刷します。この場合、印刷位置は用紙の中央になります。なお、[フォトコピー縮小] を選択している場合は、選択できません。

⑦［印刷設定］ボタン

印刷に関する各種の設定を行います。印刷する直前に［プリント］ダイアログでも同様の項目を設定できます。設定できる項目については、以下のページを参照してください。

本書「[プリント］ダイアログ」133 ページ

⑧［カスタム用紙］ボタン

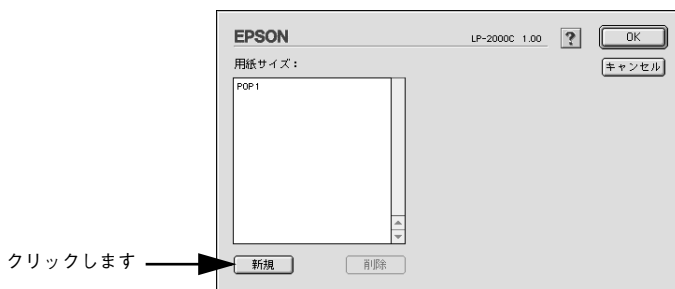
クリックすると［カスタム用紙］ダイアログが表示され、用紙のカスタム（不定形）サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、［用紙設定］ダイアログの［用紙サイズ］メニューから選択できます。

本書「任意の用紙サイズを登録するには」131 ページ

任意の用紙サイズを登録するには

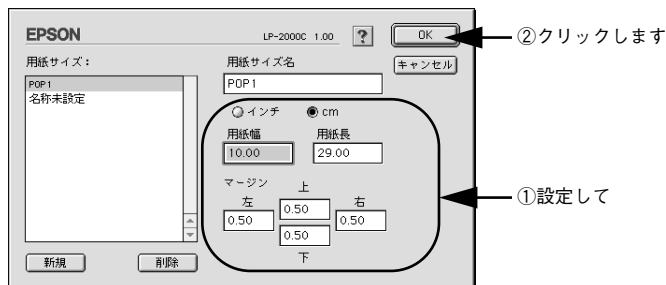
［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［カスタム用紙］として登録することができます。

1 ［用紙設定］ダイアログを開き、［カスタム用紙］ボタンをクリックします。

2 ［新規］ボタンをクリックします。

- 登録できる用紙サイズは、64 までです。
- すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、［用紙サイズ］一覧から変更したい用紙サイズを選択します。
- 用紙サイズ名をクリックしてから［削除］ボタンをクリックすると、その用紙サイズは削除されます。

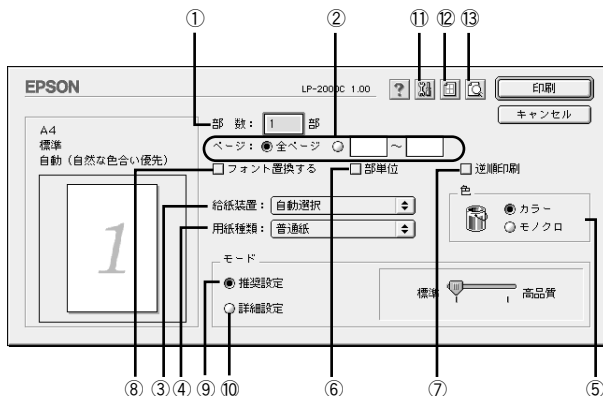
3 **用紙サイズ名、単位（インチまたは cm）、用紙幅、用紙長、上下左右マージンを設定し、[OK] ボタンをクリックします。**

設定できるサイズの範囲は次の通りです。

- 用紙幅：9.20 ～ 21.60cm（3.62 ～ 8.50 インチ）
- 用紙長：14.80 ～ 29.70cm（5.83 ～ 11.69 インチ）

これで定義した用紙サイズが［用紙サイズ］リストから選択できるようになります。

- ［用紙長］の最大値は、［プリント］（または［詳細設定］）ダイアログの［モード設定］（または［印刷品質］）の設定によって異なります。
- 不定形紙への印刷は、いくつかご注意いただく点があります。以下のページを参照してから印刷を実行してください。
本書「不定形紙への印刷」33 ページ

［プリント］ダイアログ

印刷する際、［プリント］ダイアログで印刷に関わる各種の設定を行います。

①部数

1 ～ 999 の範囲で印刷部数を選択します。通常は 1 ページごとに指定した部数を印刷しますが、⑥の［部単位］を選択すると 1 部ごとにまとめて印刷します。

②ページ

すべてのページを印刷する場合は［全ページ］をクリックしてチェックマークを付けます。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを 1 ～ 9999 の範囲で入力します。

③給紙装置

給紙装置を選択します。

項目	説明
自動選択	印刷実行時に、［用紙サイズ］で選択したサイズの用紙がセットされている給紙装置を探し給紙します。
用紙トレイ	用紙トレイから給紙します。
用紙カセット 1	標準の用紙カセットから給紙します。
用紙カセット 2	オプションの増設カセットユニットから給紙します。

- 選択した給紙装置に指定された用紙サイズがセットされていない場合や正しく検知されない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。
  本書「［拡張設定］ダイアログ」142 ページ
- ［自動選択］を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。
  本書「［レイアウト］ダイアログ」144 ページ

④用紙種類

特殊紙（OHP シート、厚紙）に印刷する場合に選択します。

項目	説明
普通紙	普通紙に印刷する場合に選択します。
OHP シート、厚紙	左記の特殊紙に印刷する場合に選択します。［給紙装置］には［用紙トレイ］が選択されます。

ハガキ、封筒へ印刷する場合は、設定の必要はありません。

⑤色

カラー印刷を行うときは、［カラー］を、モノクロ印刷を行うときは［モノクロ］を選択します。

⑥部単位

クリックしてチェックマークを付けると、2 部以上印刷する場合に 1 ページ目から最終ページまでを 1 部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。

⑦逆順印刷

クリックしてチェックマークを付けると、先頭ページからではなく、最後のページから逆に印刷します。

⑧フォント置換する

細明朝体、中ゴシック体、等幅明朝、等幅ゴシックフォントを、別のフォントに置き換えて印刷します。プリンタドライバは、インストールしてあるフォントの中から、置き換え可能なフォントを自動的に探します。置き換え可能なフォントがない場合は、フォント置き換えを行いません。
フォント置き換え機能を使用する場合は、以下のフォントを使用することできれいに印刷できます。お使いの Macintosh に以下のフォントがインストールされていない場合は、Mac OS の CD-ROM よりインストールしてお使いください。

- リュウミンライトー KL、リュウミンライトー KL ー等幅
- 中ゴシック BBB、中ゴシック BBB ー等幅

⑨推奨設定モード

一般的に推奨できる条件で印刷する場合にクリックします。ほどんどの場合、この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。［推奨設定］を選択している場合は、印刷品質（解像度）を［標準］（300dpi）または［高品質］（600dpi）のどちらかに設定できます。

項目	説明
標準	文字文書の高速印刷（品質より印刷速度を優先する場合）に適しています。
高品質	写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）の印刷に適しています。

⑩詳細設定モード

［詳細設定］をクリックすると、詳細設定メニューと［設定変更］/［保存 / 削除］ボタンが表示されます。

項目	説明
詳細設定メニュー	プリセットメニューおよび［保存 / 削除］ボタンで保存した設定を選択できます。
［設定変更］ボタン	クリックすると、［詳細設定］ダイアログが開きます。以下のページを参照してください。 本書「［詳細設定］ダイアログ」138 ページ
［保存 / 削除］ボタン	クリックすると、［プリント］ダイアログで設定した内容を保存または削除するためのダイアログが表示されます。［ユーザー設定名］を入力して、［登録］ボタンをクリックしてください。 ②クリックします ①入力して 保存した設定を変更または削除できます。 • 設定を変更する場合は、最初に［プリント］ダイアログで設定を変更してから変更の対象となる設定名を［ユーザー設定］リストから選択し、［変更］ボタンをクリックしてください。 • 設定を削除する場合は、削除する設定名を［ユーザー設定］リストから選択して［削除］ボタンをクリックしてください。 ② クリックします（変更時） ② クリックします（削除時） ①選択して

カラー印刷時には、以下のプリセットメニューをご利用いただけます。

プリセットメニュー	用途
推奨（標準）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷速度を重視した設定で印刷します。
ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷速度を重視した設定で印刷します。
グラフィック／ＣＡＤ	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷速度を重視した設定で印刷します。
写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷速度を重視した設定で印刷します。
オートフォトファイン !4	EPSON独自の画像補正技術オートフォトファイン!4 を使用し､印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
ColorSync	ColorSync によるカラーマッチング（色合わせ）を行うときに適した設定です。
推奨（高品質）	一般的なデータを印刷するのに適した設定です。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質ワープロ／グラフ	グラフや表を含むデータを印刷する場合に選択してください。この部分を鮮やかに印刷して読みやすくします。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質グラフィック／ CAD	グラフィック画像や CAD による描画を印刷する場合に選択してください。細線までくっきりと鮮やかに印刷します。印刷品質を重視した設定で印刷します。
高品質写真	写真を中心としたデータを印刷する場合に選択してください。印刷品質を重視した設定で印刷します。

⑪ （拡張設定アイコン）

印刷位置のオフセット値、白紙節約機能、用紙サイズチェックなどの設定を行うときにクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。

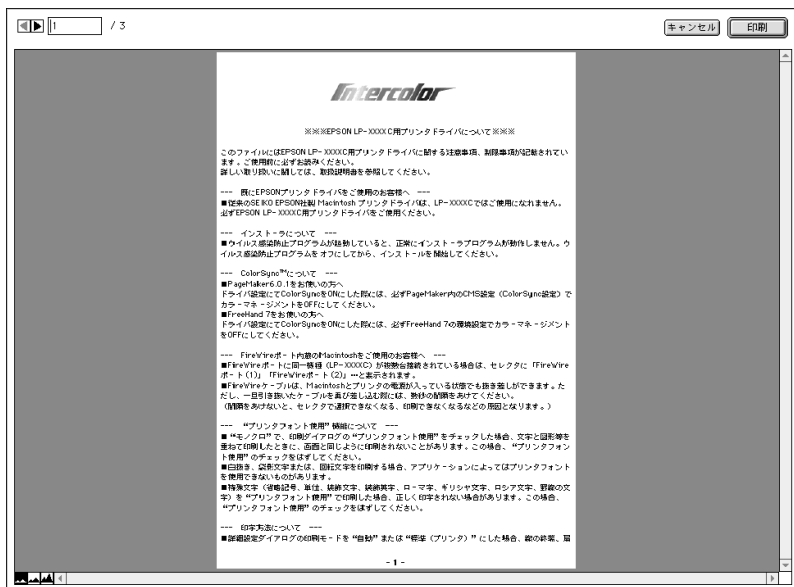
本書「[拡張設定］ダイアログ」142 ページ

⑫ （レイアウトアイコン）

アイコンをクリックすると［レイアウト］ダイアログが表示され、レイアウトに関する設定ができます。詳細については、以下のページを参照してください。

本書「[レイアウト］ダイアログ」144 ページ

⑬ （プレビューアイコン）

アイコンをクリックすると［印刷］ボタンが［プレビュー］ボタンに変わります。［プレビュー］ボタンをクリックすると、［プレビュー］ウィンドウが表示され、印刷結果をモニタ上で確認できます。

ポイント

- ［用紙設定］ダイアログで［180 度回転印刷］を設定しても、ページを 180 度回転してプレビュー表示しません。
- 文字が図形より下にあっても、文字が上にプレビュー表示されます。

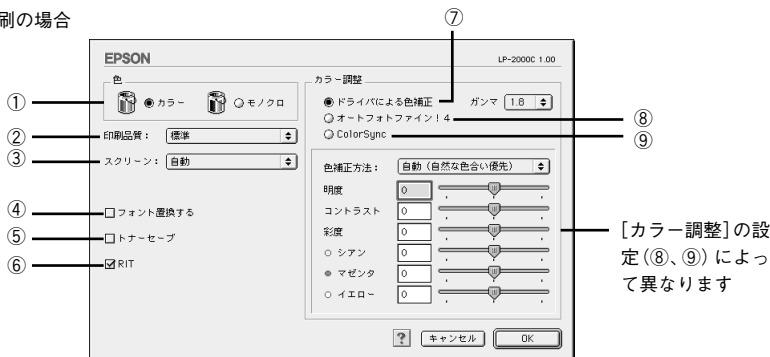
	：	表示するページを 1 ページごとに切り替えるボタンです。
1 / 3	：	表示させるページ番号を直接入力します。
キャンセル	：	［プレビュー］ダイアログを閉じるボタンです。
印刷	：	印刷を開始するボタンです。
	：	印刷データ（1 ページ単位）の全体を表示します。
	：	印刷結果と同等のサイズで表示します。
	：	印刷データを拡大して表示します。

[詳細設定] ダイアログ

[プリント] ダイアログの [モード設定] で [詳細設定] をクリックして [設定変更] ボタンをクリックすると、[詳細設定] ダイアログが表示されます。印刷に関わるさまざまな機能を詳細に設定できます。

カラー印刷の場合

モノクロ印刷の場合

①色

カラー印刷を行うときは、[カラー] を、モノクロ印刷を行うときは [モノクロ] を選択します。

②印刷品質

印刷品質とは印刷解像度のことで、[標準]（300dpi）または [高品質]（600dpi）のどちらかに設定できます。
[高品質] を選択すると、きめ細かく印刷できますが印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合は、[標準] に設定してください。

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、[印刷品質] を [標準]（解像度 300dpi）に設定してください。

③スクリーン（カラー印刷のみ）

スクリーン線数（lpi）を選択します。ほかに設定した印刷条件によっては、グレー表示して設定できない場合があります。

項目	説明
自動	スクリーン線数を自動的に設定します。
解像度優先	解像度を優先して印刷します。細い線や細かい模様のあるデータの印刷時に選択してください。
階調優先	階調を優先して印刷します。色調や色の濃淡が無段階に変化する連続階調、写真やグラデーションのあるデータの印刷時に選択してください。

④フォント置換する

細明朝体、中ゴシック体、等幅明朝、等幅ゴシックフォントを、別のフォントに置き換えて印刷します。プリンタドライバは、インストールしてあるフォントの中から、置き換え可能なフォントを自動的に探します。置き換え可能なフォントがない場合は、フォント置き換えを行いません。

フォント置き換え機能を使用する場合は、以下のフォントを使用することできれいに印刷できます。お使いのMacintoshに以下のフォントがインストールされていない場合は、Mac OSのCD-ROMよりインストールしてお使いください。

- リュウミンライトーKL、リュウミンライトーKLー等幅
- 中ゴシックBBB、中ゴシックBBBー等幅

⑤トナーセーブ

クリックしてチェックマークを付けると、トナーセーブ機能が有効になります。色の表現力を低く抑えて印刷します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

カラー印刷の場合、トナーセーブ機能を有効にすると、色の濃度を低くして印刷するため、薄い色や細かい線などは印刷されない場合があります。

⑥ RIT

クリックしてチェックマークを付けると、RIT(Resolution Improvement Technology)機能が有効になり、大きな文字を印刷するときに、より効果が得られます。

- RIT機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合はRIT機能を使用しないでください。
- カラー印刷の場合、③の［スクリーン］の関係でRIT機能が有効にならない場合があります。

⑦ドライバによる色補正（カラー印刷のみ）

プリンタドライバによるカラー調整を行います。［ドライバによる色補正］を選択した場合は、以下の設定でカラー調整できます。

ガンマ：

ガンマ値は、画像階調の入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位で、この値を変更することで中間調の明るさの見え方が変わります。この設定は、［ドライバによる色補正］を選択した場合にのみ有効です。

［1.5］	従来の EPSON カラーレーザープリンタ（LP-8000C/8200C）の色合いに近づけて印刷します。
［1.8］	通常はこの設定で印刷してください。ガンマ値 1.5 に比べ立体感がありメリハリのある画像を印刷することができます。
［2.2］	sRGB 対応製品と色合わせして印刷する場合に選択してください。

色補正方法：

色の補正方法を選択できます。（モノクロ印刷では、設定できません。）

［自動（自然な色合い優先）］	文字を鮮やかな色合いに、グラフィックとイメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
［自動（鮮やかさ優先）］	文字とグラフィックを鮮やかな色合いに、イメージを自然な色合いになるようにカラー調整します。
［自然な色合い］	より自然な発色になるようにカラー調整します。
［鮮やかな色合い］	より鮮やかな発色になるようにカラー調整します。
［色補正なし］	カラー調整しません。ColorSync 用プロファイルを作成する際の基準色を印刷するときに選択します。通常は、選択しないでください。

明度：

画像全体の明るさを調整します。

コントラスト：

画像全体のコントラスト（明暗比）を調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度：

画像全体の彩度（色の鮮やかさ）を調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。

シアン、マゼンタ、イエロー：

各色の強さを調整します

	-25 ← 0 → +25	
シアン	赤みが強くなります。	青緑（シアン）が強くなります。
マゼンタ	緑色が強くなります。	赤紫（マゼンタ）が強くなります。
イエロー	青色が強くなります。	黄色（イエロー）が強くなります。

⑧オートフォトファイン !4（カラー印刷のみ）

EPSON 独自のオートフォトファイン !4 機能を使って、画像を調整します。ビデオ、デジタルカメラ、フィルムスキャナ、スキャナなどから取り込んだ画像や Photo CD のデータなどを自動的に補正して印刷します。［オートフォトファイン !4］を選択した場合は、以下の設定でカラーを調整します。

項目	説明
色調	印刷する際の画像の色調の補正方法を、［標準］［硬調］［鮮やか］［セピア］［モノクロ］の項目から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。色調を補正しない場合は、チェックボックスをクリックしてチェックマークを外します。
効果	印刷する際に画像に特殊効果を加えて印刷します。［シャープネス］［ソフトフォーカス］［キャンバス］［和紙］の中から選択することができます。それぞれの効果は各項目を選択した際の右側の画像の変化で確認してください。スライドバーでは、加える効果の強弱を調整することができます。効果を加えない場合は、チェックボックスをクリックしてチェックマークを外します。
デジタルカメラ用補正	デジタルカメラで撮影した画像に対して、最適な補正をして印刷します。

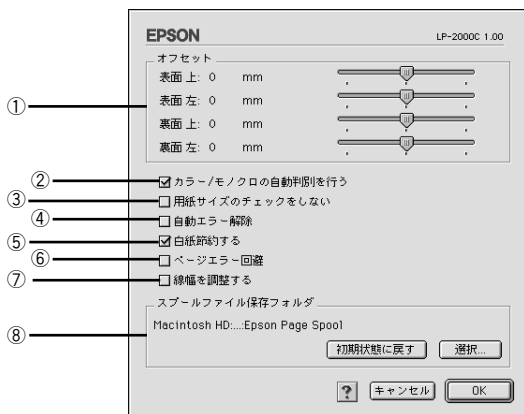
- 画像のサイズやコンピュータの性能によっては印刷時間が多少長くなります。
- オートフォトファイン !4 は、1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対して最も有効に機能します。256 色などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

⑨ ColorSync（カラー印刷のみ）

クリックしてチェックマークを付けると、ColorSync によるカラーマッチング（色合わせ）を行います。詳しくは、以下のページを参照してください。

本書「ColorSync について」166 ページ

［拡張設定］ダイアログ

［プリント］ダイアログの［拡張設定］アイコンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが表示されます。

①オフセット

印刷開始位置のオフセット値を表面 / 裏面それぞれに対して［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。
上（垂直位置）: -9mm（上方向）～ 9mm（下方向）
左（水平位置）: -9mm（左方向）～ 9mm（右方向）

②カラー / モノクロの自動判別を行う

印刷データがカラーデータであるかモノクロデータであるかを自動判別して、データに適した設定で印刷します。

③用紙サイズのチェックをしない

プリンタドライバで設定した用紙サイズとプリンタにセットしてある用紙のサイズが合っているか確認しません。それぞれの用紙サイズが異なってもエラーを発生することなく印刷します。

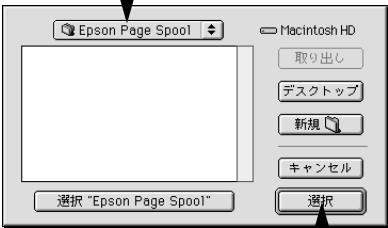
④自動エラー解除

以下の状態のときに発生するエラーを自動的に解除して印刷を続行します。

- プリンタにセットしてある用紙のサイズと印刷データの用紙のサイズが異なる場合
- 印刷データの用紙サイズがプリンタのサポートしていないサイズの場合
- 印刷に必要なメモリが足りない場合

⑤白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。白紙ページを印刷しないことで用紙を節約することができます。

⑥ページエラー回避

印刷データに問題が発生した場合にチェックしてください。チェックすると印刷品質を落として印刷するため、エラーを回避できることがあります。

⑦線幅を調整する

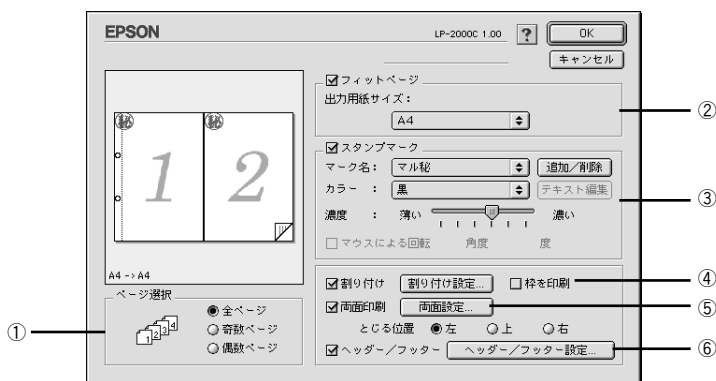
図形の線幅を 1.4 倍にして印刷します。図形を重ね合わせて印刷すると隙間が生じる場合などに隙間を埋めることができます。

⑧スプールファイル保存フォルダ

印刷処理用のスプールファイルをどこに保存するかを選択できます。

項目	説明
[選択] ボタン	[拡張設定] ダイアログで [選択] ボタンをクリックしてフォルダの選択ダイアログを表示させ、スプールファイルを保存したいフォルダを選択してから [選択] ボタンをクリックします。 ①選択して Epson Page Spool / Macintosh HD / 取り出し / デスクトップ / 新規 / キャンセル / 選択 "Epson Page Spool" / 選択 ②クリックします
[初期状態に戻す] ボタン	スプールファイルの保存フォルダを初期状態に戻すには、[拡張設定] ダイアログで [初期状態に戻す] ボタンをクリックします。

［レイアウト］ダイアログ

［プリント］ダイアログで［レイアウト］アイコンをクリックすると、［レイアウト］ダイアログが表示されます。レイアウトに関わるさまざまな設定ができます。

①ページ選択

印刷データの全ページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみ印刷するかを選択します。

②フィットページ

チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを自動的に拡大 / 縮小して印刷します。

本書「拡大 / 縮小して印刷するには」146 ページ

- 拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- ［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。

③スタンプマーク

チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、印刷データに㊙などの画像や「重要」などのテキストを重ね合わせて印刷します。

本書「スタンプマークを印刷するには」147 ページ

④割り付け

チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、2 ページまたは 4 ページ分の連続した印刷データを 1 枚の用紙に自動的に縮小割り付けして印刷します。割り付けるページ数、順序、枠線の有無を設定できます。詳しくは以下のページを参照してください。

本書「1 ページに複数ページのデータを印刷するには」152 ページ

⑤両面印刷

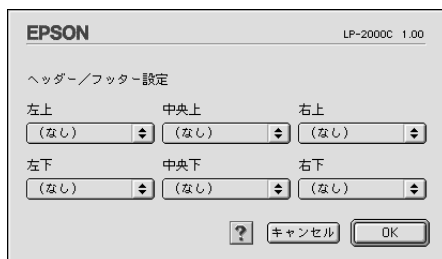
オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に選択できます。クリックしてチェックマークを付けると、両面印刷を行います。

本書「両面印刷をするには」154 ページ

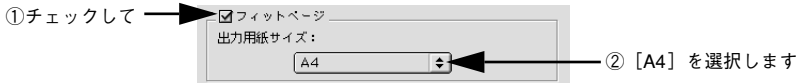
両面印刷を行う場合、次の点に注意してください。

- 両面印刷ユニットを使って自動両面印刷できるのは、A4、Letter（LT）サイズの普通紙だけです。それ以外のサイズの用紙、および特殊紙には自動両面印刷はできません。
- 用紙カセットの用紙ガイドは、用紙サイズの目盛りに正しく合わせてください。また、用紙トレイにセットした用紙のサイズを正しく設定してください。用紙サイズが正しく検知されないと、両面印刷ができない場合があります。

⑥ヘッダー / フッター

ユーザー名や印刷日時など、印刷に関する情報を用紙のヘッダー（上部）/ フッター（下部）に印刷するには、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。印刷するヘッダー / フッターを設定するには、[ヘッダー / フッター設定] ボタンをクリックします。

[ヘッダー / フッター設定] ダイアログでは、印刷位置に対応するリストから印刷したい項目（なし・ユーザー名・コンピュータ名・日付・日付 / 時刻・部番号）を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

拡大 / 縮小して印刷するには

[レイアウト] ダイアログ内のフィットページ機能を使います。フィットページとは、印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを拡大 / 縮小する機能のことです。
[フィットページ] をチェックし、印刷する用紙のサイズを選択してから印刷を実行します。

- 拡大 / 縮小の倍率は [用紙設定] ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。
- [用紙設定] ダイアログの [拡大 / 縮小率] は無効になります。

フィットページ印刷の手順

フィットページ機能を使って用紙サイズ A3 の印刷データ（[用紙設定] ダイアログの用紙サイズが [A3] のデータ）を A4 サイズに縮小印刷する手順は以下の通りです。

1. **プリンタに A4 サイズの用紙がセットされていることを確認します。**

2. **[レイアウト] ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。**
設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックして [レイアウト] ダイアログを閉じます。

3. **[プリント] ダイアログの [印刷] ボタンをクリックして印刷を実行します。**

スタンプマークを印刷するには

［レイアウト］ダイアログ内のスタンプマーク機能を使います。

①プレビュー部

ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。

②マーク名

印刷するスタンプマークをリストから選択します。

③［追加 / 削除］ボタン

オリジナルのビットマップ (PICT 画像) マークやテキスト（文字）マークを登録したり削除するには、［追加 / 削除］ボタンをクリックして［追加 / 削除］ダイアログを開きます。登録 / 削除の手順については、以下のページを参照してください。

本書「オリジナルスタンプマークの登録方法」148 ページ

④［テキスト編集］ボタン

登録したテキストマークを［マーク名］リストで選択してから［テキスト編集］ボタンをクリックすると、登録したテキスト、フォント、スタイルを変更することができます。

⑤濃度

スタンプマークの印刷濃度を、［濃度］バーで調整します。バーを［薄い］側に移動するとより薄く、［濃い］側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

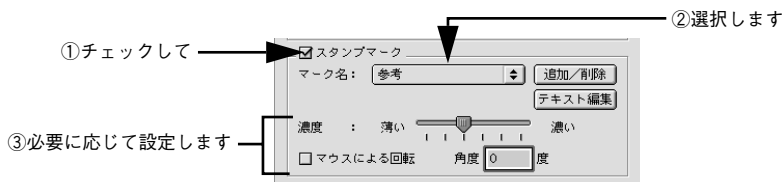
⑥マウスによる回転 / 角度

テキストマークを回転するときは、［マウスによる回転］をクリックしてチェックマークを付け、プレビュー部のマークをマウスで回転させるか、［角度］ボックスに回転角度を直接入力します。

スタンプマーク印刷の手順

スタンプマークを印刷する場合の手順は以下の通りです。

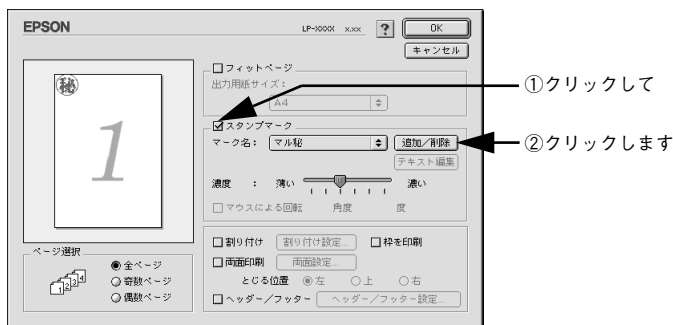
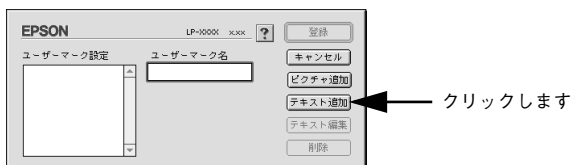
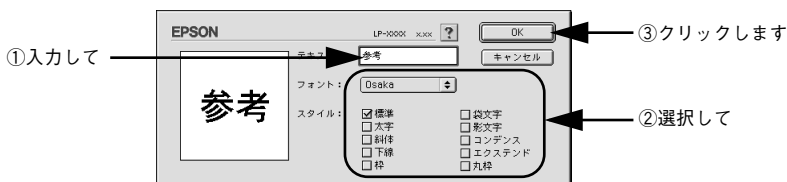
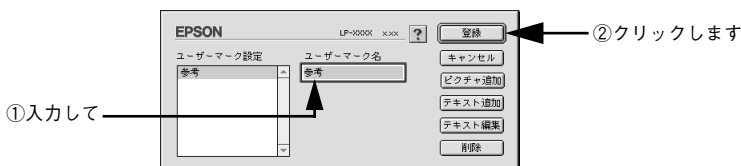
1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。

設定が終了したら、[OK] ボタンをクリックして [レイアウト] ダイアログを閉じます。

2. ［プリント］ダイアログの［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

オリジナルスタンプマークの登録方法

すでに登録されているスタンプマークのほかに、テキスト（文字）マークやビットマップ（画像）マークが登録できます。登録するマークの種類に合わせて、それぞれの手順をお読みください。

テキストマークの登録方法

1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をクリックしてチェックマークを付け、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

2. ［テキスト追加］ボタンをクリックします。

3 ［テキスト］ボックスに文字を入力し、［フォント］と［スタイル］を選択して、［OK］ボタンをクリックします。

4 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］ボタンをクリックします。

これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

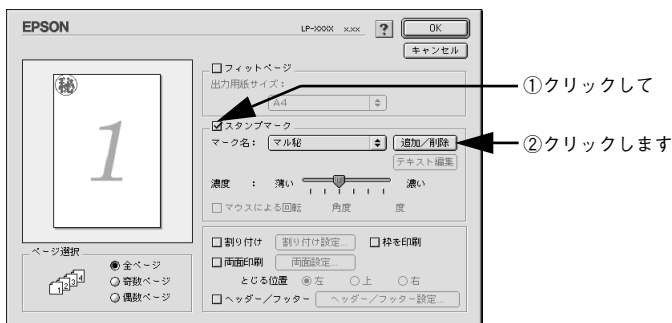
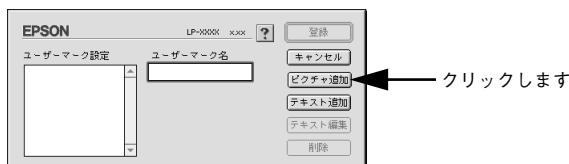
ポイント

- 登録したテキストマークを変更するには、変更したいテキストマーク名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［テキスト編集］ボタンをクリックします。変更した後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。
- 登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

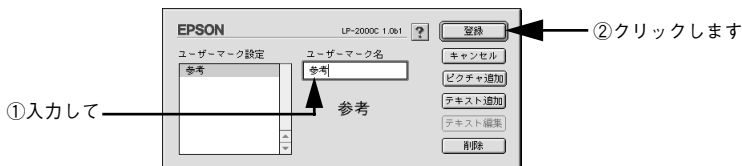
5 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。
画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

ビットマップマークの登録方法

1. アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマークを作成し、PICT 形式で保存します。

2. ［レイアウト］ダイアログを開いて、［スタンプマーク］をクリックしてチェックマークを付け、［追加 / 削除］ボタンをクリックします。

3. ［ピクチャ追加］ボタンをクリックします。

4. ❶ で保存した PICT ファイル名を選択し、［開く］ボタンをクリックします。
［作成］ボタンをクリックすると、ファイルのサンプル画像を表示します。

5 ［ユーザーマーク名］を入力して、［登録］ボタンをクリックします。

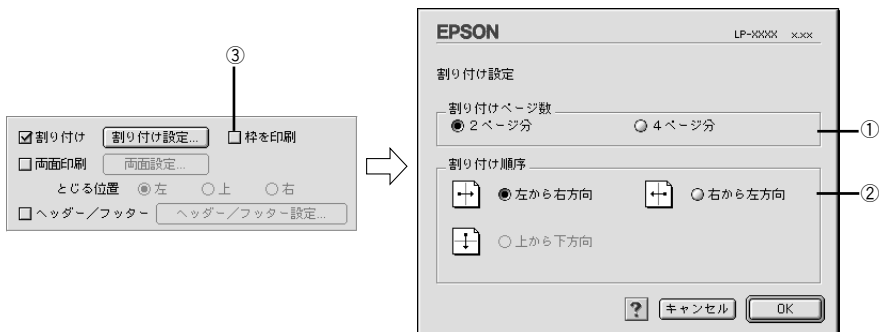
これで［スタンプマーク］ダイアログの［マーク名］のポップアップメニューにオリジナルのスタンプマークが登録されました。

ポイント

登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［ユーザーマーク設定］リストから選んで［削除］ボタンをクリックします。［削除］ボタンをクリックした後、必ず一旦ダイアログを閉じてください。

6 ［スタンプマーク］ダイアログで［OK］ボタンをクリックします。

画面左側のプレビュー部で登録したスタンプマークを確認できます。

1 ページに複数ページのデータを印刷するには

[レイアウト] ダイアログで [割り付け] をクリックしてチェックマークを付け、[割り付け設定] ボタンをクリックすると、[割り付け設定] ダイアログが開いて以下の項目が設定できます。

①割り付けページ数

1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

②割り付け順序

割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。[印刷方向]（縦・横）と [割り付けページ数] によって、選択できる割り付け順序は異なります。

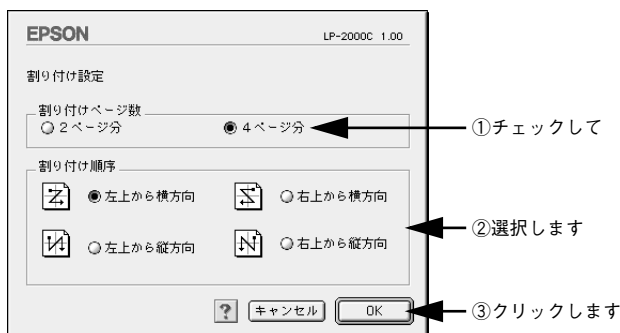
③枠を印刷

クリックしてチェックマークを付けると割り付けた各ページの周りに枠線を印刷します。

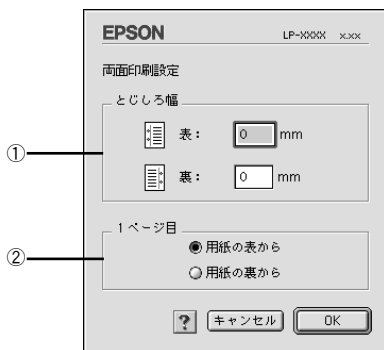
割り付け印刷の手順

4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に印刷する場合の手順は以下の通りです。

1. ［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。

2. ［割り付け設定］ダイアログの以下の項目を設定します。

3. ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

両面印刷をするには

［レイアウト］ダイアログで［両面設定］をクリックしてチェックマークを付け、［両面設定］ボタンをクリックすると、［両面印刷設定］ダイアログが表示され以下の項目が設定できます。

①とじしろ幅

両面印刷するときのとじしろ幅を、用紙の表と裏でそれぞれ設定します。

② 1ページ目

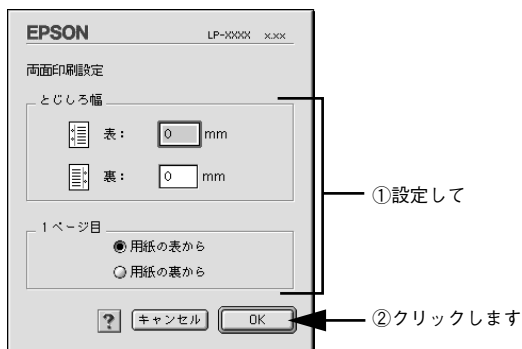
両面印刷する場合、印刷データの 1 ページ目を用紙の表から印刷するか裏から印刷するかを選択します。

両面印刷の手順

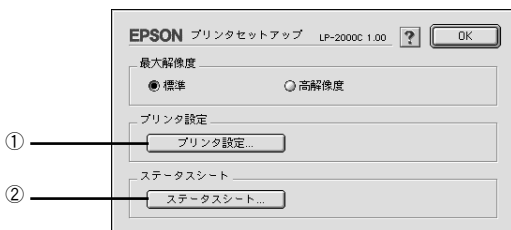
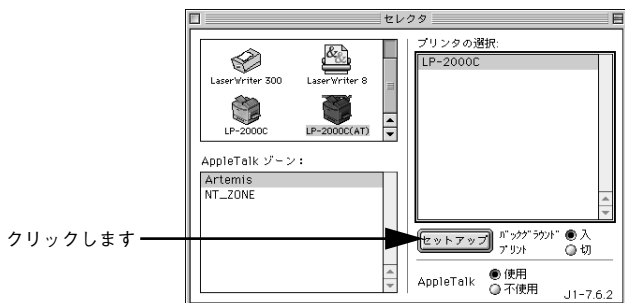
A4 サイズ（縦長）の印刷データを用紙の左側をとじられるように両面印刷する場合の手順は以下の通りです。

1 **プリンタに両面印刷が可能なサイズの用紙（ここではA4）がセットされていることを確認します。**

2 **［レイアウト］ダイアログを開いて、以下の項目を設定します。**

3 ［両面印刷設定］ダイアログの以下の項目を設定します。

4 ［OK］ボタンをクリックして［レイアウト］ダイアログを閉じ、［プリント］ダイアログの［印刷］ボタンをクリックして印刷を実行します。

［プリンタセットアップ］ダイアログ

［プリンタセットアップ］ダイアログではプリンタの基本的な設定を行います。
アップルメニューからセレクタを開いてプリンタを選択したら、［セットアップ］ボタンをクリックして、［プリンタセットアップ］ダイアログを開いて機能を設定してください。詳しくは、以下のページを参照してください。
スタートアップガイド「プリンタドライバの選択」41 ページ

印刷中は設定を変更できません。

①［プリンタ設定］ボタン

プリンタの基本機能を設定します。設定を変更したら、［OK］ボタンをクリックしてダイアログを閉じてください。

印刷中に［OK］ボタンをクリックしないでください。正常に設定されない場合があります。

項目	説明
節電時間	節電状態に入るまでの時間を設定します。印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間（初期設定 30 分）が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行ってから印刷を開始します。
給紙自動選択	［プリント］ダイアログの［給紙装置］が［自動選択］に設定され、用紙トレイと用紙カセットにセットした用紙サイズが同じ場合、どちらを優先して給紙するかを設定できます。
トナー交換エラー	トナーがなくなった場合の対応を設定できます。 • ［する］に設定した場合、トナーがなくなると印刷を停止し、交換を促すメッセージを表示します。（初期設定） • ［しない］に設定した場合、トナーがなくなっても交換を促すメッセージを表示しません。トナーがなくなった状態で印刷を続けると印刷品質が悪くなります。
トレイ用紙サイズ	用紙トレイにセットした用紙のサイズを指定します。設定が異なったまま印刷を実行すると、印刷はできますが用紙交換エラーまたは用紙サイズエラーが発生し、画面上にメッセージが表示されます。
プリンタをモニタする	EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を監視するかどうかを選択します。必ずチェックを付けて使用してください。

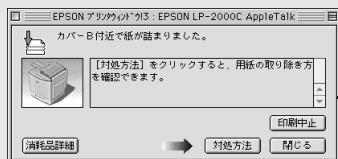
②［ステータスシート］ボタン

クリックすると、プリンタの状態を表示します。［ステータスシート印刷］ボタンをクリックすると、プリンタの状態を記載したステータスシートを印刷します。

EPSON プリンタウィンドウ !3

EPSON プリンタウィンドウ !3は、プリンタの状態をコンピュータ上で確認できるユーティリティです。

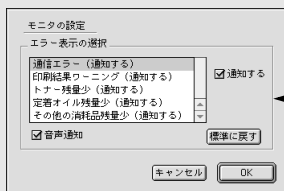
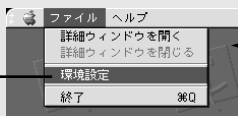
プリンタの状態を表示します

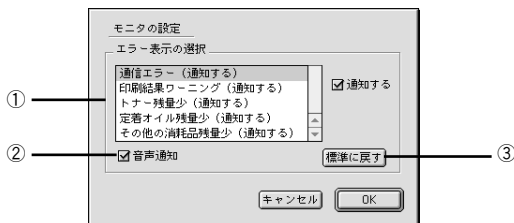
ポップアップウィンドウ
印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。

［プリンタ詳細］ウィンドウ
消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 の画面を開きます

［アップル］メニューから起動
［アップル］メニューから［EPSON プリンタウィンドウ !3］を選択して、［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。

動作環境を設定します

［モニタの設定］ダイアログ
どのような場合にエラー表示するか、音声通知するかなど EPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定できます。

EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動して、［ファイル］メニューから［環境設定］をクリックすると、［モニタの設定］ダイアログが表示されます。

［モニタの設定］ダイアログ

EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動して、［ファイル］メニューから［環境設定］をクリックすると、［モニタの設定］ダイアログが表示されます。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するかなどEPSON プリンタウィンドウ !3 の動作環境を設定できます。

①エラー表示の選択

どのようなエラー状態のときに通知するかを選択します。通知が必要な項目は、リスト内のエラー状況を選択して、［通知する］のチェックボックスをクリックします。

②音声通知

クリックしてチェックマークを付けると、エラー発生時に音声でも通知します。

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③［標準に戻す］ボタン

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻すときにクリックします。

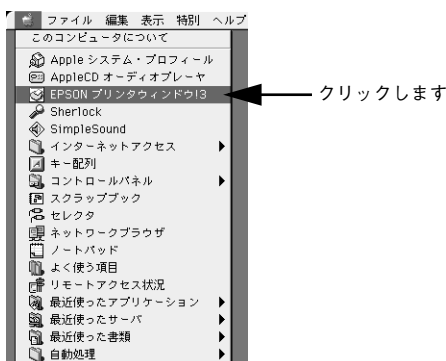
プリンタの状態を確かめるには

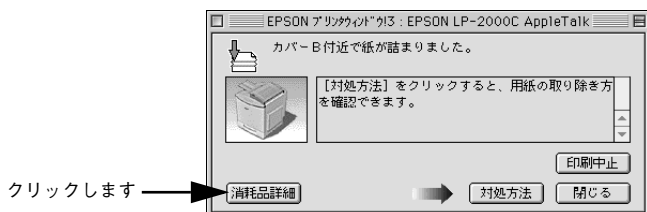
EPSON プリンタウィンドウ !3 でプリンタの状態を確認するために、2 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。

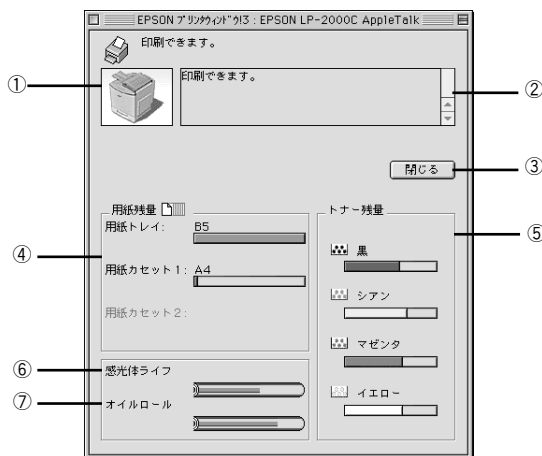
本書「[プリンタ詳細］ウィンドウ」161 ページ

EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動する前に、監視したいプリンタが［セレクタ］で選択されているか確認してください。

［方法 1］

［アップル］メニューから［EPSON プリンタウィンドウ !3］をクリックします。EPSON プリンタウィンドウ !3 が起動し、［プリンタ詳細］ウィンドウが表示されます。

［方法 2］

アプリケーションソフトから印刷を実行します。エラーが発生してプリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れたときに、［消耗品詳細］ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。

［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ !3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①プリンタ

プリンタの状態をグラフィックで表示します。

②メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

本書「対処が必要な場合は」162 ページ

③［閉じる］ボタン

ウィンドウを閉じるときにクリックします。

④用紙残量

給紙装置にセットされている用紙サイズと用紙残量の目安を表示します。オプションの給紙装置が装着されている場合は、その給紙装置（カセット）についての情報も表示します。

⑤トナー残量

ET カートリッジのトナーがどれくらい残っているか目安を表示します。

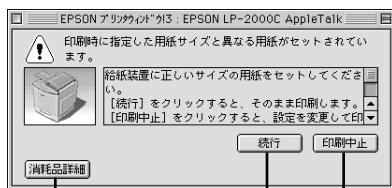
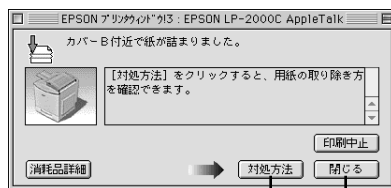
⑥感光体ライフ

感光体ユニットがあとどれくらい使用できるか、寿命（ライフ）の目安を表示します。

⑦オイルロール

定着オイルロールがあとどれくらい残っているか目安を表示します。

対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSON プリンタウィンドウ !3 のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解消されると、自動的に閉じます。

①［消耗品詳細］ボタン：
クリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。
本書「[プリンタ詳細］ウィンドウ」161 ページ

②［続行］ボタン：
表示されているワーニングを無視して印刷を続行します。続行した場合画面と異なる状態で印刷されるなどのトラブルが発生することがあります。

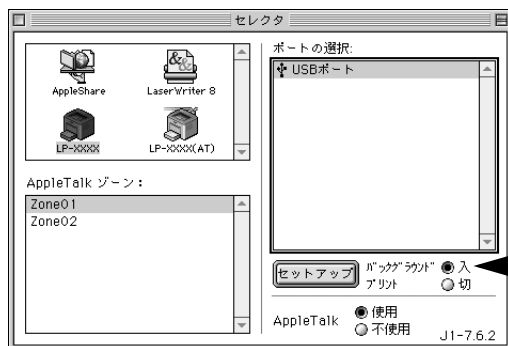
③［印刷中止］ボタン
現在処理中の印刷を中止して、データを削除します。プリンタが印刷動作を続行している時にクリックすると、他人のデータを削除する場合がありますので注意してください。

④［対処方法］ボタン：
クリックすると順を追って対処方法を詳しく説明します。

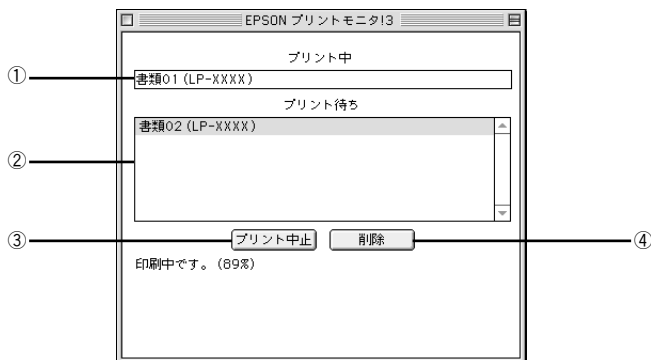
⑤［閉じる］ボタン：
クリックできる場合は、ポップアップウィンドウを閉じることができます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

バックグラウンドプリントを行う

バックグラウンドプリントとは、Macintosh がほかの作業を行いながら同時にプリンタで印刷を行うことです。

バックグラウンドプリントを行う場合は、Macintosh ツールバーの一番左の［アップル］メニューから［セレクタ］を選び、［バックグラウンドプリント］の［入］をクリックしてください。

［バックグラウンドプリント］を［入］に設定すると、印刷実行中も Macintosh で他の作業ができますが、Macintosh によってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が長くなることがあります。印刷速度を優先する場合は、［バックグラウンドプリント］を［切］に設定してください。

印刷状況を表示する

［セレクタ］で［バックグラウンドプリント］を［入］にした場合、印刷実行時に EPSON プリントモニタ!3 が起動します。EPSON プリントモニタ !3 は、印刷中にツールバーの一番右の［アプリケーション］メニューから開くことができます。ウィンドウが閉じているときは、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。

①プリント中

現在バックグラウンドで印刷中のファイル名が表示されます。

②プリント待ち

印刷待ちをしている印刷ファイル名が表示されます。

③［プリント中止］ボタン

進行中の印刷（［プリント中］に表示されている印刷ファイルの印刷）を中止するときにクリックします。

印刷を一時停止したり再開するには、EPSON プリントモニタ !3 の［ファイル］メニューから［一時停止］や［印刷再開］を選択します。

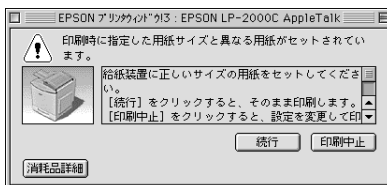
④［削除］ボタン

印刷待ちをしている印刷ファイルを削除するには、［プリント待ち］に表示されている印刷ファイルをクリックして、［削除］ボタンをクリックします。

印刷の中止方法

1. **コマンド（⌘）キーを押しながらピリオド（.）キーを押して、印刷を中止します。**
   アプリケーションソフトによって、印刷中にダイアログを表示するものがあります。印刷を中止するボタン（[キャンセル] など）をクリックして印刷を強制的に終了します。

2. **バックグラウンドプリントを行っている場合は、EPSONプリントモニタ!3を開いて印刷状況を確かめます。**
   データが残っている場合は、印刷ファイルを削除します。
   本書「印刷状況を表示する」164 ページ

EPSON プリンタウィンドウ !3 上から［印刷中止］ボタンをクリックして印刷を中止することもできます。ただし、プリンタが印刷動作を続行している時にクリックすると、他人が実行した印刷データを削除することがありますのでご注意ください。

ColorSync について

ColorSync とは

例えばスキャナで取り込んだ画像を印刷する場合、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いは完全には一致しません。これは、それぞれの機器の色の表現方法の違い、階調表現力の違い、またディスプレイ表示のクセ（偏った色表示をする）などが原因です。

このような場合の原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いをできるだけ一致（カラーマッチング）させるためのカラーマネージメントシステムとしてMacintosh では ColorSync があります。本機は、この ColorSync 2.0/2.5 に対応しています。

- この ColorSync によるカラーマッチングを行うには、画像入力機器、画像取り込みアプリケーションソフト、画像出力機器、すべてが ColorSync に対応している必要があります。
- カラーマッチングについて説明していますので、詳しくは以下のページを参照してください。
  本書「より高度な色合わせについて」269 ページ

ColorSync を使用して印刷するには

本機で ColorSync を使用する場合は、次の基本手順に従ってください。

1. **正確な色を再現できるように、ディスプレイのカラー調整（モニタキャリブレーション）を行います。**
ディスプレイの調整が正しく行えない場合や、ディスプレイの劣化により正しく色を再現できない場合は、ディスプレイとプリンタの色を正確に合わせせることができません。調整方法は、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。
本書「より高度な色合わせについて」269 ページ

2. **お使いのディスプレイの特性を Macintosh で設定します。**
使用しているディスプレイで再現できる色の特性を定義した ColorSync プロファイルを、［コントロールパネル］の［ColorSync］から選択してください。ColorSync のバージョンによって、設定方法は異なります。

ColorSync2.0 の場合	ColorSync2.5 の場合
①コントロールパネルから［ColorSync システム特性］を選択します。 ②お使いのディスプレイが選択されているか確認します。選択されていない場合は、［特性の設定］ボタンをクリックします。 ③お使いのディスプレイをリストの中から選択し、［選ぶ］ボタンをクリックします。 お使いのディスプレイがリストにない場合は、最適なシステム特性についてディスプレイのメーカーにお問い合わせください。	①コントロールパネルから［ColorSync］を選択します。 ②お使いのディスプレイが［システム特性］の項目で選択されているか確認します。選択されていない場合は、お使いのディスプレイをポップアップメニューから選択します。お使いのディスプレイがポップアップメニューにない場合は、最適なシステム特性についてディスプレイのメーカーにお問い合わせください（そのほかの項目は、設定する必要はありません）。

3. **印刷実行時に、ColorSync を設定します。**
［プリント］ダイアログの［モード］を［詳細設定］に設定して、メニューから［ColorSync］を選択します。
本書「［詳細設定］ダイアログ」138 ページ

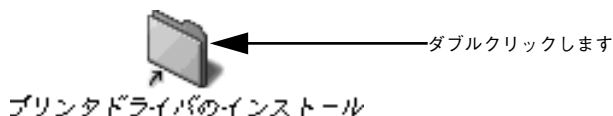
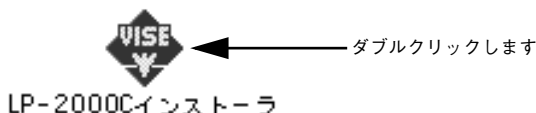
- ColorSync を使って印刷する画像をスキャナで取り込むときは、スキャナのドライバ（例 EPSON TWAIN）で ColorSync を選択してから画像を取り込んでください。
- ColorSync を使用する場合は、アプリケーションソフトを RGB モードに設定して作業してください。CMYK や Lab モードでは、正しく色合わせすることができません。
- 一部のアプリケーションソフト（Adobe PageMaker 6.5J、Photoshop 4.0J、Illustrator 7.0J など）では、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます。この場合は、プリンタドライバの［カラー調整］ダイアログで［ドライバによる色補正］を選択して、［色補正方法］を［色補正なし］に設定してください。

プリンタソフトウェアの削除方法

何らかの理由でプリンタドライバを再インストールする場合や、プリンタドライバをバージョンアップする場合は、すでにインストールしているプリンタドライバを削除(アンインストール)する必要があります。

1. 起動しているアプリケーションソフトを終了して、Macintosh を再起動します。

2. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM を Macintosh にセットします。

3. ［プリンタドライバのインストール］フォルダをダブルクリックして開きます。

4. ［LP-2000C インストーラ］アイコンをダブルクリックします。

5. ［続ける］ボタンをクリックします。

6. インストーラの画面左上にあるメニューから［アンインストール］を選択して［アンインストール］ボタンをクリックします。

以下の画面が表示された場合起動しているアプリケーションソフトが強制的に終了されても問題ないか確認して［続ける］ボタンをクリックします。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

8 ［終了］ボタンをクリックします。

これでプリンタドライバの削除は終了です。

添付されているフォントについて

本製品の CD-ROM に収録されているバーコードフォント（Windows のみ）の使い方と、TrueType フォントのインストール方法について説明しています。

EPSON バーコードフォントの使い方（Windows）

バーコードフォントについて

EPSON バーコードフォントは、各種のバーコードを簡単に作成、印刷するためのものです。

通常の場合、バーコードを作成するにはデータキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかにさまざまなコードやキャラクタを指定したり、OCR-B（バーコード下部の文字）を指定する必要がありますが、EPSON バーコードフォントの場合はこれらのコードやキャラクタを自動的に設定し、各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルを作成、印刷します。このため EPSON バーコードフォントでは、データキャラクタとして必要な文字のみを入力することでバーコードシンボルの作成を簡単に行うことができます。

EPSON バーコードフォントは、次の種類のバーコードをサポートしています。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	チェックデジット	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN（短縮バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN（短縮バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN（標準バージョン）のバーコードを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN（標準バージョン）の、バーの高さを短くしたバーコードを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-A のバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-E のバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128 のバーコードを作成します。
Interleaved 2of5	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	
NW-7（CODABAR）	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

注意事項

プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷する際は、プリンタドライバ上で次のように設定してください。

色	黒
解像度	高品質（600dpi）
トナーセーブ機能	OFF
拡大 / 縮小印刷	OFF

文字の装飾 / 配置について

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーラインなど）、網掛けは行わないでください。
- 色刷色、背景色について、黒と白のみ指定してください。
- 文字の回転を行う場合、回転角度は 90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- 文字間隔の変更を行わないでください。
- アプリケーションソフトが文字間隔の自動調整機能や、スペース（空白）部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみの拡大 / 縮小機能の禁止
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能禁止（例＜＝＞ ⇨ ⇔）

入力時の注意について

- バーコードに変換する文字は、半角文字で入力してください。
- Code39、Code128において、1つの行に2つ以上のバーコードを印刷する場合、バーコードとバーコードの間は TAB で区切ってください。スペース（空白）で区切る場合はバーコードフォント以外の書体を選択してスペースを入力してください。
  バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があり、バーコードとして使用できません。
- アプリケーションソフトで改行を示すマークの表示/非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお勧めします。
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。
  バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- Code39、Code128、Interleaved 2of5、NW-7 は、バーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるようにサイズを自動調整します。
  このため印刷されるバーコードの高さが入力時よりも下方向に大きくなる場合があるため、バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。

- Code128 において、アプリケーションソフトが行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数のスペースをタブに置き換えるなどの処理を自動的に行うと、スペースを含む Code128 のバーコードは正しく出力されないことがあります。
- バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードについて」の表中に記載されている保証サイズで作成していただくことをお勧めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。
  本書「各バーコードについて」177 ページ

印刷されたバーコードは、トナーの濃度や紙質によってすべての読み取り機では読み取れない場合があります。ご利用の際は、読み取り機でのご確認をお勧めします。

システム条件

EPSON バーコードフォントをご利用いただくには、プリンタドライバをご利用いただくためのシステム条件のほかに以下の条件が必要です。
スタートアップガイド「システム条件の確認」29 ページ

ハードディスク	15 ～ 30KB の空き容量 （書体ごとに異なります）

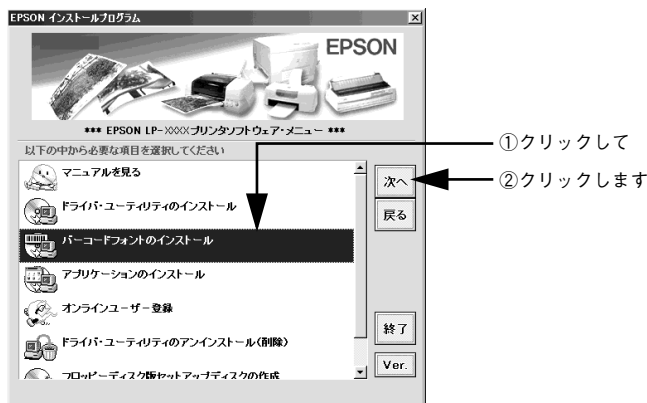
バーコードフォントは、プリンタドライバでモノクロ印刷に設定して印刷してください。カラー印刷に設定している場合、バーコードを黒で印刷しても正しく読み取られない場合があります。

EPSON バーコードフォントのインストール

1. コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。

2. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

3. お使いの機種名をクリックしてから［次へ］ボタンをクリックします。

4. ［バーコードフォントのインストール］を選択して［次へ］ボタンをクリックします。

ポイント

上記の画面が自動的に表示されない場合は、［マイコンピュータ］をダブルクリックして、CD-ROM アイコンをダブルクリックします。

5. インストールするバーコードフォントをクリックしてチェックし、［セットアップ実行］ボタンをクリックします。

これで、EPSON バーコードフォントが、Windows のフォントフォルダにインストールされました。

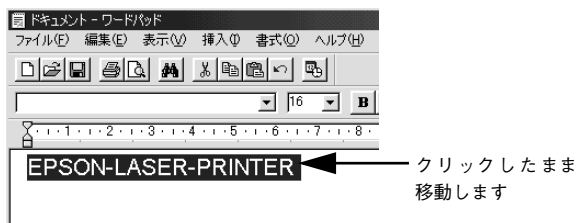
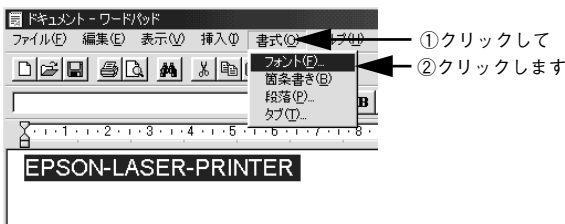
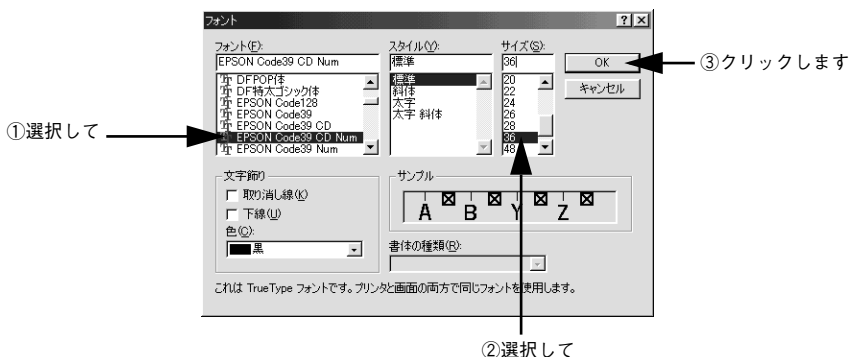
バーコードの作成

ここでは Windows に添付の「ワードパッド」を例に、EPSON バーコードフォントを使用して、バーコードの印刷の手順を説明します。

1 「ワードパッド」を起動し、バーコード変換する文字を入力します。

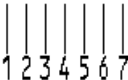
文字はすべて半角（1Byte）で入力してください。

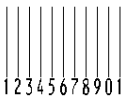
2 入力した文字をマウスでドラッグして選択します。

選択した範囲が反転表示になります。

3 「書式」メニューをクリックし、「フォント」をクリックします。

4 ［フォント］の一覧から印刷したいEPSONバーコードフォントを選択し、［サイズ］でフォントのサイズを設定し、［OK］ボタンをクリックします。

Windows NT4.0/2000では96pt以上のフォントは使用できません。

5 入力した文字がバーコードフォントに置き換わり、画面上で次のように表示されます。

6 印刷を実行します。

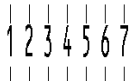
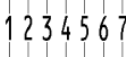
プリンタドライバの設定を［色］が［黒］、［印刷品質］が［高品質］、［トナーセーブ機能］、［拡大／縮小］を使用しない設定にしてください。
入力したデータがバーコードとして印刷されます。

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断した場合は、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

各バーコードについて

各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細 / 構成などについては、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-8（JAN 短縮バージョン）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-8 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の短縮バージョン（8 桁）です。
• EPSON バーコードフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 7 桁です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">7 桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">52 ～ 130pt（Windows NT/2000 は 96pt まで）
保証サイズは 52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン
• センターバー
• OCR-B
• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-8 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td>1234 5670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-8 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-8 ShortはJAN-8のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-8と同じ仕様です。
• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">7 桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">36 ～ 90pt
保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト / ライトマージン
• センターバー
• OCR-B
• レフト / ライトガードバー
• チェックキャラクタ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-8 Short に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td>1234 5670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13（標準バージョン）</th></tr>
<tr><td colspan="4">● JAN-13 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の標準バージョン（13 桁）です。
● EPSON バーコードフォントでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 12 桁です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">12 桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">60 ～ 150pt（Windows NT/2000 は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
● レフト / ライトマージン
● センターバー
● OCR-B
● レフト / ライトガードバー
● チェックキャラクタ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）</th></tr>
<tr><td colspan="4">● JAN-13 ShortはJAN-13のバーコードの高さを標準ポイントで11mmにしたもので、それ以外はJAN-13と同じ仕様です。
● バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
● 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">12 桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">36 ～ 90pt
保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
● レフト / ライトマージン
● センターバー
● OCR-B
● レフト / ライトガードバー
● チェックキャラクタ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13 Short に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-A</th></tr>
<tr><td colspan="4">● UPC-A は、アメリカのUniversal Product Code で制定されたUPC-A の Regular タイプです。
（UPC Symbol Specification Manual）
● Regular UPC コードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">11 桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">60 ～ 150pt（Windows NT/2000は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
● レフト / ライトマージン
● センターバー
● OCR-B
● レフト / ライトガードバー
● チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-A に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>12345678901</td><td>12345678901</td><td>1 23456 78901 2</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">UPC-E</th></tr>
<tr><td colspan="4">UPC-E は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Zero Suppression（余分な 0 を削除）タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">6 桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">60 ～ 150pt（Windows NT/2000は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
● レフト / ライトマージン
● チェックデジット
● ナンバーシステム「0」のみ
● レフト / ライトガードバー
● OCR-B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON UPC-E に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456</td><td>123456</td><td>0 123456 5</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code39</th></tr>
<tr><td colspan="4">

- Code39 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
- EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Code39 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
- Code39 ではスペースを“_”（アンダーライン）に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したい場合は、“_”（アンダーライン）を入力してください。
- Code39 で 1 行に 2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。

</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">英数字（A ～ Z、0 ～ 9）
記号（－　.　スペース　＄　／　＋　%）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-B なしの場合 ：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
（Windows NT/2000 は 96pt まで）
OCR-B ありの場合 ：26pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt
（Windows NT/2000 は 96pt まで）</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
● 左 / 右クワイエットゾーン
● スタート / ストップキャラクタ
● チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code39 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON Code39 CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>1 2 3 4 5 6 7 S</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Code128</th></tr>
<tr><td colspan="4">

- Code128 は「JIS X 0504」として規格化されたものです。
- EPSON バーコードフォントはコードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。
- 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSONバーコードフォントはCode128の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
- アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。
- Code128 で1行に2つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間はTAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。

</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">すべての ASCII 文字（95 文字）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">26 ～ 104pt（Windows NT/2000 は 96pt まで）
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• 左 / 右クワイエットゾーン　• スタート / ストップキャラクタ
• チェックデジット　• コードセットの変更キャラクタ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code128 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Interleaved 2of5</th></tr>
<tr><td colspan="4">
・Interleaved 2of5 は、アメリカで規格化されたものです。（USS Interleaved 2-of-5）
・EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で4種類のフォントを用意しています。
・入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Interleaved 2of5 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
・Interleaved 2of5 は、キャラクタを2 個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-B の有無により異なります。（Windows NT/2000 は 96pt まで）
OCR-B なし：26pt 以上保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B あり：36pt 以上保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
・左 / 右クワイエットゾーン
・チェックデジット
・スタート / ストップキャラクタ
・文字列先頭への 0 の挿入
（合計文字数が偶数でない場合のみ）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON ITF に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON ITF CD Num に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>12345670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">NW-7(CODABAR)</th></tr>
<tr><td colspan="4">
・NW-7 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
・EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
・入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは NW-7 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
・スタート / ストップキャラクタのどちらかを入力すると、EPSONバーコードフォントは残りのスタート / ストップキャラクタが同じになるように自動的に挿入されます。
・スタート / ストップキャラクタを入力しない場合は、両方とも自動的に A を挿入します。
</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）、記号（－　＄　：　／　．　＋）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-B の有無により異なります。（Windows NT/2000 は 96pt まで）
OCR-B なし：26pt 以上保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
CR-B あり：36pt 以上保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
・左 / 右クワイエットゾーン
・チェックデジット
・スタート / ストップキャラクタ（入力しない場合）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON NW-7 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON W-7CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>A 1 2 3 4 5 6 7 4 A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">新郵便番号（カスタマ・バーコード）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• バーコードの詳細については、郵政省より発行の資料を参照してください。
• EPSON バーコードフォントで入力する場合、次のように新郵便番号（3 桁）ー新郵便番号（4 桁）ー住所表示番号（バーコードに変換後 13 桁まで）入力します。
• 住所表示番号は入力時は桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後 13 桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たない場合は、13 桁になるように末尾にコードを挿入します。
• アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 〜 9）、英文字（A 〜 Z）、記号（ー）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし。ただし住所表示番号については、バーコードに変換後 13 桁を超える桁数の文字は省略されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">8 〜 11.5pt
保証サイズは 8pt、9pt、10pt、11.5pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入 / 設定が行われるため、入力は不要です。
• バーコードの上下左右 2mm の空白
• スタート / ストップコード
• チェックデジット
• 入力時のー（ハイフォン）の削除
• 住所表示番号の 13 桁調整</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON J-Postal Code に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123-4567</td><td></td><td></td></tr>
</table>

TrueType フォントのインストール方法

ここでは、本製品に添付の TrueType フォントのインストール方法を説明します。
本製品に添付の EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM には EPSON TrueType フォントが収録されています。TrueType フォントをインストールすることにより、アプリケーションソフトの書体に追加され、ポップやビジネス文書に表現力豊かな書類を作成することができます。

CD-ROM に収録されている OCR-B フォントセットには、OCR-B 規格で規定されている文字以外のものも含まれています。OCR-B フォントとして読み取り用に使用される際は、トナー状況や用紙の種類によって読み取れない場合がありますので、事前に読み取り機で読み取れることを確認してからお使いください。

Windows でのインストール

1. コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。

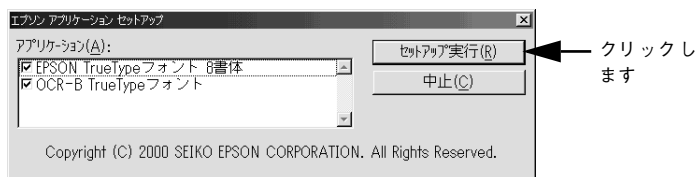
2. EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。

3. 機種選択の画面が表示されたら、お使いのプリンタの機種名をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

4. 以下の画面が表示されたら、［アプリケーションのインストール］をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。

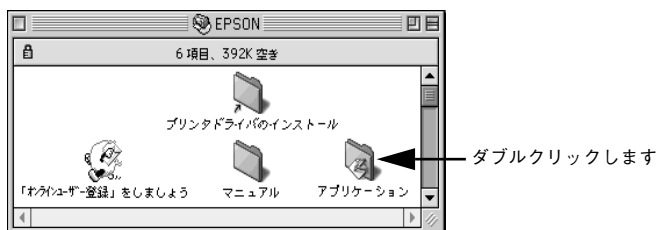
以下の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］－［CD-ROM］－［setup.exe］をダブルクリックしてください。

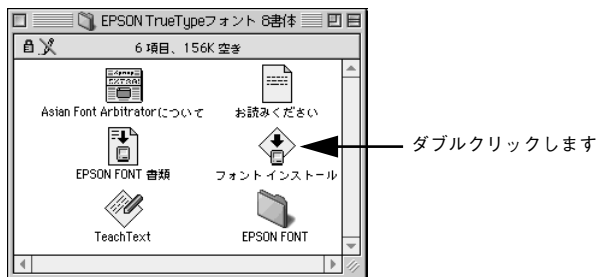
5. **インストールするフォントをチェックして［セットアップ実行］ボタンをクリックします。**

   使用しないフォントは、クリックしてチェックマークを外してください。インストールされません。

   この後は、画面の指示に従ってインストールを進めてください。

Macintosh でのインストール

1. **Macintoshを起動した後、EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをセットします。**

2. **［アプリケーション］フォルダをダブルクリックして開きます。**

3. **インストールするアプリケーションのフォルダをダブルクリックします。**

4 ［フォントインストール］アイコンをダブルクリックします。

5 フォントをインストールします。

インストールする書体を選択して、［インストール］ボタンをクリックします。

オプションと消耗品について

ここでは、オプションと消耗品について説明しています。

オプションと消耗品の紹介

パラレルインターフェイスケーブル

使用するパラレルインターフェイスケーブルは、コンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるパラレルインターフェイスケーブルは、次の通りです。

2001 年 6 月現在

メーカー	機種	接続ケーブル型番
EPSON	DOS/V 仕様機	PRCB4N
IBM、富士通、東芝、他各社		
NEC	PC-98NX シリーズ	
	PC9821 シリーズ *	PRCB5N

* 双方向通信機能を搭載した機種のみ。ただし、Windows NT4.0/2000 ではお使いいただけません。

- 双方向通信機能のない NEC PC-98 およびその互換機とは接続できません。
- 推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、LAN- パラレル変換機、ソフトウェアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできないため使用しないでください。

USB インターフェイスケーブル

USB インターフェイスコネクタ装備のコンピュータと本機を接続する場合は、以下のオプションのケーブルを使用してください。

●EPSON USB ケーブル（型番：USBCB1）

インターフェイスカード

プリンタに標準装備されていないネットワークインターフェイスを使用したい場合に使用します。

設定などについてはカードの取扱説明書を参照してください。

本書「インターフェイスカードの取り付け」198 ページ

型番	名称	解説
PRIFNW3S	100Base-TX/ 10Base-T マルチプロトコル Ethernet I/F カード	本機を Ethernet で接続するための増設オプションです。本機の接続可能プロトコルである TCP/IP 、AppleTalk の他、IPX/SPX、NetBEU I、IPP にも対応しています。 接続には次のいずれかのケーブルが必要です。 • Ethernet 100Base-TX ツイストペアケーブル（カテゴリー 5） • Ethernet 10Base-T ツイストペアケーブル

増設カセットユニット

用紙カセットが 1 基装備されたユニットです。プリンタ下部に装着することにより、標準で装着されているものも含めて 2 段にすることができます。

本書「増設カセットユニットの取り付け」200 ページ

型番	商品名	備考
LP30CWC1	増設カセットユニット 用紙カセット（容量 500 枚）× 1 段	使用できる用紙サイズ：A4、LT 用紙カセット容量：最大 500 枚

両面印刷ユニット

用紙の両面に印刷するための装置です。

本書「両面印刷ユニットの取り付け」202 ページ
本書「両面印刷ユニット（オプション）について」26 ページ

型番	商品名	備考
LPCDSP2	両面印刷ユニット	使用できる用紙サイズ：A4、LT 紙種：普通紙 /EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙 用紙厚：60 ～ 90g/m^2

増設メモリ

本機は、メルコ社製の以下のメモリを使用することにより、最大 256MB まで内部メモリを増設することができます。メモリを増設することにより、複雑な印刷データも高解像度で印刷できるようになります。

メーカー	メルコ
容量（型番）	64MB（EP01-64M）、128MB（EP01-128M）

標準搭載のメモリの他に 1 枚増設することができます。また、標準搭載のメモリ（16MB）を容量の大きなメモリに交換することで、最大 256MB まで増設できます。

専用キャビネット

消耗品や用紙の保管に最適な専用キャビネット（キャスタ付き）です。

型番	商品名	備考
LPCBN1	専用キャビネットキャスタ付き	サイズ：580mm（W）× 650mm（D）× 520mm（H）

ET カートリッジ

印刷用のトナーです。

本書「ET カートリッジの交換」207 ページ

型番	色	備考
LPCA4ETC1C	シアン（C）	寿命： 各色 6000 ページ（A4、画占率 5%） 画占率 5% 未満で印刷した場合最大 8000 ページで寿命になります。
LPCA4ETC1M	マゼンタ（M）	
LPCA4ETC1Y	イエロー（Y）	
LPCA4ETC1K	ブラック（K）	

感光体ユニットキット

印刷に必要な、感光体ユニット、プリントヘッドフィルタ、廃トナーボックスがセットになったキットです。

本書「感光体ユニットキットの交換」211 ページ

型番	セット品	備考
LPCA4KUK1	感光体ユニット	寿命*： モノクロ印刷 （連続印刷）30000 ページ （一定の間隔をおいた印刷）10000 ページ カラー印刷 （連続印刷）7500 ページ （一定の間隔をおいた印刷）5000 ページ
	プリントヘッドフィルタ	
	廃トナーボックス	

* ウォーミングアップを繰り返すと寿命は短くなります。また封筒、厚紙、ラベル、ハガキ、OHP など特殊紙への印刷を繰り返した場合も寿命は短くなります。

定着オイルロール

定着ユニットにオイルを供給するための装置です。

本書「定着オイルロールの交換」216 ページ

型番	備考
LPCA4TOR1	寿命*： モノクロ印刷 （連続印刷）21000 ページ （一定の間隔をおいた印刷） 10000 ページ カラー印刷 （連続印刷）7500 ページ （一定の間隔をおいた印刷）5000 ページ

* ウォーミングアップを繰り返すと寿命は短くなります。また封筒、厚紙、ラベル、ハガキ、OHP など特殊紙への印刷を繰り返した場合も寿命は短くなります。

廃トナーボックス

余分なトナーを回収するための装置です。感光体ユニットよりも早く寿命がきた場合に、単品でお買い求めいただいて交換することができます。

本書「廃トナーボックスの交換」219 ページ

型番	備考
LPCA4HTB1	寿命： モノクロ印刷 （連続印刷）30000 ページ カラー印刷 （連続印刷）7500 ページ

定期交換部品について

定期的に交換が必要な部品です。各部品の交換時期が近づくと EPSON プリンタウィンドウ !3 が交換を促すメッセージを表示します。

転写ベルトユニット

転写ベルトユニットは、用紙に転写する画像データをトナーで形成する装置です。EPSON プリンタウィンドウ !3 上で転写ベルトユニットの交換を促すメッセージが表示されましたら、本機をお買い上げいただいた販売店で転写ベルトユニットをお買い求めください。交換方法につきましては、お買い求めいただいた転写ベルトユニットに同梱されている取扱説明書をご覧ください。

型番	商品名	備考
LPCA4TBU1	転写ベルトユニット	寿命*: モノクロ印刷 （連続印刷） 130000 ページ （一定の間隔をおいた印刷） 44000 ページ カラー印刷 （連続印刷） 30000 ページ （一定の間隔をおいた印刷） 22000 ページ

* ウォーミングアップを繰り返すと寿命は短くなります。また封筒、厚紙、ラベル、ハガキ、OHP など特殊紙への印刷を繰り返した場合も寿命は短くなります。

転写ベルトユニットの交換については、サービスエンジニアによる有償交換サービスも受け付けています。派遣費用・交換作業費用など詳細につきましては、本機をお買い求めいただいた販売店またはサービスセンターまでお問い合わせください。サービスセンターのお問い合わせ先は、スタートアップガイドの裏表紙をご覧ください。

定着ユニットキット

定着ユニットキットは、用紙にトナーを定着させるための定着ユニットと用紙にトナーを転写するための二次転写ロールがセットになった商品です。EPSON プリンタウィンドウ !3 上で定着ユニットの交換を促すメッセージが表示されましたら、保守契約実施店（保守契約されている場合）または本機をお買い上げいただいた販売店にご連絡いただき、定着ユニットキットの交換をご依頼ください。

定着ユニットキットの交換は、弊社の指定を受けたサービス実施店のサービスエンジニアまたは弊社のサービスエンジニアが実施いたします。お客様による交換や取り外しはしないでください。

通信販売のご案内

EPSON 製品の消耗品・オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソン OA サプライ株式会社の通信販売をご利用ください。

ご注文方法

インターネットで	ホームページ：　http://www.epson-supply.co.jp
お電話で	電話番号：　0120-251-528（フリーダイヤル） 受付時間：　AM9:30 ～ PM6:15（土・日・祝祭日を除く）
FAX で	「FAX 情報サービス」をご利用ください。 ファクシミリ付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）から電話をおかけになり、音声案内に従って操作してください。必要な情報が 24 時間いつでも取り出せます。 電話番号：　03-4306-1182 「FAX 情報サービスメニュー」の BOX 番号は 001 です。

* 電話番号のかけ間違いにご注意ください。

お届け方法

当日配送	当日 PM4:30 までのご注文受付分は、即日配送手配いたします（在庫分のみ）。
お届け予定日	本州・四国…翌日　北海道・九州…翌々日

お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に、商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払ください。
クレジット	お取扱いカード：　UC、JCB、VISA、Master、NICOS 支払い回数：　1 回払い
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります。事前にご審査、ご登録が必要になります。下記にご連絡ください。 電話番号：　0120-251-528（フリーダイヤル）

送料

お買い上げ金額の合計が 5,000 円以上（消費税別）の場合は、全国どこへでも送料は無料です。5,000 円未満（消費税別）の場合は、全国一律 500 円（消費税別）です。

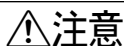
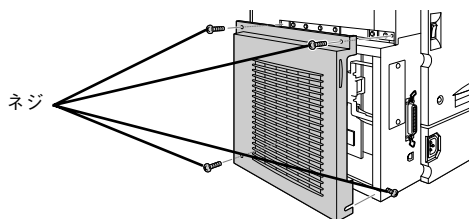
消耗品カタログの送付

プリンタ消耗品・関連商品のカタログをお送りいたします。カタログの発送につきましては、会員登録が必要になります。入会金、年会費は不要です。詳細については、上記のインターネット、電話、FAX にてご確認ください。

メモリの取り付け

本機に装着できる増設メモリの仕様は、以下の通りです。
メーカー：メルコ
容量（型番）：64MB (EP01-64M), 128 (EP01-128M)
取り付け作業にはプラスドライバが必要です。

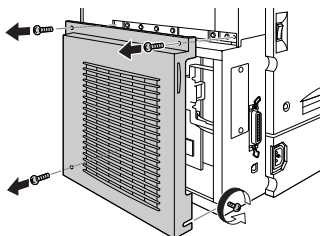
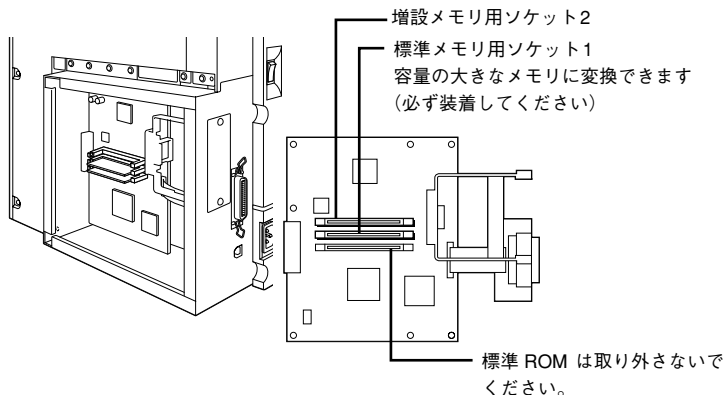
取り付け手順

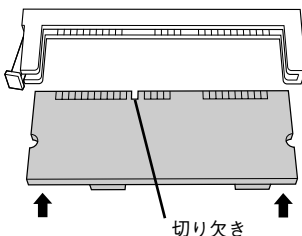
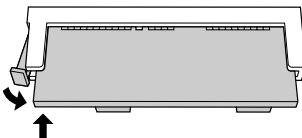
⚠警告 指示されている以外の分解は行わないでください。内部には高電圧の部分があり感電のおそれがあります。本作業を行うために取り外すネジは、以下の4つです。それ以外のネジは取り外さないでください。

⚠注意 オプションの装着は、電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。
感電の原因となるおそれがあります。

作業の前に、接地されている金属に手を触れるなどして身体に帯電している静電気を放電してください。身体に静電気が帯電している状態でメモリにさわると、静電気放電によって部品を損傷するおそれがあります。

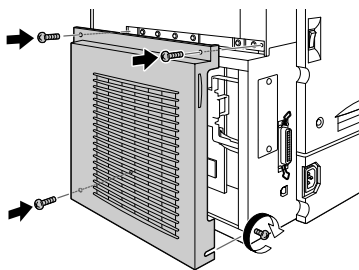
1. **プリンタの電源をオフにします。**

2. **電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。**

3. **プリンタ後ろ側のカバーを取り外します。**
   カバーのネジ（4本）を外して、カバーを取り外します。

4 増設メモリ用ソケット、コネクタの位置を確認します。

- 装着する際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 取り付ける方向を逆にしないように注意してください。
- 標準メモリ用ソケット１に装着されているメモリも大容量のものに交換することができます。ただし、ソケット１には必ずメモリを装着しておいてください。プリンタが動作しなくなります。

5 増設メモリ底部の切り欠きが、ソケット内側の凸部分に合うように、取り付け位置を決めます。

6 増設メモリをソケットに差し込み、クリップが起きあがるまで押し込みます。

左側のクリップがしっかり閉じていることを確認してください。増設メモリが正しく差し込まれると、ソケット左のツメが増設メモリの左の切り欠きにかみ合い、固定されます。

7 **プリンタ後ろ側のカバーを取り付けます。**

カバーのネジ（4本）を締めて、カバーを取り付けます。

以上でメモリの取り付けは終了です。

8 **電源ケーブルとインターフェイスケーブルを接続します。**

9 **ステータスシートを印刷して、増設したメモリが認識されているか確認します。**

正しく装着されるとステータスシートの「実装メモリ容量」に「標準のメモリ（16MB）+増設したメモリ容量」が表示されます。

スタートアップガイド「ステータスシートの印刷」Windows 34ページ
Macintosh 42ページ

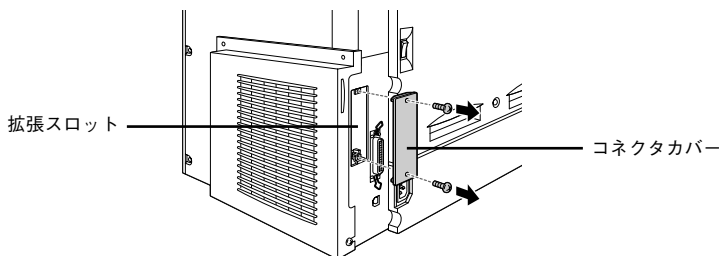
インターフェイスカードの取り付け

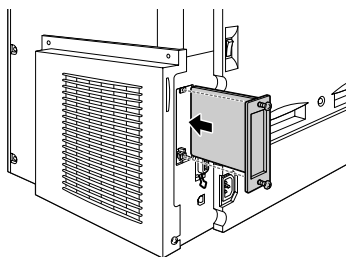
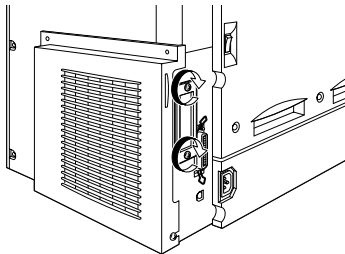
取り付け作業にはプラスドライバが必要です。

⚠注意　オプションの装着は、電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。

インターフェイスカードの取り付けの前に、接地されている金属に手を触れるなどして身体に帯電している静電気を放電してください。
身体に静電気が帯電している状態で作業を行うと、静電気放電によって部品を損傷するおそれがあります。

1 プリンタの電源をオフにして、ケーブル類（電源ケーブル、インターフェイスケーブル）を取り外します。

2 コネクタカバーを取り外します。
コネクタカバーのネジ（2 本）を外して取り外します。

取り外したコネクタカバーは、インターフェイスカードを取り外した際に必要になりますので保管しておいてください。

3 インターフェイスカードをまっすぐに差し込みます。
カードの上面を外側に向け、スロット内部の溝に合わせて差し込みます。

4 **インターフェイスカードを、ネジ（2 本）で固定します。**

以上でインターフェイスカードの取り付けは終了です。

5 **ステータスシートを印刷して、インターフェイスカードが認識されているか確認します。**

正しく装着されるとステータスシートの「インターフェイス」に「I/F カード」と印刷されます。

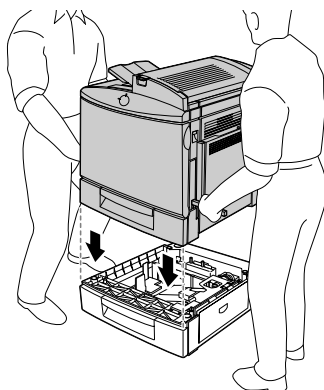
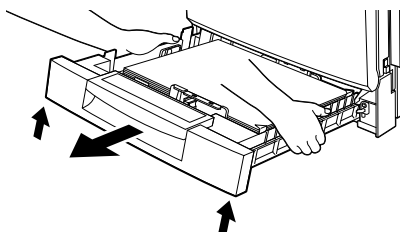
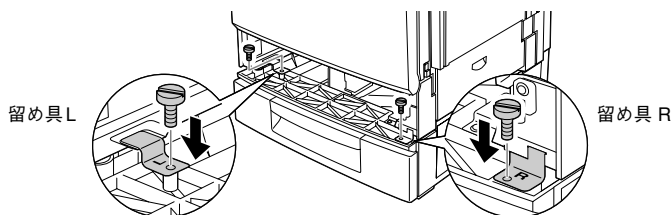
スタートアップガイド「ステータスシートの印刷」Windows 34 ページ
Macintosh 42 ページ

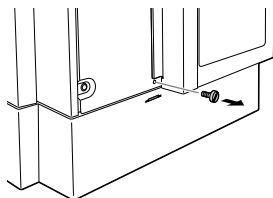
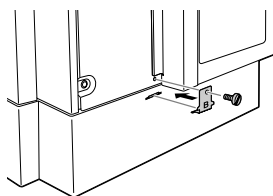
増設カセットユニットの取り付け

取り付け作業にはコインが必要です。

> ⚠注意
> - オプションの装着は、電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。感電の原因となるおそれがあります。
> - プリンタを持ち上げる際は､必ず2人以上で所定の位置を持ってください｡詳しくは、以下のページを参照してください。
>   ☞スタートアップガイド「設置作業時のご注意」11ページ

1. **プリンタ本体の電源をオフにして、ケーブル類（電源ケーブル、インターフェイスケーブル）を取り外します。**
   プリンタ右側の用紙トレイは折り畳んでください。

2. **プリンタを持ち上げて水平に保ち、増設カセットユニット上面の突起（2本）が、プリンタ底面の穴に入るように静かに降ろします。**

3. **プリンタに標準装備している用紙カセットを引き出し、カセットの先端を持ち上げるようにして取り外します。**

4 **付属の留め具L、R（LとRの刻印がある金属プレート）を右図のように左側（L）と右側（R）に取り付け、付属のネジで固定します。**
付属のネジはコインを使用して回します。

5 **固定したら、3で取り外した標準用紙カセットを取り付けます。**
装着口の左右のガイドから少し浮かせて差し込んで取り付けます。

6 **プリンタ背面のネジを取り外します。**

7 **付属の留め具B（Bの刻印がある金属プレート）を右図のように取り付け、先程取り外したネジで固定します。**

以上で、プリンタへの取り付けは完了です。

8 **ステータスシートを印刷して、増設カセットユニットが認識されているか確認します。**
正しく装着されるとステータスシートの給紙装置に「カセット2」と印刷されます。
☞ スタートアップガイド「ステータスシートの印刷」Windows 34ページ
Macintosh 42ページ

ポイント

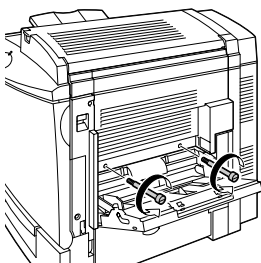
本機の用紙カセットへの用紙のセット方法は、プリンタに標準装備の用紙カセットと同じです。詳細については、以下のページを参照してください。
☞本書「用紙カセットへの用紙のセット」17ページ

両面印刷ユニットの取り付け

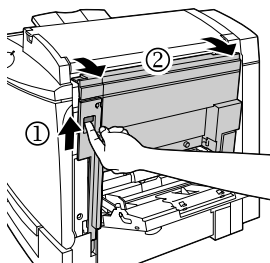
ネジの取り外し、取り付けにはコインが必要です。

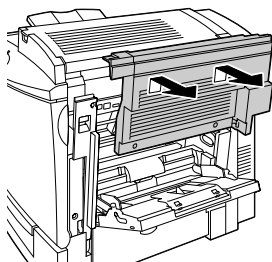
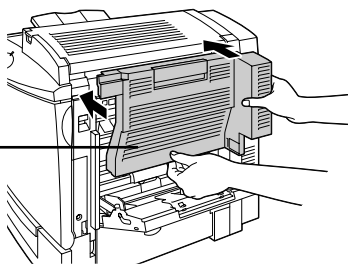
⚠注意	オプションの装着は、電源ケーブルを抜いた状態で行ってください。 感電の原因となるおそれがあります。

1. プリンタ本体の電源をオフにして、ケーブル類（電源ケーブル、インターフェイスケーブル）を取り外します。

2. 用紙トレイを開き、右図のようにネジ（2 本）を取り外します。

ポイント

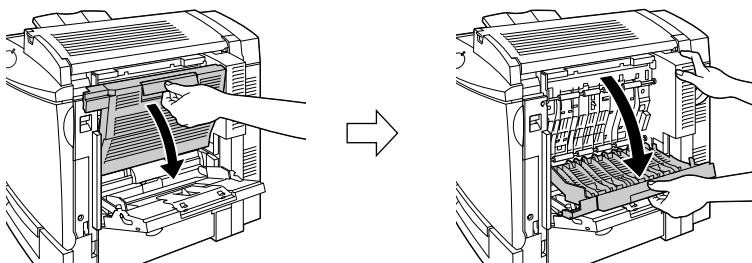
取り外したネジは、両面印刷ユニットを取り外した際に必要になりますので、大切に保管してください。

3. カバー B ロック解除ボタンを押してから、プリンタ本体のカバー B を少し開きます。

4 **両面印刷ユニット取り付け位置のカバーを取り外して、カバー B を閉じます。**

両面印刷ユニット取り付け位置のカバーは、持ち上げるようにして取り外します。

5 **両面印刷ユニットを両手でささえて取り付け位置に合わせてから、プリンタに押し付けて取り付けます。**

両面印刷ユニットを取り付ける際は、以下の点に注意してください。

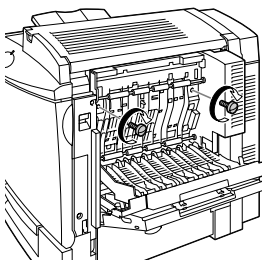
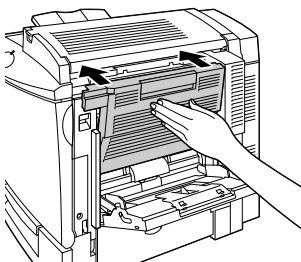
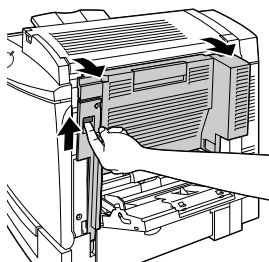
- 両面印刷ユニットとプリンタのコネクタが合うように取り付け位置を合わせてから押し込んでください。無理に押し込まないでください。
- 両面印刷ユニットの右側にある緑色の取り付け具をプリンタとの隙間に挟まないように注意してください。挟んだまま両面印刷ユニットを押し付けると、取り付け具が破損することがあります。
- 両面印刷ユニットが確実にプリンタの所定位置にはまっていることを確認してください。以降の手順で両面印刷ユニットを固定するまで、落下しないように手で支えてください。

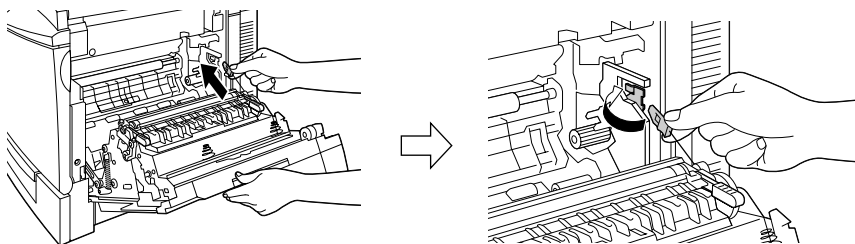
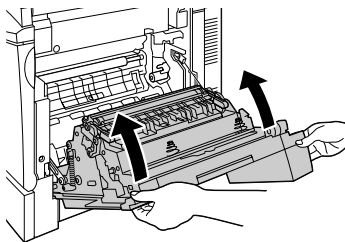
6 **両面印刷ユニットを片手で支えたまま、両面印刷ユニットのカバーを開けます。**

- 両面印刷ユニットの上端にある取っ手を上げると、カバーのロックが解除します。
- 両面印刷ユニットを片方の手で支えたまま、カバーをゆっくりと開けます。

ポイント

用紙トレイが開いていないと、両面印刷ユニットのカバーは開けることができません。

7 **付属のネジ（2 本）で両面印刷ユニットをプリンタに固定します。**

付属のネジはコインを使用して回します。

8 **両面印刷ユニットのカバーを閉じます。**

9 **カバー B ロック解除ボタンを押してから、プリンタ本体のカバー B を片手で支えながらゆっくりと開けます。**

10 **両面印刷ユニットの緑色の取り付け具をプリンタに取り付けます。**

取り付け具を持ってワイヤーを引き出し、プリンタ内部のフックに引っかけます。

11 **プリンタ本体のカバー B を、両面印刷ユニットごと閉じます。**

以上で両面印刷ユニットの取り付けは完了です。

12 **ステータスシートを印刷して、両面印刷ユニットが認識されているか確認します。**

正しく装着されるとステータスシートの「オプション」に「両面印刷ユニット」と印刷されます。

☞ スタートアップガイド「ステータスシートの印刷」Windows 34 ページ
Macintosh 42 ページ

両面印刷ユニットの使用方法については、以下のページを参照してください。

☞ 本書「両面印刷ユニット（オプション）について」26 ページ

プリンタのメンテナンス

ここでは、メンテナンス方法や輸送 / 移動時の注意事項などについて説明しています。

ET カートリッジの交換

ここでは、ET カートリッジの交換方法を説明しています。

ET カートリッジについて

本機で使用可能な ET カートリッジは次の通りです。
ET カートリッジは、トナーの色によって 4 種類あります。

ET カートリッジ	シアン＜ C ＞	型番 LPCA4ETC1C
	マゼンタ＜ M ＞	型番 LPCA4ETC1M
	イエロー＜ Y ＞	型番 LPCA4ETC1Y
	ブラック＜ Bk ＞	型番 LPCA4ETC1K

取り扱い上の注意

⚠警告　使用済みの ET カートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

- ETカートリッジ装着部の色を確認して、同じ色のETカートリッジを装着してください。
- ET カートリッジのトナーが付いているローラ表面には手を触れないでください。印刷品質が低下します。
- 一度プリンタに取り付けた ET カートリッジは再利用しないでください。
- 寒いところから暖かいところに移動した場合は、ET カートリッジを室温に慣らすため 1 時間以上待ってから使用してください。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。

保管上の注意

- ET カートリッジは、必ず専用の梱包箱に入れ、水平に置いた状態で保管してください。
- 以下の環境で保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35 ℃
  湿度範囲：30 ～ 85%
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

使用済みの消耗品のお取り扱いについて

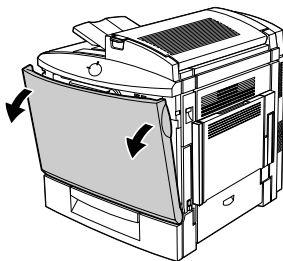
資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。
使用済み ET カートリッジの回収方法については、新しい ET カートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。
やむを得ず、使用済み ET カートリッジを処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

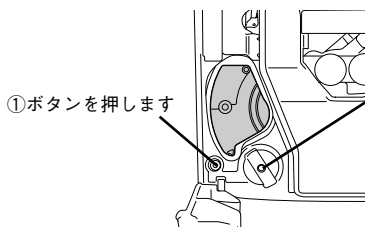
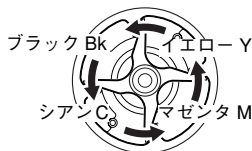
ET カートリッジの交換手順

1. **EPSONプリンタウィンドウ!3のメッセージを参照して、交換するETカートリッジの色を確認します。**

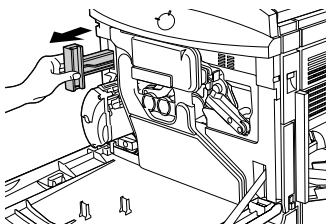
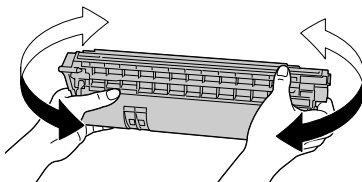
   交換が必要な ET カートリッジを知らせるメッセージが表示されます。

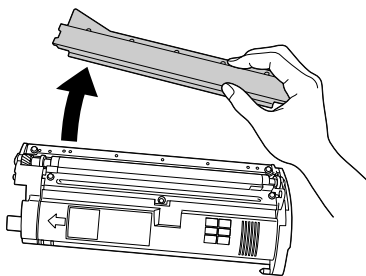
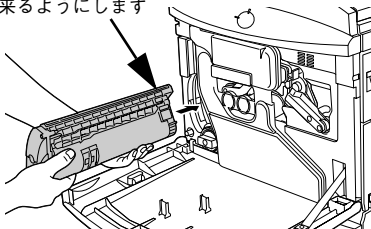
ET カートリッジの交換は、電源をオフにしなくても行えます。

2. **プリンタ本体の前カバーを開けます。**

3. **ETカートリッジの装着口の ETカートリッジの色を確認します。**

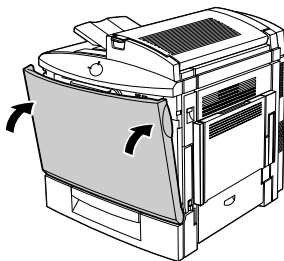
- 交換する色のET カートリッジが装着口の位置にある場合は 4 に進みます。
- 交換する色のET カートリッジが装着口の位置にない場合は、下図の①、②を繰り返して、交換する色のET カートリッジが装着口に来るようにします。

- ボタンを押さないとノブを回すことはできません。ノブが回らないときは無理に回さずに、ボタンを押してから回してください。
- ET カートリッジの取り付け位置が正しい位置で停止しているか必ず確認してください。正規の位置にない場合には、ET カートリッジを抜き差ししないでください。

4 **左上の取っ手を手前に引き、ET カートリッジを引き出します。**

取っ手を手前に引くと、ET カートリッジが装着口から引き出されます。ET カートリッジをまっすぐ引き出します。

5 **新しい ET カートリッジを梱包から取り出したら、図のように左右に傾けて 7 ～ 8 回振り、中のトナーを均一にします。**

ET カートリッジのトナーが付いているローラ表面には手を触れないでください。印刷品質が低下します。

6 **保護材を取り外します。**

7 **ETカートリッジを差込口の形状に合わせて差し込み、奥に当たるまで押し込みます。**
ET カートリッジ側面の矢印の方向に差し込みます。

ET カートリッジは、しっかり奥まで差し込んでください。装着が不完全な場合は、トナー供給不足やトナー漏れの原因となります。

8 **ほかの色のETカートリッジも交換する場合は、3 ～ 7 の手順を繰り返して交換を行います。**

9 **プリンタの前カバーを閉じます。**
交換が必要な ET カートリッジをすべて交換して、前カバーを閉じると自動的に印刷可能な状態に戻ります。またトナー残量のカウンタがリセットされます。

以上で ET カートリッジの交換は終了です。

感光体ユニットキットの交換

ここでは、感光体ユニットキットの交換方法を説明しています。

感光体ユニットキットについて

本機で使用可能な感光体ユニットキットは次の通りです。

感光体ユニットキット	型番 LPCA4KUK1

感光体ユニットキットをご購入いただくと、次の消耗品が含まれています。同時にすべて交換してください。

- 感光体ユニット（感光体に電荷を与えて印刷する画像を作る装置）
- 廃トナーボックス（印刷時に出る余分なトナーを回収するボックス）
- プリントヘッドフィルタ（こぼれ落ちるトナーからプリントヘッドを守るフィルタ）

取り扱い上の注意

⚠警告

- 感光体ユニットは、絶対に火の中に入れないでください。
- 廃トナーボックスは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

- 感光体（青い円筒部分）の表面は手で触らないでください。また、感光体の表面にものをぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと良好な印刷ができなくなります。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも、感光体ユニットを 5 分以上放置しないでください。感光体ユニットをプリンタの外に置く場合は、布などで覆い、光が当たらないようにしてください。
- 感光体表面に傷が付かないよう、作業は平らな机の上で行ってください。
- 廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。
- プリントヘッドフィルタのガラス面には手を触れないでください。ガラス表面に手の脂が付着すると、印刷品質が低下します。

保管上の注意

- 感光体ユニットは、必ず専用の梱包袋に入れた状態で保管してください。
- 万一、感光体ユニットを使用しないのに梱包袋を開封してしまった場合、感光体ユニットを梱包袋に入れ、開封した箇所をしっかりと閉じて保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で感光体ユニットを保管してください。
  温度範囲：0 〜 35 ℃
  湿度範囲：30 〜 85%
- 感光体ユニットは、高温多湿になる場所には置かないでください。
- 感光体ユニットは、幼児の手の届かないところに保管してください。

使用済みの消耗品のお取り扱いについて

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。回収方法については、新しい感光体ユニットキットに添付されておりますご案内シートを参照してください。

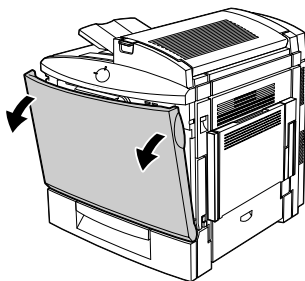
やむを得ず処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

感光体ユニット、廃トナーボックス、プリントヘッドフィルタの交換

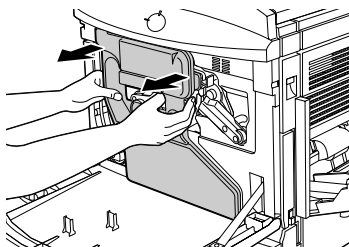
感光体ユニットを交換する際は、廃トナーボックスとプリントヘッドフィルタも同時に交換します。

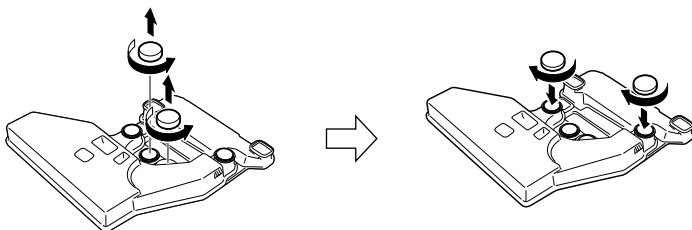
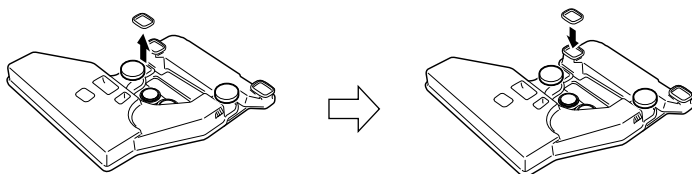
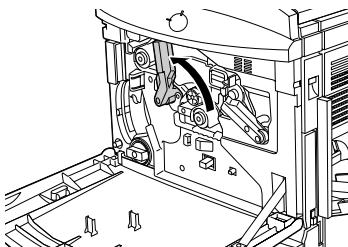
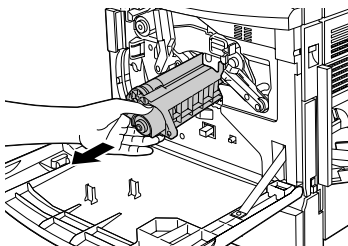
1. **EPSON プリンタウィンドウ !3 のメッセージを確認します。**

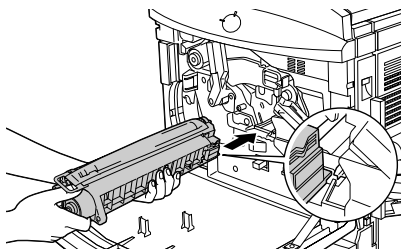
感光体ユニットの交換を促すメッセージが表示されます。

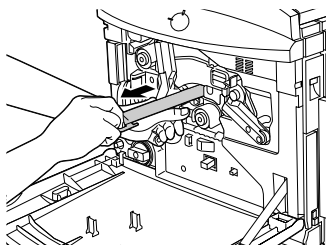
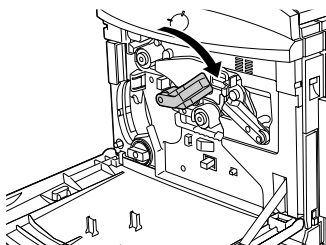
感光体ユニットの交換は、電源をオフにしなくても行えます。

2. **プリンタ本体の前カバーを開けます。**

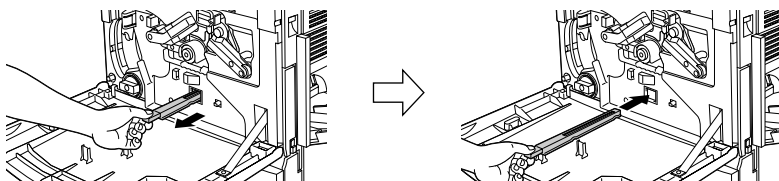
3. **廃トナーボックスを手前に引いて取り外します。**

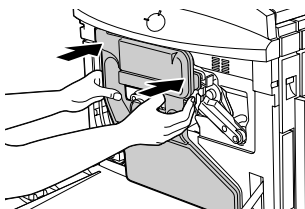
真ん中の取っ手または図の位置を持って、廃トナーがこぼれないようにゆっくりと取り外します。

4 **廃トナーがこぼれないようにふたをします。**

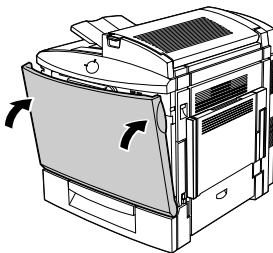
- 取り外した廃トナーボックスは使用しません。
- 廃トナーボックス裏側に付いている丸いふた2個を回して取り外し、それぞれ図の位置に取り付けます。

- 廃トナーボックス裏側に付いている四角いふたを引き抜いて、図の位置にはめ込みます。

5 **正面真ん中の緑のレバーを矢印の方向へ押し上げます。**

6 **感光体ユニットを手前に引き抜きます。**

7 **新しい感光体ユニットを梱包から取り出し、下部のガイドをプリンタのレールに合わせてからまっすぐに押し込みます。**

黒い保護シートは、はがさないまましっかりと奥まで押し込んでください。

- 黒い保護シートを外して、感光体（青い円筒形の部分）の表面に手を触れないでください。また物をぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり傷が付くと、印刷品質が悪くなります。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも 5 分以上放置しないでください。
- 感光体ユニットのガイドをプリンタ内のレールに正しく合わせて、プリンタの奥までしっかり押し込んでください。その際、保護シートをかぶせた部分を他の部品に強く接触させないよう十分注意してください。

8 **感光体ユニットをプリンタ内部に入れた状態のまま、黄色の取っ手を持って黒い保護シートをゆっくり引き抜きます。**

9 **正面真ん中の緑のレバーを矢印の向きに倒します。**

10 **プリントヘッドフィルタを交換します。**

- 先端部分を少し押し下げてから、ゆっくり引き抜きます。
- 新しいプリントヘッドフィルタをプリンタの奥までゆっくり差し込みます。

- プリントヘッドフィルタのガラス面には手を触れないでください。ガラス表面に手の脂が付着すると、印刷品質が低下します。
- プリントヘッドフィルタは感光体ユニットの交換が終わってから交換してください。先に交換すると、フィルタ上にトナーが落ち印刷品質が低下するおそれがあります。

11 **新しい廃トナーボックスを取り付けます。**

12 **プリンタの前カバーを閉じます。**

前カバーを閉じると、自動的に印刷可能な状態に戻ります。また感光体ユニットの寿命算出用カウンタもリセットされます。

以上で感光体ユニットキットの取り付けは終了です。

前カバーが閉じない場合は、廃トナーボックスがしっかり装着されているか確認してください。

定着オイルロールの交換

ここでは、定着オイルロールの交換方法を説明しています。

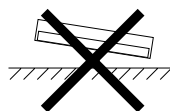
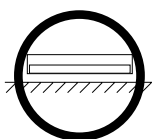
定着オイルロールについて

定着オイルロールは、トナーなどの汚れが定着ユニットに付着しないように、定着ユニットにオイルを供給する装置です。本機で使用可能な定着オイルロールは次の通りです。

定着オイルロール	型番 LPCA4TOR1

取り扱い上の注意

⚠警告　定着オイルロールを交換する場合は、定着器やその周辺部分が十分に冷えてから作業を行ってください。高温のため、火傷の原因となることがあります。

- 定着オイルロールの白いロール部分には直接触れないようにしてください。白いロール部分にはオイルが塗布されています。オイルは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなるため、オイルが手や衣服に付いた場合はすぐに水で洗い流してください。
- 定着オイルロールの白いロール部分に触れたり、傷を付けないように注意してください。オイル漏れの原因となります。また、印刷品質低下の原因となります。
- 定着オイルロールは、常に水平の状態で扱ってください。立てかけたり、斜めにすると、オイルが漏れて印刷品質などに影響が出ます。

保管上の注意

- 定着オイルロールは、必ず専用の梱包袋に入れた状態で保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で定着オイルロールを保管してください。
  温度範囲：0 ～ 35 ℃
  湿度範囲：30 ～ 85%
- 定着オイルロールは、高温多湿になる場所には置かないでください。
- 定着オイルロールは立てかけた状態で保管しないでください。平らな場所で保管してください。
- 定着オイルロールは、幼児の手の届かないところに保管してください。

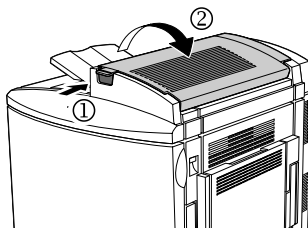
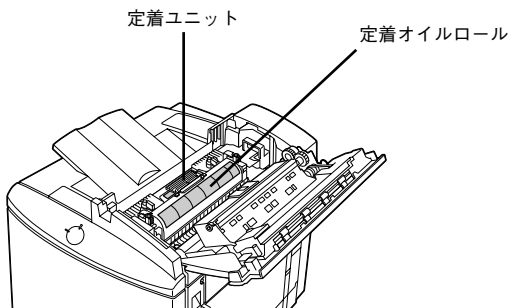
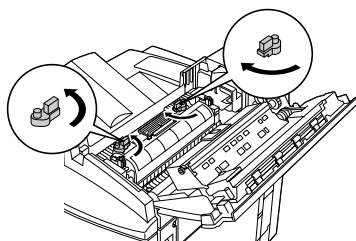
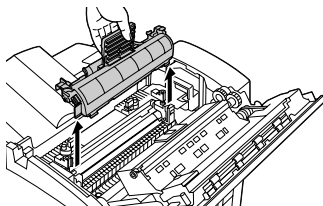
使用済みの消耗品のお取り扱いについて

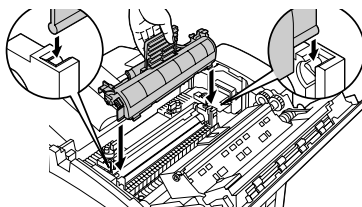
処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

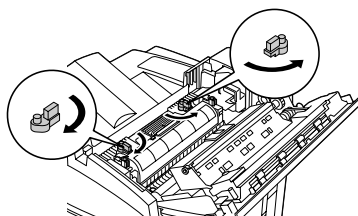
定着オイルロールの交換手順

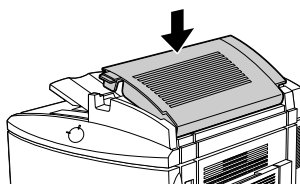
1 **EPSON プリンタウィンドウ !3 のメッセージを確認します。**

定着オイルロールの交換を促すメッセージが表示されます。

2 **カバー A ロック解除ボタンを押してから、プリンタ本体のカバー A を開けます。**

> ⚠注意 定着オイルロールを交換する場合は、その周辺部分（定着ユニットを含む）が十分に冷えてから作業を行ってください。高温のため、火傷の原因となることがあります。
>
>
>

3 **定着オイルロールを固定している 2 個の緑色のレバーを図の方向に回します。**

4 **定着オイルロールの緑色の取っ手を持って引き上げ、取り外します。**

定着オイルロールの表面に手を触れないでください。ロールには、シリコンオイルがしみこんでいます。オイルは人体には無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなるため、オイルが手や衣服に付いた場合はすぐに水で洗い流してください。

5 **新しい定着オイルロールのガイドをプリンタ側の溝に合わせてからゆっくり差し込みます。**

6 **定着オイルロールを固定する 2 個の緑色のレバーを図の方向に回します。**

定着オイルロール側の溝にレバーが合うようにします。

7 **プリンタ本体のカバー A を閉じます。**

カバー A を閉じると、定着オイルロール寿命算出用のカウンタがリセットされ自動的に印刷可能な状態に戻ります。

以上でオイルロールの取り付けは終了です。

廃トナーボックスの交換

ここでは、廃トナーボックスの交換方法を説明しています。

廃トナーボックスについて

廃トナーボックスは、印刷時に出る余分なトナーを回収するボックスです。
本機で使用可能な廃トナーボックスは次の通りです。

廃トナーボックス	型番 LPCA4HTB1

廃トナーボックスは、感光体ユニットキット（型番 LPCA4KUK1）にも含まれています。感光体ユニットの寿命よりも廃トナーボックスの寿命が先に終わった場合は、廃トナーボックスのみを交換してください。

取り扱い上の注意

⚠警告　廃トナーボックスは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

使用済みの廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。

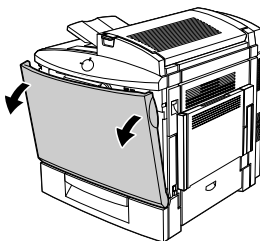
使用済みの消耗品のお取り扱いについて

処分される場合は、ポリ袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

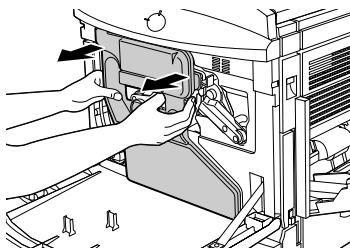
廃トナーボックスの交換手順

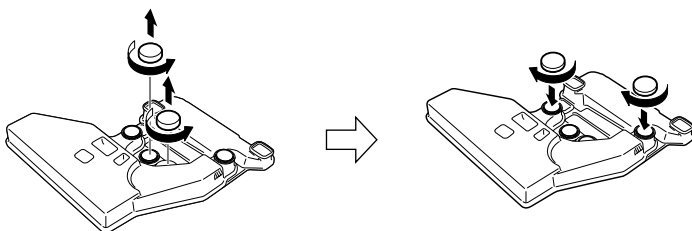
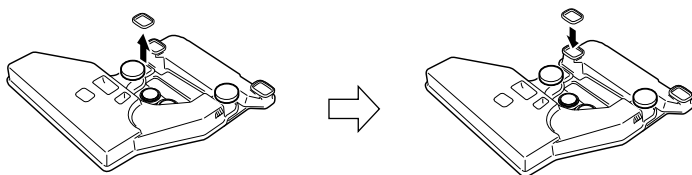
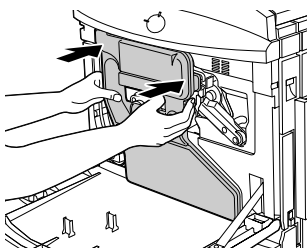
1 EPSON プリンタウィンドウ !3 のメッセージを確認します。

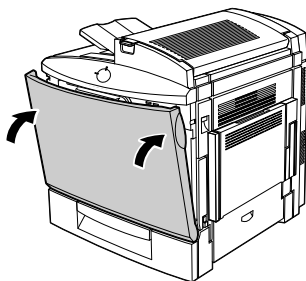
廃トナーボックスの交換を促すメッセージが表示されます。

廃トナーボックスの交換は、電源をオフにしなくても行えます。

2 プリンタ本体の前カバーを開けます。

3. **廃トナーボックスを手前に引いて取り外します。**

   真ん中の取っ手または図の位置を持って、廃トナーがこぼれないようにゆっくりと取り外します。

4. **廃トナーがこぼれないようにふたをします。**

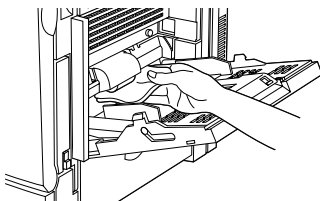
   - 廃トナーボックス裏側に付いている丸いふた2個を回して取り外し、それぞれ図の位置に取り付けます。

   - 廃トナーボックス裏側に付いている四角いふたを引き抜いて、図の位置にはめ込みます。

5. **新しい廃トナーボックスを取り付けます。**

6 **プリンタの前カバーを閉じます。**

前カバーを閉じると、自動的に印刷可能な状態に戻ります。

以上で廃トナーボックスの取り付けは終了です。

前カバーが閉じない場合は、廃トナーボックスがしっかり装着されているか確認してください。

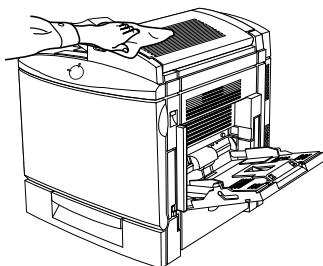
プリンタの清掃

給紙ローラのクリーニング

適切な用紙を使用しているにもかかわらず給紙不良が発生する場合は、下図に示す給紙ローラの汚れを拭き取ってください。
用紙トレイを開き、水を含ませて堅くしぼった布で、ていねいにローラを拭いてください。

- 給紙ローラをクリーニングしても給紙しない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店にご連絡ください。
- 給紙経路（用紙トレイや用紙カセット内部、フェイスダウントレイ）を拭いた場合、乾いたことを確認してから使用してください。

プリンタ本体のクリーニング

- プリンタの清掃は、電源をオフにしてコンセントから電源ケーブルを抜いたあとで、行ってください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形するおそれがあります。
- プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。
- 固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷がつくおそれがあります。

プリンタの表面が汚れたときは、水を含ませて堅くしぼった布で、ていねいに拭いてください。

プリンタの移動

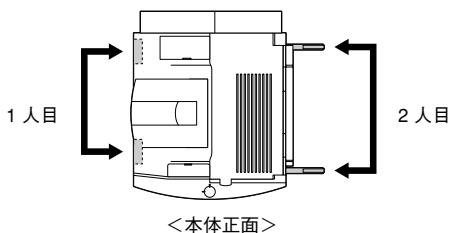
プリンタを運搬したり、移動するときには、以下のように作業を行ってください。

近くへの移動

はじめに本機の電源をオフにして、以下の付属品を取り外してください。振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

- 電源ケーブル
- インターフェイスケーブル
- 用紙トレイ、用紙カセット内の用紙

⚠注意

- プリンタ本体は、背面側の方が正面側より重くなっています。プリンタ本体を持ち上げる際に、重さの違いに注意してください。
- 本製品を持ち上げる際は必ず 2 人以上で作業を行ってください。
  本製品の重量は、消耗品を含め約 44.5Kg です。
  プリンタ本体を持ち上げる場合は、必ずプリンタ左側の下部にある取っ手（くぼみの部分）に手をかけ、右側のバーを引き出して持ち上げてください。
  他の部分を持って持ち上げると、プリンタの落下によるけがの原因となります。またプリンタ本体に無理な力がかかるため、プリンタの損傷の原因となります。

- プリンタ本体を持ち上げる場合、十分にひざを曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。
  無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタの破損の原因となります。
- プリンタ本体を移動する場合は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。
  転倒などによる事故の原因となります。
- プリンタ本体をキャスター（車輪）付きの台などに載せる場合、必ずキャスターを固定して台が動かないようにしてから作業を行ってください。作業中に台が思わぬ方向に動くと、けがやプリンタの損傷の原因となります。

運搬するときは

本機を輸送する場合、はじめに本機の電源をオフにして、以下の付属品を取り外してください。

- 電源ケーブル
- インターフェイスケーブル
- 用紙トレイ、用紙カセット内の用紙
- ET カートリッジ（4 色とも）
- 感光体ユニット
- 定着オイルロール
- 廃トナーボックス
- オプション増設カセットユニット（装着時）
- オプション両面印刷ユニット（装着時）

震動や衝撃からプリンタ本体を守るために本製品の購入時に使用されていた保護材や梱包材を使用して、購入時と同じ状態に梱包する必要があります。詳しくは、本機をお買い上げの販売店にご相談ください。

購入時にプリンタ内部に取り付けられていた保護材も必ず取り付けてください。

困ったときは

ここでは、困ったときの対処方法について説明しています。

印刷実行時のトラブル

プリンタの電源が入らない

電源ケーブルが抜けていたり、ゆるんでいませんか？

電源ケーブルをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。

コンセントに電源は来ていますか？

ほかの電気製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？

コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。
コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。

以上の 3 点を確認の上で［電源］スイッチをオンにしても電源が入らない場合は、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご相談ください。

ブレーカが動作してしまう

ブレーカの定格は十分ですか？

ブレーカの定格が十分であるにも関わらずブレーカが動作してしまう場合は、ほかの機器を別の配線に接続してみてください。
または本機用に専用配線を用意してください。

印刷しない

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルか確認します。
☞ スタートアップガイド「コンピュータとの接続」26 ページ

プリンタがデータを処理できません。

扱うデータ容量が大きすぎるなどの原因でプリンタ側でデータの処理ができません。プリンタにメモリを増設するか、コンピュータのハードディスクの容量を増やしてください。

プリンタが印刷できない状態です。

画面上でEPSON プリンタウィンドウ!3 の状態を確認し、画面の説明に従って対処してください。

本書「EPSON プリンタウィンドウ !3 とは」Windows 76 ページ
Macintosh 158 ページ

コンピュータが画像を処理できません。

コンピュータの CPU やメモリによっては画像データを処理できない場合があります。解像度を下げて印刷するか、メモリを増設してください。

EPSON プリンタウィンドウ !3 からプリンタの状態をモニタすることができますか？

通信機能が正常に機能していないと印刷できません。プリンタの状態（ステータス）が画面に表示できることを確認してください。

本書「プリンタの状態を確かめるには」Windows 78 ページ
Macintosh 160 ページ

ステータスが表示できない場合は、以下のページを参照してください。

本書「ステータス（状態）が取得できない」230 ページ

ネットワーク上の設定は正しいですか？

ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。

オプションのI/F カードの取扱説明書を参照して、ネットワークの設定を確認してください。

プリンタドライバの［詳細設定］ダイアログの解像度（Windows）印刷品質（Macintosh）の設定が「高品質」になっていませんか？

設定が「高品質」の場合、解像度 600dpi で印刷します。この設定で印刷するとプリンタのメモリが足りなくなり、メモリ関連のエラーが発生する場合があります。

設定を「標準」にすると印刷できる場合があります。

お使いの機種のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

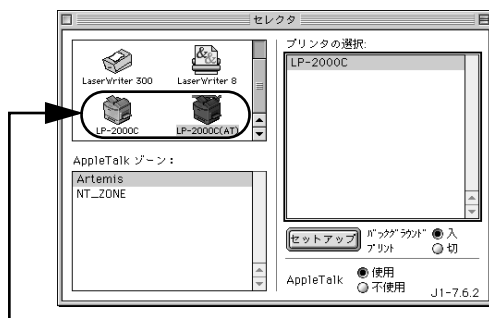
Windows の場合

- お使いの機種のプリンタドライバが、コントロールパネルのプリンタフォルダにアイコンとして登録されていますか？
- また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、以下の手順に従って通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。

① [スタート] ボタンをクリックしカーソルを [設定] に合わせ、[プリンタ] をクリックします。
② 使用するプリンタ名を選択し、[ファイル] メニューの [通常使うプリンタに設定] が選択されているか確認します。

「通常使うプリンタに設定」にチェックがついているか確認します。

Macintosh の場合

お使いの機種のプリンタドライバが、セレクタ画面で正しく選択されているか、選択したプリンタが実際に接続したプリンタと合っているか確認してください。

選択したプリンタドライバが正しいか確認します。

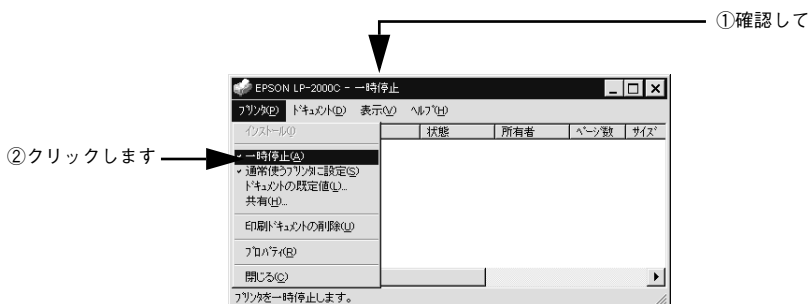
Windows プリントマネージャのステータスが［一時停止］になっていませんか？

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

Windows 95/98/Me の場合

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] にカーソルを合わせ [プリンタ] をクリックします。
② 使用するプリンタ名をクリックして［ファイル］メニュー内の［一時停止］または[プリンタをオフラインにする] にチェックが付いている場合はクリックして外します。

Windows NT4.0/2000 の場合

① [スタート] ボタンをクリックし、[設定] にカーソルを合わせ [プリンタ] をクリックします。
② 使用するプリンタ名のアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］の［一時停止］をクリックしてチェックを外します。

ステータス（状態）が取得できない

DMA 転送の設定になっていませんか ?

DMA 転送の設定になっているとステータスを画面表示（モニタ）することができないことがあります。この場合は、コンピュータのBIOS 設定を「ECP」（またはENHANCED）以外にして、DMA 転送の設定を解除してください。

本書「印刷を高速化するには」111 ページ

詳細はお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

コンピュータの ECP 機能は正常に機能していますか ?

ホスト側の ECP 機能に不具合があるとステータスを画面表示（モニタ）することができません。プリンタのジャンパスイッチの設定を変更することにより、ステータス情報が取得できることもありますので確認してください。プリンタ本体にあるジャンパスイッチの設定を ECP（初期設定）から NIBBLE（ニブル）の設定に変更してください。

双方向通信機能の設定を解除しませんでしたか ?

本機は双方向通信機能が有効になっていないと使用できません。以下のページを参考に、プリンタドライバの［詳細］ダイアログで［スプールの設定］ボタンをクリックして［プリンタスプールの設定］ダイアログを開き、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］を選択してください。

本書「プリンタ接続先の変更」105 ページ

［監視プリンタの設定］ユーティリティで、プリンタを監視しない設定にしていませんか?

［監視プリンタの設定］ユーティリティで、監視するプリンタにチェックを付けてください。チェックしないと本機を監視することができず、正常に印刷できません。

本書「監視プリンタの設定」83 ページ

プリンタがエラー状態になっている

コンピュータ画面上にワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されていませんか ?

問題が発生すると、コンピュータの画面上にポップアップウィンドウが開き、ワーニングメッセージやエラーメッセージが表示されます。メッセージが表示されている場合は、その内容を一読して必要な手段を講じてください。

メモリが正しく装着されていますか ?

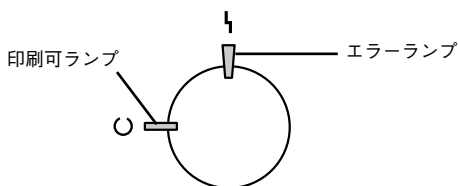
メモリが正しく装着されていないと、操作パネルのランプが次のような状態になり印刷できません。

［緑赤同時点滅 2 回→赤のみ点滅 2 回］

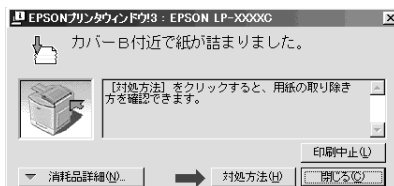
メモリの装着状態を確認してください。

本書「メモリの取り付け」195 ページ

プリンタのランプが点灯または点滅していませんか？

ランプが点灯または点滅していたら、次の説明を参照して適切な処置をしてください。

点灯　消灯　点滅　ゆっくりとした点滅

ランプの状態	プリンタの状態	ランプの状態	プリンタの状態
	電源オフ		印刷可能、節電中、印刷可能なワーニング
	消耗品交換間近		ウォーミングアップ データ受信中
	用紙なし、給紙ミスまたは用紙詰まり （カバーが開いています）		消耗品交換 EPSON プリンタウィンドウ !3 から解除可能なエラー
	サービスコールエラー。電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。正常な状態に復帰できない場合は、保守契約店（保守契約をされている場合）または販売店、またはエプソンの修理窓口まで連絡ください。エプソンの修理窓口についての詳細は「保守サービス」の項を参照してください。	（交互に点滅）	サービスコールエラー。電源をオフにして、しばらくたってから再度オンにしてください。正常な状態に復帰できない場合は、保守契約店（保守契約をされている場合）または販売店、またはエプソンの修理窓口まで連絡ください。エプソンの修理窓口についての詳細は「保守サービス」の項を参照してください。

ランプの表示だけでは、プリンタの状態を判断することはできません。
コンピュータの画面上で EPSON プリンタウィンドウ !3 を起動して確認してください。

「LPT1 に書き込みができませんでした」エラーが発生する

Windows プリンタドライバの設定が正しくありません。
以下の項目を確認してください。
- プリンタプロパティの［詳細］タブの「印刷先のポート」が正しく設定されているかを確認して印刷を実行してください。
- プリンタプロパティの［詳細］タブの「スプールの設定」で「プリンタに直接印刷データを送る」の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- ECP モードでご利用の場合､ECP モード対応のケーブルで接続していることを確認し、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」（ECP がない場合は「Bi-directional」）に、ポートを「ECP プリンタポート（LPT1）」など（お使いの Windows によってポート名が異なる場合があります）に設定して印刷を行ってみてください。BIOS 設定についての詳細はお使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。

Macintosh のセレクタにプリンタドライバまたはプリンタが表示されない

QuickDraw GX を使用していませんか？
本プリンタドライバは、QuickDraw GX に対応していません。
QuickDraw GX を使用停止にしてください。
スタートアップガイド「システム条件の確認」39 ページ

プリンタ名を変更していませんか？
ネットワークの管理者に確認して、変更したプリンタを選択してください。

AppleTalk ネットワークゾーンの設定が違います。
プリンタの接続されているゾーンを選択してください。

エラーが発生する

Macintosh をお使いの場合、MacOS 8.1 ～ 9.x を使用していますか？
プリンタドライバの動作可能環境は、MacOS 8.1 ～ 9.x です。
スタートアップガイド「システム条件の確認」39 ページ

［プリント］ダイアログの印刷モードの設定が［高品質］になっていませんか？
プリンタのメモリが足りないとメモリ関連のエラーが発生します。［プリント］ダイアログの印刷モード設定を［標準］にすると印刷できる場合があります。それでも印刷できない場合は、次項目を参照してください。

Macintosh のシステムメモリの空き容量は十分ですか？
Macintosh のプリンタドライバは、Macintosh 本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルの RAM キャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。

給排紙されない

プリンタをプリンタの底面より小さな台の上に設置していませんか？
プリンタの底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。プリンタの設置場所を確認してください。

プリンタは水平な場所に設置されていますか？
プリンタの下にはさまれている物はありませんか？
設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。

本機で印刷可能な用紙を使用していますか？
印刷可能な用紙を使用してください。
本書「用紙について」11 ページ

両面印刷ユニットを使用した両面印刷時に、印刷可能な用紙を使用していますか？
両面印刷で使用できる用紙は A4、Letter サイズの普通紙だけです。
本書「両面印刷ユニット」190 ページ

用紙をセットする前によくさばいていますか？
用紙を複数枚セットする場合は、セットする前に用紙をよくさばいてください。

用紙カセットがプリンタに正しくセットされていますか？
用紙カセットを正しくセットしてください。
本書「用紙カセットへの用紙のセット」17 ページ

セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？
ステータスシートまたは EPSON プリンタウィンドウ !3 で、用紙トレイまたは用紙カセットの用紙サイズを確認してください。
スタートアップガイド「ステータスシートの印刷」Windows 34 ページ
Macintosh 42 ページ
用紙サイズが正しく検知されていることを確認し、その用紙サイズをプリンタドライバでの設定と一致させてください。

プリンタドライバで給紙したい給紙装置を選択していますか？

プリンタドライバで使用する給紙装置を選択してください。

☞ 本書「[基本設定] ダイアログ」Windows 38 ページ
☞ 本書「[プリント] ダイアログ」Macintosh 133 ページ

アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？

給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先する場合があります。
アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。

給紙ローラが汚れていませんか？

用紙トレイから給紙されない場合は、給紙ローラを拭いてください。

☞ 本書「給紙ローラのクリーニング」222 ページ

紙詰まりエラーが解除されない

詰まった用紙をすべて取り除きましたか？

カバー B または C1 を一旦開閉してみてください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このような場合には無理に取り除こうとせずに、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店にご連絡ください。

用紙を二重送りしてしまう

用紙どうしがくっついていませんか？

用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。

官製ハガキや封筒の先端が下向きに反っていませんか？

先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

印刷が途中で中断されてしまう

コンピュータのパラレルポートの BIOS 設定を、「ECP」または「ENHANCED」に変更していますか？

コンピュータのパラレルポートの BIOS 設定が「ECP」または「ENHANCED」以外になっていると、印刷が途中で中断されてしまうことがあります。この場合は、印刷データを効率よくプリンタに送るために、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」または「ENHANCED」に設定してください。また、コンピュータの BIOS 設定を「ECP」または「ENHANCED」に設定できない、設定しても印刷が途中で中断されてしまう場合は、プリンタドライバで「全ページをスプールしてから印刷」を選択してください。

「通信エラーが発生しました」と表示される

プリンタに電源が入っていますか？
コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオン（ I ）にします。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？
プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲っていないかを確認してください。（予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。）

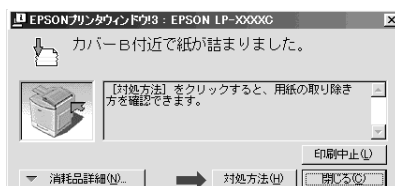
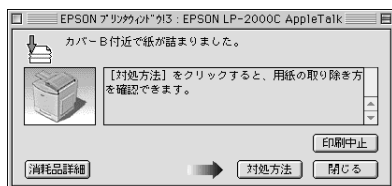
インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？（ローカル接続時）
インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。
本書「パラレルインターフェイスケーブル」189 ページ

ネットワークプリンタとして本機をお使いの場合に、印刷プロトコルとして IPX/SPX、Net BEUI、IPP を使用していませんか？
上記のプロトコルは使用できません。TCP/IP または AppleTalk を使用してください。

プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか？（ローカル接続時）
- Windows の場合、双方向通信機能の設定を確認してください。Windows 95/98/Me の場合、プリンタドライバの［詳細］ダイアログで［スプールの設定］ボタンをクリックして［プリンタスプールの設定］ダイアログを開き、［このプリンタで双方向通信機能をサポートする］が選択されているか確認してください。
- Windows NT4.0/2000 の場合、プリンタドライバの［ポート］ダイアログで［双方向サポートを有効にする］が選択されているか確認してください。

用紙が詰まったときは

用紙詰まりのメッセージ

用紙詰まりが発生した場合、どこで用紙が詰まったかを示すメッセージが EPSON プリンタウィンドウ !3 のウィンドウに表示されます。
[対処方法] ボタンをクリックすると、詰まった用紙を取り除く手順が表示されます。メッセージに従って詰まった用紙を取り除くことができます。

用紙が詰まった場所をメッセージで確認し、詰まった用紙を取り除いてください。詰まった用紙を取り除き、用紙カセットやカバーを閉じると、用紙詰まりの発生したページから、印刷を自動的に再開します。

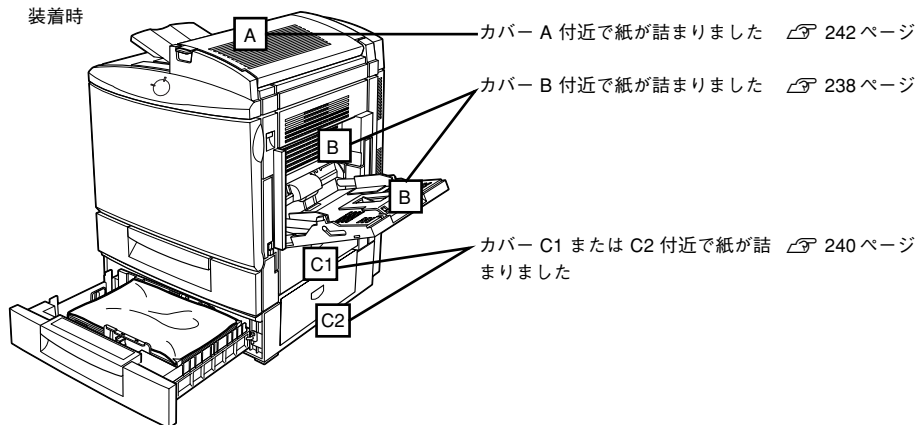
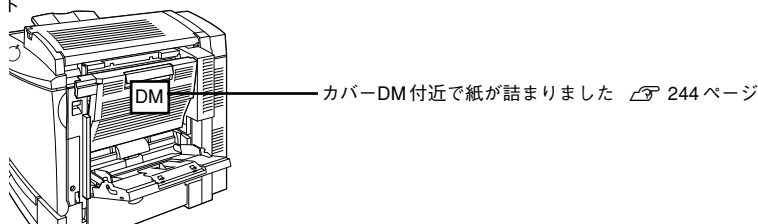
増設カセットユニット
装着時

A
B
B
C1
C2

カバー A 付近で紙が詰まりました　242 ページ
カバー B 付近で紙が詰まりました　238 ページ
カバー C1 または C2 付近で紙が詰まりました　240 ページ

両面印刷ユニット
装着時

DM

カバーDM 付近で紙が詰まりました　244 ページ

用紙の取り出しの注意

詰まった用紙を取り除くときは、次の点に注意してください。

- 用紙が破れてプリンタ内部に残らないよう、用紙に無理な力をかけずにゆっくりと引っ張って取り除いてください。
- 用紙を取り除く際に、破れた用紙がプリンタ内部に残ってしまった場合、また本書に記載の方法で取り除くことができない場所に用紙が詰まった場合は、無理に取り除こうとせずに、保守契約店（保守契約をされている場合）または販売店に連絡してください。
- プリンタ内部には、高温になっている箇所があります。「高温注意」を示すラベルが貼付してあるところには触れないよう注意してください。
- 用紙詰まりのエラー状態は、用紙を取り除いた後、用紙詰まりが発生した箇所のカバーやユニットを開閉することで解除されます。
- 用紙カセットや用紙トレイから用紙を引き出して取り除いた場合、エラー状態を解除するために、用紙カセットの場合はカバーC1、C2 を、用紙トレイの場合はカバーB を一度開閉してください。
- 排紙口から用紙を引っ張って取り除くことはしないでください。必ずプリンタ上部のカバーA を開けて取り除いてください。

用紙を取り除いてもエラーが解除されない場合は、見えない場所で紙詰まりが発生している可能性がありますので、保守契約店（保守契約されている場合）または販売店へご相談ください。

繰り返し紙詰まりが発生するときは

紙詰まりの主な原因は次のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、以下の点を確認してください。

- プリンタが水平に設置されていない
- 用紙トレイや用紙カセットに用紙が正しくセットされていない
- 用紙トレイや用紙カセットが正しくセットされていない
- 本機で使用できない用紙を使用している
- セットする前によくさばいていない
- 吸湿して波打ちしている用紙を使用している

カバー B での用紙詰まり

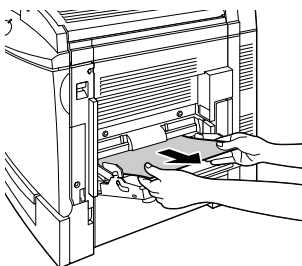
用紙トレイの給紙口またはプリンタのカバーＢ の内側で用紙詰まりが発生した場合、画面上に以下のメッセージが表示されます。

メッセージ
カバーＢ付近で紙が詰まりました。

用紙詰まりの箇所を以下の説明の順番通りに調べ、詰まった用紙を取り除いてください。

用紙トレイの確認

用紙トレイから給紙した場合は、用紙トレイに用紙が詰まっていないか確認します。

1. **詰まっている用紙を、図のようにゆっくり引き抜きます。**

2. **用紙が残っている場合は、セットし直します。**

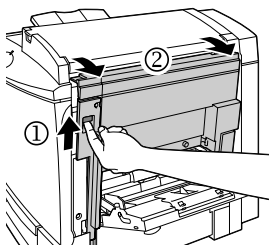
ポイント

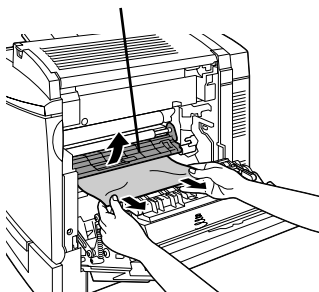
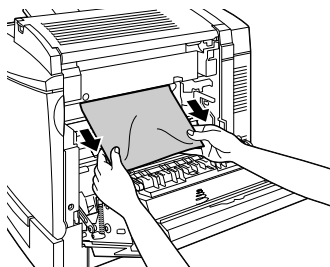
用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、カバー B を開閉することで解除されます。

詰まった用紙が見つからない場合は、次ページへ進んでください。

カバー B 内側の確認

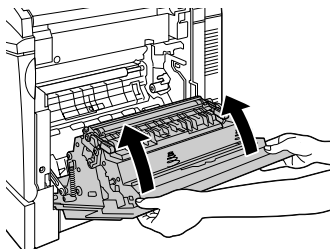
カバーB 内側を確認します。

1 **カバー B ロック解除ボタンを押してから、プリンタ本体のカバー B を開けます。**

2 **詰まっている用紙を矢印の方向にゆっくり引き抜きます。**

内側のパネルを持ち上げてから、
詰まった用紙を引き抜きます

下側で詰まっている場合

上側で詰まっている場合

用紙を取り除く際には、プリンタ内部のローラや転写ベルトに触れないようにしてください。

3 **プリンタ本体のカバー B を閉じます。**

カバーB を閉じると、自動的に印刷可能な状態に戻ります。

カバー C1、C2 での用紙詰まり

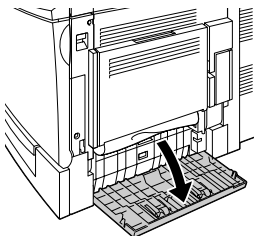
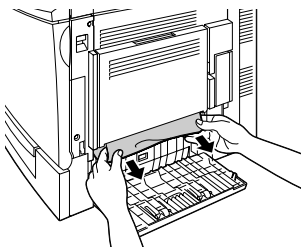
標準用紙カセットやオプションの増設カセットユニットの右側カバーで用紙詰まりが発生した場合、画面上に以下のメッセージが表示されます。

メッセージ
カバー C1 または C2 付近で紙が詰まりました。

用紙詰まりの箇所を以下の説明の順番通りに調べ、詰まった用紙を取り除いてください。以下の説明では標準用紙カセットのイラストを使用していますが、オプションの増設カセットユニットの場合も同様の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

カバー C1/C2 の確認

プリンタ本体右側のカバーC1 または増設カセットユニット右側のカバーC2 を確認してください（以下のイラストは標準用紙カセットの場合です）。

1. カバー C1 を開けます。

2. 用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。

3. カバー C1 を閉じます。

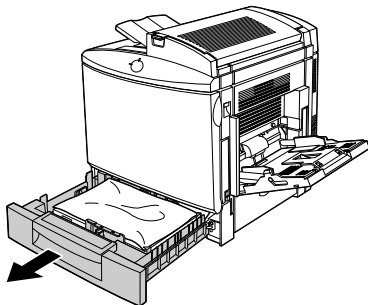
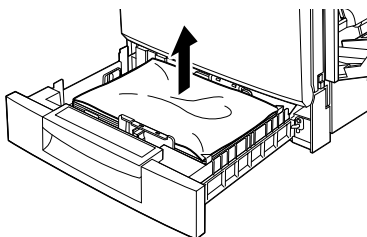
用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、カバー C1 を閉じることで解除されます。

用紙詰まりのエラー状態が解除されない場合は、カバー B に用紙が詰まっている場合があります。カバー B を確認してください。

本書「カバー B 内側の確認」239 ページ

用紙カセットの確認

用紙カセットの内部を確認します。

1. **用紙カセットをゆっくり、止まるまで引き出します。**
   紙詰まりを起こした用紙が破れないように注意して引き出してください。

2. **詰まっている用紙、シワが生じている用紙を取り除きます。**

用紙を取り除く際に用紙が破れてしまった場合、プリンタ内部に紙片が残っていないかを確認して、残っている紙片を取り除いてください。

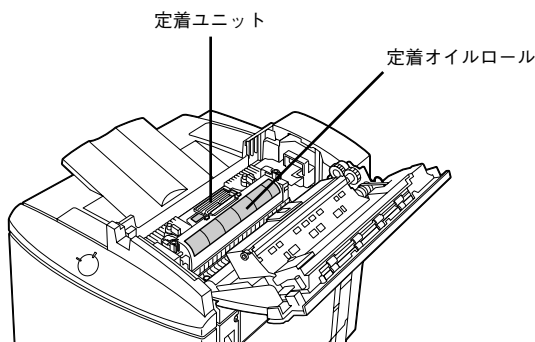
3. **用紙が給紙経路に入り込んでいる場合は、用紙カセットを取り外してから用紙をゆっくり引き抜きます。**

4. **用紙カセットの用紙をセットし直し、用紙カセットを閉じます。**

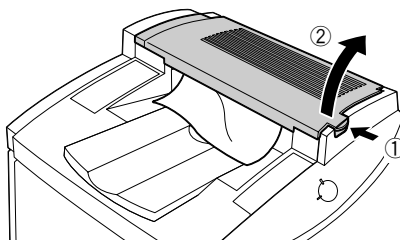
カバー A での用紙詰まり

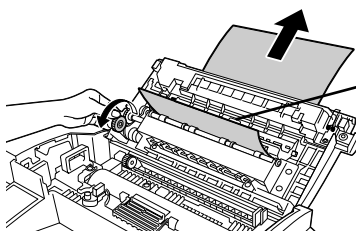
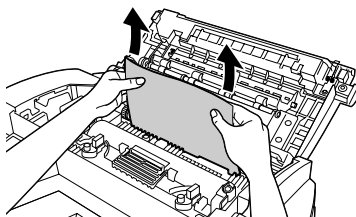
定着ユニット（本体上部）で用紙詰まりが発生した場合、以下のメッセージが表示されます。

メッセージ
カバー A 付近で紙が詰まりました。

⚠注意　詰まった用紙を取り除く場合は、定着ユニットの周辺部分（定着オイルロールを含む）が十分に冷えてから作業を行ってください。高温のため、火傷の原因となることがあります。

用紙詰まりの箇所を以下の説明の順番通りに調べ、詰まった用紙を取り除いてください。

排紙される途中で詰まった用紙は、必ずカバーA を開けて取り除いてください。詰まった用紙を無理に引っ張って取り除かないでください。

1 **カバー A ロック解除ボタンを押してから、プリンタ本体のカバー A を開けます。**

2 ギアを回転させて、詰まっている用紙を送り出し、ゆっくりと引き抜きます。

排紙口に詰まった用紙が見つからない場合は、3 へ進んでください。

3 内部に詰まっている用紙を、矢印の方向にゆっくりと引き抜きます。

4 カバー A を閉じます。

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、カバー A を閉じることで解除されます。

用紙詰まりのエラー状態が解除されない場合は、カバー B に用紙が詰まっている場合があります。カバー B を確認してください。

本書「カバー B 内側の確認」239 ページ

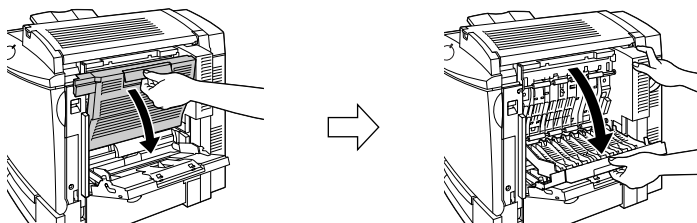
カバー DM での用紙詰まり

オプションの両面印刷ユニットで用紙詰まりが発生した場合、画面上に以下のメッセージが表示されます。

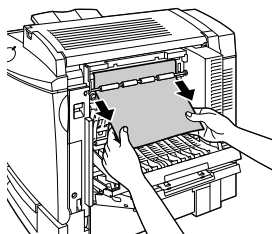
メッセージ
カバー DM 付近で紙が詰まりました。

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1. **用紙トレイを開けます。**

2. **両面印刷ユニットのカバーを開けます。**
   - 両面印刷ユニットの上端にある取っ手を上げると、カバーのロックが解除されます。
   - 両面印刷ユニットのカバーをゆっくりと開けます。

ポイント

用紙トレイが開いていないと、両面印刷ユニットのカバーは開けることができません。

3. **詰まっている用紙の端を持ち、破れないようにゆっくり引き抜きます。**

4. **両面印刷ユニットのカバーを閉じます。**

ポイント

用紙詰まりのエラー状態は、詰まった用紙を取り除いた後、両面印刷ユニットのカバーを閉じることで解除されます。

カラー印刷に関するトラブル

カラー印刷ができない

プリンタドライバの設定が、カラー印刷になっていますか？

Windows の場合、プリンタドライバの［基本設定］ダイアログまたは［詳細設定］ダイアログで［色］が［黒］に設定されているとカラー印刷ができません。
Macintosh の場合、プリンタドライバの［プリント］ダイアログで［色］が［モノクロ］に設定されているとカラー印刷ができません。
設定を確認してください。

本書「[基本設定］ダイアログ」Windows 38 ページ
本書「[プリント］ダイアログ」Macintosh 133 ページ

ソフトウェアの設定がカラーデータになっていますか？

ソフトウェア上でカラーデータになっているか確認してください。

従来機種と色合いが異なる

プリンタドライバの初期設定値およびカラーテーブルの違いによる差です。

プリンタドライバの［詳細設定］ダイアログの［ガンマ］を［1.5］にして印刷してみてください。それでも異なる場合は、スライドバーで微調整してください。

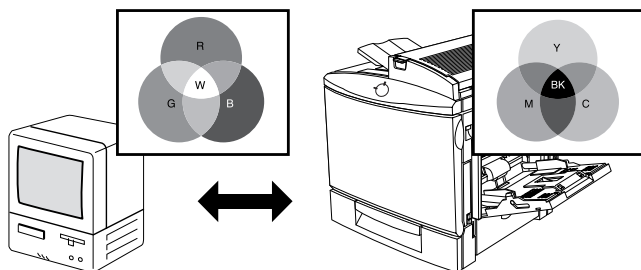
本書「[詳細設定］ダイアログ」Windows 43 ページ
Macintosh 138 ページ

画面表示と色合いが異なる

出力装置（ディスプレイとプリンタ）の違いによる差です。

ディスプレイ表示とプリンタで印刷した時の色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

テレビやディスプレイなどでは、赤（R）・緑（G）・青（B）の“光の三原色”と呼ばれる3色の組み合わせで様々な色を表現します。どの色も光っていない状態が黒、3色すべてが光っている状態が白となります。

一方、カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、シアン（C）・イエロー（Y）・マゼンタ（M）の“色の三原色”を組み合わせています。全く色を付けないのが白で、3色を均等に混ぜた状態が黒になります。

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）の変更が必要になり、完全に一致させることは難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチング（色の合わせ込み）を行うのが、ICM（Windows 95/98/Me/2000）やColorSync（Macintosh）です。

本書「より高度な色合わせについて」269ページ

Macintoshでシステム特性の設定を行いましたか？（ColorSync）

ColorSyncが正しく動作するためには、入力機器・使用アプリケーションがColorSyncに対応している必要があります。また、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。

本書「ColorSyncについて」166ページ

プリンタドライバのオートフォトファイン!4を有効にしていませんか？

オートフォトファイン!4は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのためオートフォトファイン!4を有効にしてあると、表示画面と色合いが異なる場合があります。

本書「[詳細設定]ダイアログ」Windows　43ページ
Macintosh　138ページ

普通紙を使用していませんか？

カラー印刷の場合は、使用する用紙によって仕上がりイメージがかなり異なります。最良の印刷結果を得るには、「EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙」の使用をお勧めします。

中間調の文字や、細い線がかすれる

［階調優先］/［自動］に設定していませんか？

細い線や細かい模様などを再現する場合には、［解像度優先］に設定してください。

本書「［詳細設定］ダイアログ」Windows 43 ページ
Macintosh 138 ページ

色むらが生じる

［解像度優先］/［自動］に設定していませんか？

微妙な色合いを再現する場合には、［階調優先］に設定してください。

本書「［詳細設定］ダイアログ」Windows 43 ページ
Macintosh 138 ページ

印刷品質に関するトラブル

きれいに印刷できない

トナーセーブ機能を使用していませんか？

トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

本書「[詳細設定] ダイアログ」Windows　43 ページ
Macintosh　138 ページ

[RIT] 機能を使用して印刷していますか？

文字をきれいに印刷したい場合は［RIT］機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータの場合は、[RIT] 機能を使用しないほうがきれいに印刷できる場合があります。

本書「[詳細設定] ダイアログ」Windows　43 ページ
Macintosh　138 ページ

解像度が［標準］(300dpi) に設定されていませんか？

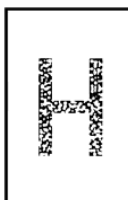
解像度を［高品質］(600dpi) に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データの場合、メモリ不足で印刷できない場合があります。その場合は、解像度を［標準］(300dpi) に戻すか、メモリを増設してください。

本書「[基本設定] ダイアログ」Windows　38 ページ
本書「[プリント] ダイアログ」Macintosh　133 ページ

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります？

新しい ET カートリッジに交換してください。

本書「ET カートリッジの交換」207 ページ

印刷が薄い（うすくかすれる、不鮮明）

用紙が湿気を含んでいます。

新しい用紙と交換してください。

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。

新しい感光体ユニットに交換してください。

本書「感光体ユニットキットの交換」211 ページ

ET カートリッジにトナーが残っていません。

新しい ET カートリッジに交換してください。

本書「ET カートリッジの交換」207 ページ

トナーセーブ機能を使用していませんか？

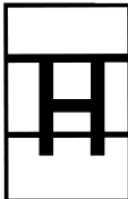
トナーセーブ機能を解除してください。

本書「[詳細設定] ダイアログ」Windows 43 ページ
Macintosh 138 ページ

汚れ（点）が印刷される

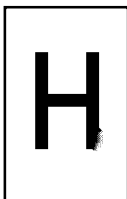
使用中の用紙が適切ではありません。
「印刷できる用紙の種類」を確認し、印刷できる用紙を使用してください。
本書「用紙について」11 ページ

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットに交換してください。
本書「感光体ユニットキットの交換」211 ページ

周期的に汚れがある

プリンタ内の定着器、または用紙経路が汚れています。
用紙を数枚印刷してください。

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しい感光体ユニットに交換してください。
本書「感光体ユニットキットの交換」211 ページ

定着オイルロールが汚れている可能性があります。
新しい定着オイルロールと交換してください。
本書「定着オイルロールの交換」216 ページ

指でこするとにじむ

用紙が湿気を含んでいます。

新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。

「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。

本書「印刷できる用紙の種類」11 ページ

厚紙を使用中に、設定が厚紙になっていません。

プリンタドライバで［用紙種類］を［厚紙］に設定してください。

本書「［基本設定］ダイアログ」Windows 38 ページ
本書「［プリント］ダイアログ」Macintosh 133 ページ

塗りつぶし部分に白点がある

使用中の用紙が適切ではありません。

「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。

本書「印刷できる用紙の種類」11 ページ

用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。

用紙トレイの場合は、表（印刷）面を下に向けてセットしてください。
用紙カセットの場合は、表（印刷）面を上に向けてセットしてください。

ET カートリッジが劣化または損傷している可能性があります。

新しい ET カートリッジに交換してください。

本書「ET カートリッジの交換」207 ページ

用紙が湿気を含んでいるかまたは乾燥しすぎています。

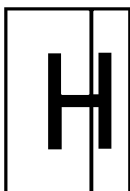
新しい用紙と交換してください。用紙は、密閉可能な容器に入れ湿気をさけて保管してください。

用紙全体が塗りつぶされてしまう

感光体ユニットが損傷または劣化している可能性があります。

新しい感光体ユニットに交換してください。

本書「感光体ユニットキットの交換」211 ページ

縦線が印刷される

感光体ユニットが損傷または劣化している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 本書「感光体ユニットキットの交換」211 ページ

何も印刷されない

一度に複数枚の用紙が搬送されています。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

感光体ユニットが劣化または損傷している可能性があります。
新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 本書「感光体ユニットキットの交換」211 ページ

裏面が汚れる

用紙経路が汚れています。
数ページ印刷してください。プリンタ内部に通紙することで汚れが取れる場合があります。

画面表示と印刷結果が異なる

画面と異なるフォント / 文字 / グラフィックスで印刷される

プリンタの使用環境に問題はありませんか？

画面と異なるフォントや文字、グラフィックスで印刷される場合は、まず印刷を中止してください。

本書「印刷の中止方法」Windows 119 ページ
Macintosh 165 ページ

再度印刷を実行してみてください。再度同様の現象が発生する場合は、次の点を確認してください。

- 使用環境の仕様に合った推奨ケーブルが正しく接続されていますか。
- お使いのコンピュータは本機の仕様に適合していますか。
- プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできますか。

画面と異なる位置に印刷される

Windows で使用の場合アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？

アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせてください。

本書「[基本設定] ダイアログ」Windows 38 ページ

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要になる場合があります。

プリンタドライバまたは操作パネルで［オフセット］の調整をしてください。

本書「[拡張設定] ダイアログ」Windows 71 ページ
Macintosh 142 ページ

罫線が切れたり文字の位置がずれる

アプリケーションソフトでお使いのプリンタの機種名を使用するプリンタに設定していますか？

各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、使用するプリンタをお使いのプリンタの機種名に設定してください。

USB 接続時のトラブル

インストールできない

お使いのコンピュータは Windows 98/Me/2000 プレインストールマシンまたは Windows 98 プレインストールされていて Windows Me/2000 にアップグレードしたマシンですか？

Windows 95 から Windows 98/Me/2000 へアップグレードしたコンピュータや USB ポートの動作が保証されていないコンピュータは正常に印刷できません。お使いのコンピュータについてはコンピュータメーカーへご確認ください。

☞ スタートアップガイド「システム条件の確認」29 ページ

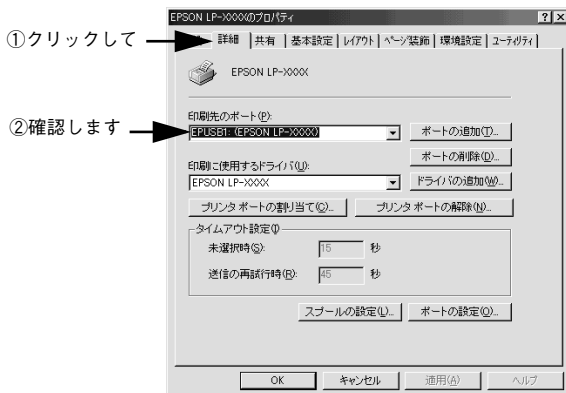
印刷できない（Windows）

プリンタドライバの接続先は正しいですか？

新たに USB 対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると、印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートの設定を確認してください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて［プリンタ］をクリックします。

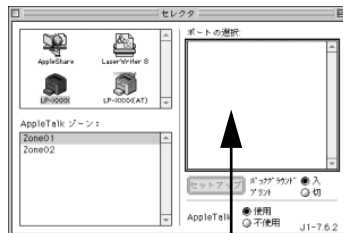
② お使いの機種名のアイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。

③［詳細］タブをクリックして［印刷先のポート］を確認します。USB 接続で本機をご利用の場合は［EPUSBx: (EPSON LP-XXXX（お使いの機種名））]（Windows 98/Me）／［USBx］（Windows 2000）と表示されていることを確認します。この表示があれば、USB プリンタとしてのプリンタドライバが正常に組み込まれています。

- パラレルケーブルでご利用の場合は、リストボックスから LPT1 を選択します。
- Windows 98/Me をお使いの場合で上記の表示がないときは、USB デバイスドライバがインストールされていないか、正常にインストールされていない可能性があります。プリンタソフトウェアを一旦削除してから再インストールしてください。
  本書「プリンタソフトウェアの削除方法」168 ページ

印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない

プリンタの電源がオンになっていますか？

プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにして、USB ケーブルを一度抜き差ししてください。

正しく表示されていない

プリンタ名が表示されていない

USB ハブに接続すると正常に動作しない

本機を USB ハブの 1 段目以外に接続していますか？

USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できます。コンピュータに直接接続された 1 段目以外の USB ハブに本機を接続していて正常に動作しない場合は、USB ハブの 1 段目に接続してお使いください。
また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。

USB ハブが正しく認識されていますか？

Windows の［デバイスマネージャ］の<ユニバーサルシリアルバス>の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。

- 正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、本機の USB コネクタをコンピュータの USB ポートに直接接続してみてください。
- USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合せください。

その他のトラブル

印刷に時間がかかる

節電機能を使用していませんか？

節電状態から印刷を実行すると、印刷開始の前にウォーミングアップを行いますので、排紙されるまでに時間がかかる場合があります。

本書「[プリンタ設定] ダイアログ」Windows 70 ページ
「[プリンタセットアップ] ダイアログ」Macintosh 156 ページ

画面上に「エンジン調整中」と表示されていませんか？

画占率の高いデータの印刷時や連続印刷時などには、良好な印刷品質を保つために、印刷の途中でプリンタが動作を一時的に停止して内部機能の自動調整を行うことがあります。
自動調整が完了すると印刷を自動的に再開しますので、そのままお待ちください。

Macintosh をお使いの場合、アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては十分ですか？

アプリケーションソフトへのメモリの割り当て量を増やしてください。

Macintosh をお使いの場合、バックグラウンドプリントを［入］にしていませんか？

ご利用の Macintosh によっては、バックグラウンドプリントを［入］にしておくと印刷に時間がか かることがありま す。バックグラウンドプリントを［切］に設定して印刷してください。

本書「EPSON プリンタウィンドウ !3」158 ページ

ファイルサイズの大きな画像データを印刷していませんか？

処理時間のかかる大きなサイズの画 像データを印刷する 場合は、プリンタのメモリの増設をお勧めします。プリンタのメモリサイズが大きい方が、より効率よく印刷できる場合があります。

Windows 共有プリンタへ印刷すると通信エラーが発生する

Windows 95/98 をご使用で IPX/SPX 互換プロトコルが組み込まれていると通信エラーが発生することがあります。

この場合は、サーバ側クライアント側それぞれにネットワークコンポーネントから［IPX/SPX 互換プロトコル］を削除します。

プリントサーバの EPSON プリンタウィンドウ !3［モニタ設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］にチェックが付いていますか？

プリントサーバにインストールされている本機の EPSON プリンタウィンドウ !3［モニタ設定］ダイアログで［共有プリンタをモニタさせる］にチェックが付いていないとクライアントからプリンタの状態を取得できないためエラーが発生します。

本書「モニタの設定」81 ページ

周辺の電化製品やパソコン機器に異常が発生する

電源容量は、十分に確保されていますか？

電源容量が十分に確保されていない環境においては、本機と同一の電源ラインに接続されている蛍光灯にチラつきが発生したり、パソコンがリセットするなどの現象が発生する可能性があります。

本機と蛍光灯、パソコンなどが接続されている電源ラインを分離してください。

（分電盤から独立して引かれた電源ラインへの接続をお勧めします。）

どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まずプリンタ本体の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。

（1）
プリンタのステータス（状態）が取得されているかを画面に表示させて確認します。ステータス情報を画面表示できますか？
本書「プリンタの状態を確かめるには」Windows　78 ページ
Macintosh　160 ページ

画面表示できる　　　　画面表示できない

（2-1）
プリンタ本体に問題はありません。プリンタドライバ上からステータスシートが印刷できますか？
本書「［環境設定］ダイアログ」
Windows　66 ページ
本書「［プリンタセットアップ］ダイアログ」
Macintosh　156 ページ

印刷できる　　　　印刷できない

（2-2）
以下の項目を確認してください。
- コンピュータ：双方向通信に対応していますか？
- 接続ケーブル：仕様に合ったケーブルですか？
  スタートアップガイド「コンピュータとの接続」26 ページ
- システム条件：条件を満たしていますか？
  スタートアップガイド「システム条件の確認」
  Windows　29 ページ
  Macintosh　39 ページ
- プリンタドライバの設定（Windows）：双方向通信が可能な状態に設定されていますか？
  以下のページを参考に確認してください。
  本書「プリンタ接続先の変更」105 ページ

問題なし　　　　問題あり

お使いのソフトウェアのトラブルが考えられます。エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。ご相談先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。

以下のページを参照してステータス情報が取得できるか確認してください。
本書「ステータス（状態）が取得できない」230 ページ

仕様に適合した環境に設定してください。

取得できる	ステータスが取得できる場合は、（2-1）へ進んでください。
取得できない	ステータスが取得できない場合は、プリンタ本体のトラブルです。 以下のページをご覧ください。 本書「保守サービスのご案内」277 ページ ご相談先はスタートアップガイドの巻末に記載されています。

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称をご確認のうえ、ご連絡ください。

付録

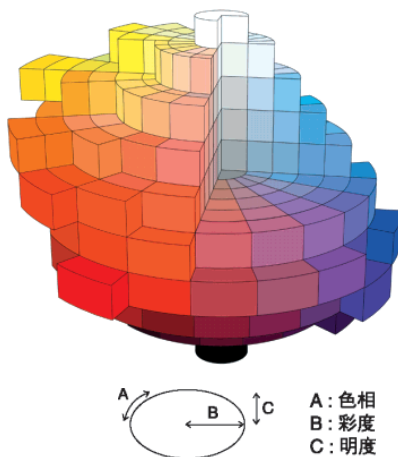
きれいなカラー印刷をするために

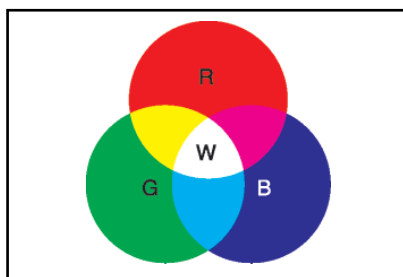
色の概念

普段、何気なく見ているディスプレイや紙の上で表現される“色”にも、さまざまな要素が含まれています。ここでは、カラー印刷の知識の基礎となる、「色」について説明しています。

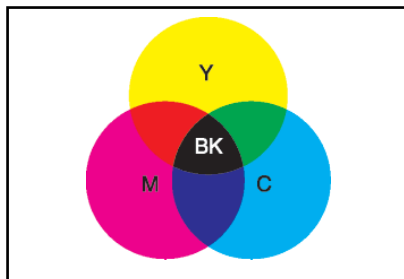
色の要素

一般に「色」というと赤や青などの色相（色合い）を指すことが多いのですが、色を表現する要素には、色相の他に彩度、明度という要素があります。
彩度は鮮やかさの変化を表す要素で、白みを帯びていない度合をいいます。例えば赤色の場合、彩度を上げるとより赤くなりますが、彩度を落とすに従って無彩色になっていき、最後はグレーになります。
明度はその字の通り、明るさ、つまり光の強弱を表す要素です。明度を上げればより白っぽく、逆に明度を落とせば暗くなります。
右の図（色立体と呼びます）は円周方向が色相変化を、半径方向が彩度変化を、高さ方向が明度変化を表します。

A：色相
B：彩度
C：明度

ディスプレイの発色プロセス＜加法混色＞

色は光によって表現されますが、ここでは、光がどのように色を表現するかを説明します。
例えば、テレビやディスプレイなどを近くで良く見ると、赤(R)、緑(G)、青(B)の3色の光が見えます。これは「光の三原色」と呼ばれるもので、光はこれら3色の組み合わせでさまざまな色を表現します。
この方法は、どの色も光っていない状態（すべてが0: 黒）を起点に、すべての色が光っている状態（すべてが100: 白）までを色を加えることで表現するため、CRTディスプレイで表現される色は、加法混色（加色法）と呼ばれます。

R: 赤　G: 緑　B: 青　W: 白

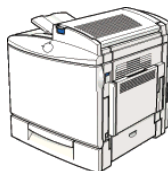
プリンタ出力の発色プロセス＜減法混色＞

加法混色で色が表現できるのは、そのもの自らが光を発することができる場合です。しかし多くの場合、自ら光を出すことはないため、反射した光で色を表現することになります。
例えば「赤いインク」の場合、次のようになります。
一般的に見られる「光」の中には、さまざまな色の成分が含まれています。この光が赤いインクに当たった場合、ほとんどの色の成分がインクに吸収されてしまいますが、赤い色の成分だけは、吸収されずに反射されます。この反射した赤い光が目に入り、その物体（インク）が赤く見えるのです。
このような方法を減法混色（減色法）と呼び、プリンタのインクや絵の具などはこの減法混色によって色を表現します。このとき、基本色となる色は加法混色の RGB ではなく、混ぜると黒（光を全く反射しない色）になるシアン (C)、マゼンタ (M)、黄色 (Y) の 3 色です。この 3 色を一般に「色の三原色」と呼び、「光の三原色」と区別します。

Y:黄　M:マゼンタ　C:シアン　BK:黒

理論的にはCMY の 3 色を混ぜると黒になります。しかし一般に印刷では、より黒をくっきりと表現するために黒 (BK) インクを使用し、CMYBK の 4 色で印刷します。

出力装置による発色の違い＜ディスプレイとプリンタ出力＞

コンピュータで作成したグラフィックスデータをプリンタに出力するとき、この加法混色と減法混色を考え合わせる必要があります。なぜなら、CRT ディスプレイで表現される色は加法混色であるのに対して、プリンタで表現される色は減法混色であるからです。

“光”の三原色で表示

“色”の三原色で印刷

この加法混色 (RGB) →減法混色 (CMY) 変換はプリンタドライバで行いますが、ディスプレイの表示はディスプレイの調整状態によっても変化するため、ディスプレイ表示とプリンタからの出力結果を完全に一致させることはできません。このように発色方法の違いにより、ディスプレイ表示と実際の印刷出力の色合いに差異が生じます。ただし、これらの差異をできる限り合わせこむことも可能です。

本書「より高度な色合わせについて」269 ページ

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画 (CMY) → ディスプレイ (RGB) → 印刷 (CMY) の変換が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチングの方法をキャリブレーションと呼び、市販のスキャナユーティリティソフトウェアの中にはこの機能があるものもあります。

印刷解像度について

ディスプレイに表示される画像やプリンタで印刷される画像は、小さなドット（点）で構成されています。印刷解像度は、1 インチ（約 2.54cm）あたりにいくつの点があるかを dpi（dot per inch）という単位で表現し、この値が大きい方がきめの細かい印刷結果を得ることができます。
本機の印刷解像度は、300dpi または 600dpi のいずれかを選択することが可能です。［詳細設定］ダイアログの解像度（Windows）/ 印刷品質（Macintosh）で「標準」（300dpi）または「高品質」（600dpi）を選択します。600dpi を選択すると、きめの細かいきれいな画像が印刷できますが、印刷時間は長くなります。また扱うデータ量が大きくなるため、メモリの増設が必要になる場合があります。
印刷の目的に合わせて印刷解像度を選択してください。

● 300dpi

● 600dpi

スクリーン線数について（解像度優先 / 階調優先）

印刷される画像の色の濃淡は、用紙上のトナーの点の密度を変化させることで表現します。この点の密度をスクリーン線数と呼び、1 インチ（約 2.54cm）あたりの密度を lpi（line per inch）という単位で表現し、この値が大きい方が精密な印刷結果を得ることができます。
プリンタドライバ上で［解像度優先］を選択すると、スクリーン線数を高めに設定して細い線や細かい模様を正確に再現した印刷結果が得られます。
［階調優先］を選択すると、スクリーン線数をやや低めに設定して細い線や細かい模様などは正確に再現できない場合がありますが、色調の変化などをよりなめらかに表現した印刷結果が得られます。
［自動］を選択すると、印刷するデータに対して適したスクリーン線数を自動的に選択して印刷します。

●階調優先

●解像度優先

カラー印刷のポイント

8～16色程度のイラストを印刷する場合は、プリンタドライバやアプリケーションソフトでカラー印刷を行う設定さえしておけば、特別な準備や調整は不要です。しかし、販売店でご覧になった写真のような印刷を行うには、印刷データの調整やパソコン環境の整備が必要です。

カラー画像の印刷と必要メモリの関係

カラー画像の印刷には多くのメモリを必要とします。
印刷に必要なメモリの量は、画像データのサイズや印刷時の設定によって変わります。
必要メモリの量に関係する印刷時の設定は、次の2つがあります。

- 印刷サイズ
- 解像度（[標準] 300dpi/ [高品質] 600dpi）

実際の印刷で必要となるプリンタのメモリの量は、印刷データやアプリケーションソフトにより異なりますが、通常使用における目安として下表を参考にしてください。DTP出力などで複雑な印刷にご使用の場合は、256MB（最大時）まで増設することをお勧めします。

印刷サイズ		用途	必要メモリ
片面	A4	一般文書	16MB（標準）16MB（高品質）
		写真	80MB（標準）80MB（高品質）
		グラフ・資料	16MB（標準）80MB（高品質）
両面	A4	一般文書	16MB（標準）16MB（高品質）
		写真	80MB（標準）144MB（高品質）
		グラフ・資料	80MB（標準）80MB（高品質）

また、カラー画像のデータサイズは、モノクロデータに比べ大きいものになるため、ご利用のコンピュータのハードディスクの空き領域を十分に確保する必要があります。主な入力装置でのカラー画像データサイズは、下表のようになります。

入力装置／品質		原稿サイズ	画素数（ピクセル）	画像データ容量	
デジタルカメラ	350000画素	－	640×480	900	KB
	870000画素	－	1024×768	2.3	MB
	1300000画素	－	1290×960	3.52	MB
	2140000画素	－	1600×1200	5.5	MB
フラットベッドスキャナ	300dpi	4'×6'	1200×1800	6.2	MB
		A4	2550×3600	26.3	MB
	600dpi	4'×6'	2400×3600	24.7	MB
		A4	5100×7200	105.1	MB
	1200dpi	4'×6'	4800×7200	100	MB
		A4	10200×14000	420	MB

スキャナから画像を取り込む場合のポイント

ハイライト / シャドウ / ガンマの設定に注意する

ハイライトは画像の階調を有して最も明るい部分、シャドウは階調を有して画像の最も暗い部分です。ガンマはこれらの傾きです。この３点を適切に設定して取り込むだけで、おおむねきれいな画像が得られます。
スキャナの取扱説明書を参照し、ハイライト / シャドウ / ガンマを正しく設定した上で画像を取り込んでください（画像中の暗い部分が黒くつぶれないように、明るい部分が白く飛ばないように注意してください）。詳しくは、お使いのスキャナの取扱説明書をご覧ください。

適切な設定

ハイライトが強い設定

シャドウが強い設定

Photo CD から出力する場合のポイント

Photo CD の画像を印刷で利用する場合、開いた画像をそのまま出力しても必ずしも高品位な出力結果は得られませんので、適切な処理が必要です（ハイライト / シャドウの設定、色かぶりの除去、シャープネス設定など）。
適切な処理をするためには、通常 Photoshop などのアプリケーションソフトで画像を補正しますが、本機のプリンタドライバで「オートフォトファイン !4」を使用して印刷すると、元データはそのままに、出力する画像に対して適切な処理を施し、高画質化して印刷することができます。

ポイント

処理すべき内容・方法については、「Photo CD プリプレスリファレンス*」などに詳しく記載されていますので、そちらを参照してください。
* Photo CD 制作サービスの窓口でお求めください。

印刷時のポイント（オートフォトファイン !4）

プリンタドライバの設定モードは、通常［推奨設定］にしておけば、標準的な印刷結果が得られるように色調整されています。しかし、ここで行われる色調整は、一般的かつ一律的なレベルですので、さらに細かく調整をしたい場合には［詳細設定］で微調整（設定変更）を行ってください。

● Windows ドライバ

● Macintosh ドライバ

オートフォトファイン !4

オートフォトファイン !4 とは、エプソン独自の画像解析 / 処理技術を用いて自動的に画像を高画質化して印刷する機能です。
一般的に、市場で「きれい」と感じられるデジタル画像には、ほとんどの場合、元データに対して何らかの「補正」がかけられています。通常、このような「補正」はフォトレタッチソフトなどを使用して行いますが、この作業には「色」に関する知識と、豊富な作業経験が要求されます。また、この作業には時間もかかります。このような難しい補正作業を、人の手に代わって自動的かつ短時間に行う機能が「オートフォトファイン !4」です。（印刷時に補正するだけで、元データに補正は加えません。）
この機能は、1 ページ内に複数の画像イメージが存在する場合にも、それぞれのイメージに対して個別の解析を行い、最適な処理を実行します。

ポイント

- 画像によって補正の効果は異なります。例えば、すでに適切な補正がかけられている画像などについては効果が薄くなります。
- 256 色などの色数の少ない画像データには有効に機能しないことがあります。
- 画像を解析しながら印刷処理を行うので、処理速度の遅い CPU を搭載しているコンピュータなどでは印刷時間が長くなります。
- ディスプレイ上の表示と印刷結果を合わせたいときは「ICM」（Windows）/「ColorSync」（Macintosh）を使用して印刷してください。
- EPSON 製デジタルカメラの画像転送ソフトにおいてオートフォトファインを使用した画像データには、プリンタドライバのオートフォトファイン !4 は使用しないでください。

オートフォトファイン!4 を指定して印刷を実行すると、プリンタドライバはまず画像全体の中から主要なオブジェクトを認識します。そして、そのオブジェクトを次のように解析して処理を行います。

RGB カラーバランスの補正	色かぶりが補正されます。オブジェクトのRGB ごとのヒストグラムを分析し、RGB ごとにトーンカーブ補正を行います。
解像度の補正	低解像度の粗い画像をきめ細かく表現します。画像データの解像度が低い場合、擬似的に解像度を上げて印刷します。
明るさの補正	暗すぎる（露出不足）画像などが修正されます。オブジェクトの明るさを分析し、輝度に対して最適なトーンカーブ補正を行います。
コントラストの強調	中間調のコントラストが上がり、メリハリのある画像になります。ヒストグラムの最小値と最大値を、それぞれ最適になるようにダイナミックレンジを拡大し、さらにヒストグラムの分布から、トーンカーブを画像に応じて適切に調整します。
彩度の強調	色あせた画像が鮮やかになります。画像の彩度の程度を分析し、その程度に応じた彩度調整をかけます。

オートフォトファイン!4 ON

●明るさの補正

●コントラスト・彩度の強調

●RGBカラーバランスの補正

※ 1ページの複数の画像に対して個別に適切な補正が行われます。

より高度な色合わせについて

例えばスキャナで取り込んだ画像を印刷する場合、原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いは完全には一致しません。これは、それぞれの機器の色の表現方法の違い、階調表現力の違い、またディスプレイ表示のクセ（偏った色表示をする）などが原因です。
このような場合の原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いをできるだけ一致（カラーマッチング）させるには、次の方法があります。

ディスプレイを調整する（モニタキャリブレーション）

ディスプレイはその機器ごとに表示特性が異なり、赤っぽく表示するディスプレイもあれば、青っぽく表示するディスプレイもあります。このように偏った表示をしている状態では、スキャナから取り込んだ画像や Photo CD などの画像は適切な明るさや色合いで表示されませんし、また印刷結果が予測できません。そこで、ディスプレイの調整が必要になります。
ディスプレイの調整については、以下を参照してください。

カラーマネジメントシステムを使う

原画・ディスプレイ表示・プリンタでの印刷結果の色合いを一致させるためのシステムとして、Macintosh では Apple 社の「ColorSync」、Windows 95/98/Me/2000 では Microsoft 社の「ICM」があります。カラーマネージメントシステムについては、次ページを参照してください。

ディスプレイの調整

ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）は、本格的に行うと非常に手間のかかる作業で、また測定機器なども必要になります。ここでは簡易的な調整手順を紹介します。ディスプレイの調整方法については、お使いのディスプレイの取扱説明書を参照してください。

ポイント

これらの調整を行うと、一部の明るさや色合いは原稿または印刷結果に近付けることができますが、すべてを近付けることはできません。最も気になる部分（肌色など）を重点的に調整してください。

1. **ディスプレイの電源をオンにし、30分以上おいてディスプレイの表示を安定させます。**

2. **室内の照明環境を一定にします。**
   自然光は避けて、なるべく一定の照明条件になるようにし、さらにフードを装着すると良いでしょう。

3. **ディスプレイのカラーバランス（色温度）を調整できる場合は、6500°Kに調整します。**

4. **ディスプレイのブライトネス調整を行います。**
   ディスプレイで表示される「黒」が、「真っ黒」に近くなるように調整します。

5. **Macintoshをお使いで、コントロールパネルに「ガンマ」が登録されている（Adobe Photoshopがインストールされている）場合は、ディスプレイのガンマ（グレー）調整を行います。**
   ガンマ補正の値は、一般的な1.8に設定するのが良いでしょう。

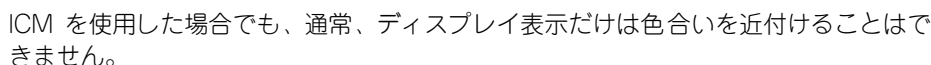
6. **ディスプレイでコントラスト調整ができる場合は、スキャナで取り込んだ画像の色が原稿またはプリンタの出力結果に近くなるように調整を行います。**

7. **調整が終了したら、ディスプレイのダイヤルなどが動かないように固定します。**

カラーマネージメントシステム「ICM」

スキャナから取り込んだ画像とプリンタでの印刷結果の色合いを近付けるために、Windows 95/98/Me/2000 では、Microsoft 社の「ICM」というカラーマネージメントシステムがあります。

ICM を使用した場合でも、通常、ディスプレイ表示だけは色合いを近付けることはできません。

ただし、次の場合に、ディスプレイ表示の色合いを近付けることができます。

- ディスプレイ調整機能によって、ディスプレイをガンマ特性 2.2、色温度 6500゜K に調整した場合。（前ページを参照してください。）
- Windows 98/Me をご利用で、ディスプレイメーカーから ICC プロファイル（色特性データファイル）が提供されており、なおかつアプリケーションソフトが対応している場合。（詳細は、ディスプレイおよびアプリケーションソフトの取扱説明書をご覧ください。）

ポイント

- 「ICM」は、Windows 95/98/Me/2000 用のプリンタドライバでのみご利用になれます。
- TWAIN ドライバなどスキャナについての詳細は、スキャナの取扱説明書をご覧ください。
- Windows 98/Me/2000 の ICM は Windows 95の ICM よりも高い精度で色合いを近づけることができます。

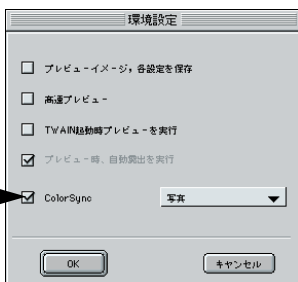
カラーマネージメントシステム「ColorSync」

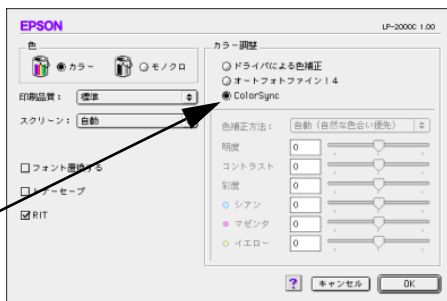
「ColorSync」は、原画（印刷データ）、ディスプレイの表示、印刷結果の色の合わせ込みを行う Apple 社のカラーマネージメント機能です。
以下に、「ColorSync」を使用しての、画像の取り込みから印刷までの流れを示します。

「ColorSync」を利用するには、Macintosh に「ColorSync」がインストールされている必要があります。

1 **まず始めに、お使いのディスプレイの特性を設定します。**

☞ 本書「ColorSync について」166 ページ

2 **スキャナから画像を取り込む場合は、TWAIN（スキャナの画像取り込み用ソフト）で、「ColorSync」を使用して画像を取り込みます。**

画面は EPSON GT-7000（スキャナ）の場合です。

3 **プリンタドライバで「ColorSync」を選択して、印刷します。**

- 「ColorSync」を選択して色合わせを行う場合は、RGB の画像データを使用してください。CMYK、Lab などのデータでは、正しく色合わせができません。
- 一部のアプリケーションソフトでは、ソフトウェア上で ColorSync の設定が行えます（AdobePageMaker6.5J、Photoshop4.0J 以降、Illustrator7.0J 以降など）。ソフトウェア上で ColorSync の設定を行う場合は、プリンタドライバでは「ColorSync」を選択せず、[ドライバによる色補正] ー [色補正方法：色補正なし] を指定してください。

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

エプソン FAX インフォメーション

EPSON 製品に関する最新情報を 24 時間、FAX でお引き出しいただけます。FAX 付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）からおかけください。

FAX 番号　：	スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
情報内容　：	製品情報（カタログ、機能概要） 技術情報（Q&A など） パソコンスクール、サービスセンター情報など

エプソンインフォメーションセンター

EPSON プリンタに関する様々なご質問やご相談に電話でお答えします。
受付時間および電話番号につきましてはスタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。

インターネット・パソコン通信サービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、パソコン通信による情報の提供を行っています。また、プリンタドライバは、エプソン販売（株）WWW サーバおよびパソコン通信による提供が行われています。最新プリンタドライバを組み込む場合は、ダウンロードした圧縮ファイルを解凍後、SETUP.EXE を実行してインストールしてください。

インターネット	エプソン販売 WWW SERVER http://www.i-love-epson.co.jp （ソフトウェアダウンロードサービス）
パソコン通信名	@nifty パソコン通信サービス * EPSON information Forum（コマンド：GO␣FEPSONI） ␣は、半角スペースです。 ＊ @nifty（アット・ニフティ）会員のうち、旧 NIFTY SERVE 会員のみ利用可能。

ショールーム

EPSON製品を見て、触れて、操作できるショールームです。所在地およびオープン時間などにつきましては、スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。

パソコンスクール

スキャナ、デジタルカメラ、プリンタそしてパソコン。でも、分厚い解説本を見たとたん、どうもやる気が失せてしまう。エプソンデジタルカレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。お問い合わせはスタートアップガイド巻末の一覧をご覧ください。

最新プリンタドライバの入手方法とインストール方法

弊社プリンタドライバは、アプリケーションソフトのバージョンアップなどに伴い、バージョンアップを行うことがあります。必要に応じて新しいプリンタドライバをご使用ください。プリンタドライバのバージョンは数字が大きいものほど新しいバージョンとなります。

最新のプリンタドライバ入手方法

最新のプリンタドライバは、下記の方法で入手してください。

- パソコン通信をご利用の方は、下記 BBS[*1] よりダウンロード[*2] が可能です。

パソコン通信名	@nifty パソコン通信サービス * EPSON information Forum（コマンド：GO□FEPSONI） □は、半角スペースです。 * @nifty（アット・ニフティ）会員のうち、旧 NIFTY SERVE 会員のみ利用可能。

*1 BBS：（Bulletin Board System）パソコン通信上の電子掲示板サービス。
*2 ダウンロード：ホストコンピュータに登録されているデータを、ネットワーク通信などを介して自分のコンピュータに取り出す（コピーする）こと。

- インターネットの場合は、次の WWW サーバでダウンロードできます。

インターネット	【アドレス】http://www.i-love-epson.co.jp 【サービス名】ドライバダウンロード

- CD-ROM での郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承けたまっております。

ポイント

各種ドライバの最新バージョンについては、EPSON FAX インフォメーションにてご確認ください。FAX インフォメーションの詳細については、スタートアップガイドの裏表紙にてご案内しております。

インストール手順

ダウンロードした最新プリンタドライバは圧縮[*1] ファイルとなっていますので、次の手順でファイルを解凍[*2] してからインストールしてください。

*1 圧縮：1つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。

*2 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

ポイント

インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

本書「プリンタソフトウェアの削除方法」Windows 120 ページ
Macintosh 168 ページ

1. プリンタドライバをハードディスク内のディレクトリへダウンロードします。

2. ［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックし、表示されるページを参照して、解凍とインストールを実行してください。

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソン販売のホームページへ接続した場合です。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。
エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3 年、4 年、5 年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応ースポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心ー万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単ーエプソンサービスパック登録書をFAXするだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化ーエプソンサービスパック規約内・期間内であれば、都度修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

保守サービスのご案内

「故障かな ?」と思ったときは、あわてずに、まず「困ったときは」をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。
保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンフィールドセンター（スタートアップガイド裏表紙の一覧表をご覧ください）
  受付日時 ：月曜日〜金曜日（土日祝祭日・弊社指定の休日を除く）
  受付時間 ：9：00 〜 17：30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店または最寄りのエプソンフィールドセンターまでお問い合わせください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金と支払方法</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td>年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代・部品代* は無償になるため予算化ができて便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
* 消耗品（インクカートリッジ・トナー・用紙など）は、保守対象外となります。</td><td>無償</td><td>年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>無償</td><td>出張料+技術料+部品代
修理完了後
そのつどお支払いください。</td></tr>
</table>

- 定期交換に伴う出張基本料・技術料・部品代は、保証期間内・外を問わず、有償となります。
  （年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります。）
- 当機種は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

フロッピーディスクについて（Windows）

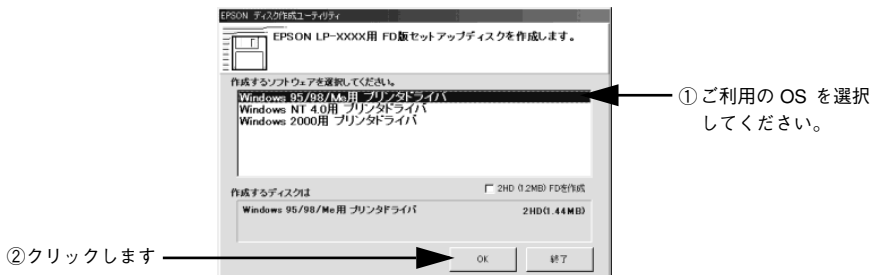
添付のプリンタドライバは、CD-ROM で提供しております。3.5 インチのフロッピーディスクからのインストールをご希望のお客様は、以下の手順でセットアップディスクを作成してからインストールを行ってください。
セットアップディスク作成ユーティリティは、お使いのコンピュータに CD-ROM ドライブがなくても、お近くに CD-ROM とフロッピーディスクを使用できるコンピュータがあれば、セットアップディスクを作成できるユーティリティです。

フロッピーディスクを作成する

1. **EPSON プリンタソフトウェア CD-ROM をコンピュータにセットします。**

2. **機種選択の画面が表示されたら、お使いのプリンタの機種名をクリックして、［次へ］ボタンをクリックします。**

3. **以下の画面が表示されたら、［フロッピーディスク版セットアップディスクの作成］をクリックして［次へ］ボタンをクリックします。**

4. **フロッピーディスクを作成するプリンタソフトウェアを選択します。**

5. **この後は、画面の指示に従ってディスクを作成してください。**

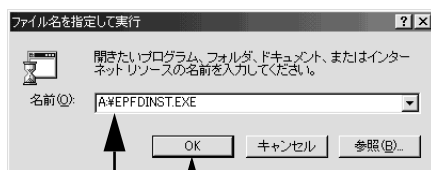
ローカル接続時のインストール

フロッピーディスクをご利用の場合、CD-ROM からのインストールとは手順が多少異なります。以下の説明とスタートアップガイドを併せてご覧いただき、インストールを実行してください。
以下の手順に従ってください。

1 **セットアップディスク 1 をコンピュータにセットします。**

2 **画面下の［スタート］ボタンをクリックし、［ファイル名を指定して実行］をクリックします。**

3 **セットしたドライブ名と実行コマンド「EPFDINST.EXE」を半角文字で入力して、［OK］ボタンをクリックします。**

＜入力例＞ A ドライブにセットした場合：
A:¥EPFDINST.EXE

4 **インストール方法を選択して、インストールを開始します。**

- ［インストールする］を選択して［開始］ボタンをクリックすると、ローカルハードディスクのテンポラリフォルダに CD-ROM でのイメージを展開します。以降は画面のメッセージに従ってフロッピーディスクを入れ替えてください。
- ［ハードディスクにコピーする］を選択して［開始］ボタンをクリックすると、上記の CD-ROM でのイメージを任意のフォルダに展開することができます。

5 **プリンタドライバのインストールが終了すると、3で展開された CD-ROM でのイメージがハードディスクから自動的に削除されます。**

プリンタの仕様

プリンタの仕様について記載しています。

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査＋乾式一成分トナー電子写真方式
解像度	600dpi
プリントモード	B/W モード　：黒のトナーのみを使用するモノクロ印刷モード 最高の速度で印刷を行う カラーモード　：４色（イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック）のトナーを使用するカラー印刷モード
スピードモード	標準モード　：各プリントモードの最高の速度で印刷を行う 特殊紙モード*1　：90g/m^2 を超える厚紙と封筒および OHP シートへのトナーの定着性を維持ために減速して用紙を搬送する
ウォーミングアップタイム	150 秒以内（22℃、定格電圧にて）
稼働音	稼働時　：55dB（A）以下 待機時　：41dB（A）以下

*1 以下の場合に、プリンタは良好な印字品質を保つために印刷速度を落として印刷します。
- 用紙サイズにハガキ、洋形0、4、6 号を選択した場合。
- ユーザ定義サイズで用紙長を210mm 未満に設定した用紙を選択した場合。
- 用紙種類にOHP シート、厚紙を選択した場合

プリント速度　（PPM= 枚 / 分）

プリントモード	スピードモード	片面印刷時		両面印刷時 *
		A4, LT, A5, B5	ハガキ	A4, LT
B/W モード	標準モード	20PPM	−	13PPM
	特殊紙モード	3.8PPM	3.8PPM	−
カラーモード	標準モード	5PPM	−	5PPM
	特殊紙モード	2.4PPM	2.4PPM	−

* 両面の印刷速度は、ページ（面）/ 分を表しています。

ファーストプリント

プリントモード	スピードモード	片面印刷時			両面印刷時
		A4	LT/B5	A5	A4/LT
B/W モード	標準モード	16 秒	16 秒	16 秒	25秒
	特殊紙モード	29 秒	28 秒	28 秒	−
カラーモード	標準モード	25 秒	25 秒	25 秒	37秒
	特殊紙モード	38 秒	38 秒	37 秒	−

必要メモリ量

印刷サイズ		用途	必要メモリ
片面	A4	一般文書	16MB（標準）16MB（高品質）
		写真	80MB（標準）80MB（高品質）
		グラフ・資料	16MB（標準）80MB（高品質）
両面	A4	一般文書	16MB（標準）16MB（高品質）
		写真	80MB（標準）144MB（高品質）
		グラフ・資料	80MB（標準）80MB（高品質）

用紙関係

給紙方法	用紙トレイまたは用紙カセットユニットによる自動給紙	
用紙容量	用紙トレイ	• 普通紙またはEPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙（60～90g/m^2）：150 枚（または 18.5mm） • ラベル紙、EPSON カラーレーザープリンタ用OHP シート、厚紙（91～163g/m^2）、官製ハガキ：50 枚 • 封筒：10 枚
	用紙カセット（標準）	普通紙または EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙（60～90g/m^2）：500 枚（または 55mm）
	増設カセットユニット*	
排紙方法	フェイスダウン	
排紙容量	フェイスダウン：500 枚（A4/LT, 80g/m^2）	

* はオプション

用紙の種類

用紙を大量に購入する場合、購入前に通紙印字チェックをしてください。

普通紙	• 60 ～90g/m^2 • 一般に適用しているコピーペーパー、再生紙 • EPSON カラーレーザープリンタ用上質普通紙
特殊紙 （用紙トレイからのみ給紙できます）	• ラベル紙 • カラーペーパー • 官製ハガキ • 封筒 • EPSON カラーレーザープリンタ用 OHP シート* • 厚紙（91 ～163g/m^2）

* これ以外のOHP シートは使用不可。

用紙サイズと給紙方法

用紙サイズ			用紙トレイ	用紙カセット*1	増設カセット*2	両面印刷*3
A4		210 × 297mm	○*4	○*4	○*4	○
A5		148 × 210mm	○*4	−	−	−
B5		182 × 257mm	○*4	−	−	−
Letter（LT）		215.9 × 279.4mm（8.5 × 11 インチ）	○*4	○*4	○*4	○
Half-Letter（HLT）		139.7 × 215.9mm（5.5 × 8.5 インチ）	○*4	−	−	−
Executive（EXE）		184.15 × 266.7mm（7.25× 10.5インチ）	○*4	−	−	−
Government Letter（GLT）		203.2 × 266.7mm（8 × 10.5インチ）	○*4	−	−	−
官製ハガキ		100 × 148mm	○*4	−	−	−
封筒*5	洋形 0 号	120 × 235mm	○*4	−	−	−
	洋形 4 号	105 × 235mm	○*4	−	−	−
	洋形 6 号	98 × 190mm	○*4	−	−	−

*1 標準の用紙カセットです。
*2 オプションの増設カセットユニットの用紙カセットです。
*3 オプションの両面印刷ユニット装着時です。
*4 用紙の給紙方向に対して縦長になる向きでセットします。
*5 封筒は、フラップ（閉じ口）を閉じた状態で奥側にしてセットします。

印刷可能領域

印刷可能領域は、印刷の実行のみを保証する領域。
用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷可能。

定形紙 （単位：ドット、600dpi）

名称	a	b	c	d	e	f
A4	120	4720	120	120	6776	120
A5	120	3256	120	120	4720	120
B5	120	4060	120	120	5832	120
Letter（LT）	120	4860	120	120	6360	120
Half Letter（HLT）	120	3060	120	120	4860	120
Executive（EXE）	120	4110	120	120	6060	120
Government Letter（GLT）	120	4560	120	120	6060	120
官製ハガキ	120	2122	120	120	3256	120
洋形０号	120	2594	120	120	5310	120
洋形４号	120	2240	120	120	5310	120
洋形６号	120	2074	120	120	4248	120

不定形紙

名称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1932	120	120	3258	120
最大サイズ	120	4980	120	120	6780	120

アプリケーションソフトで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。

印刷保証領域

印刷保証領域は、印刷の実行と印刷結果の画質を保証する領域。
用紙の各端面から5mm を除く領域に印刷可能。

定形紙 （単位：ドット、600dpi）

名称	a	b	c	d	e	f
A4	120	4720	120	120	6776	120
A5	120	3256	120	120	4720	120
B5	120	4060	120	120	5832	120
Letter（LT）	120	4860	120	120	6360	120
Half Letter（HLT）	120	3060	120	120	4860	120
Executive（EXE）	120	4110	120	120	6060	120
Government Letter（GLT）	120	4560	120	120	6060	120
官製ハガキ	120	2122	120	120	3256	120
洋形０号	120	2594	120	120	5310	120
洋形４号	120	2240	120	120	5310	120
洋形６号	120	2074	120	120	4248	120

不定形紙

名称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1932	120	120	3258	120
最大サイズ	390	4980	342	120	6780	406

アプリケーションソフトで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。

電気関係

定格電圧	AC100V ± 10%
定格電流	12A
周波数	50 ～ 60Hz ± 3Hz
消費電力	最大　：1000W 以下 待機時　：250W 以下 モノクロ印刷時平均　：700Wh 以下 カラー印刷時平均　：550Wh 以下 節電時　：30Wh 以下

環境使用条件

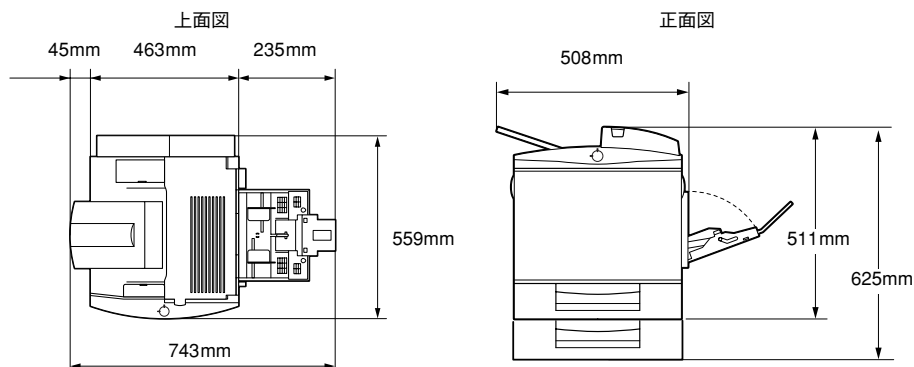
動作時	温度　：10 ～32℃ 湿度　：15 ～85%（ただし結露しないこと） 高度　：2500m 以下 水平度　：前後および左右の傾き 1 度以下 照度　：3000lx 以下 周囲スペース　：左側方 100mm、右側方 444mm、前方 656mm、後方 100mm
保存・輸送時	温度　：0 ～ 35℃ 湿度　：30 ～85%

コントローラ基本仕様

RAM	標準　：16MB オプション増設時　：最大 256MB
インターフェイス	標準　：セントロニクス　双方向パラレル IEEE 1284 準拠　ニブルモード、ECP モード USB 1.1　1ch オプション　：Type B I/F（1スロット）

外観仕様

外形寸法	幅463*mm ×奥行き 559mm ×高さ 511mm （* 用紙トレイを収納した状態）
重量	約44.5kg （消耗品を含む）

外寸図

オプションと消耗品仕様

ET カートリッジ	型番	： ET カートリッジ　シアン（C）　LPCA4ETC1C ET カートリッジ　マゼンタ（M）　LPCA4ETC1M ET カートリッジ　イエロー（Y）　LPCA4ETC1Y ET カートリッジ　ブラック（Bk）　LPCA4ETC1K
	寿命 *1	： 各色 6000 ページ（A4、画占率 5%） 画占率 5% 未満で印刷した場合最大 8000 ページ
	保存環境温度	： 0 ～ 35℃
	保存環境湿度	： 30 ～ 85%
感光体ユニットキット *3	型番	： LPCA4KUK1
	同梱品	： 感光体ユニット、廃トナーボックス、プリントヘッドフィルタ
	寿命 *1	： モノクロ印刷（連続印刷）30000 ページ （一定の間隔をおいた印刷）10000 ページ カラー印刷　（連続印刷）7500 ページ （一定の間隔をおいた印刷）5000 ページ
	保存環境温度	： 0 ～ 35℃
	保存環境湿度	： 30 ～ 85%
定着オイルロール *3	型番	： LPCA4TOR1
	寿命 *1	： モノクロ印刷（連続印刷）21000 ページ （一定の間隔をおいた印刷）10000 ページ カラー印刷　（連続印刷）7500 ページ （一定の間隔をおいた印刷）5000 ページ
	保存環境温度	： 0 ～ 35℃
	保存環境湿度	： 30 ～ 85%
廃トナーボックス *2	型番	： LPCA4HTB1
	寿命 *1	： モノクロ印刷（連続印刷）30000 ページ（画占率 5%） カラー印刷　（連続印刷）7500 ページ（各色、画占率 5%）
	保存環境温度	： 0 ～ 35℃
	保存環境湿度	： 30 ～ 85%
増設カセットユニット	型番	： LP30CWC1
	給紙スピード	： A4 モノクロ印刷時 20PPM A4 カラー印刷時 5PPM
	用紙サイズ	： A4、Letter
	用紙容量	： 500 枚（55mm）
	重量	： 5.5kg（カセットのみでは 2.7kg）
	外形寸法	： 435mm (W) × 488mm (D) × 116mm (H)
両面印刷ユニット	型番	： LPCDSP2
	給紙スピード	： A4 モノクロ印刷時 13PPM A4 カラー印刷時 5PPM
	用紙サイズ	： A4、Letter
	重量	： 1.7kg
	外形寸法	： 353mm (W) × 135mm (D) × 228mm (H)

*1 印刷の仕方（連続印刷 / 一定の間隔をおいた印刷）により実際の寿命は変化します。

*2 廃トナーボックスは感光体ユニットと同時に交換してください。画占率が高い印刷を繰り返すと感光体よりも早めに寿命が終わります。この場合、廃トナーボックスのみ別に購入し、交換してください。

*3 ウォーミングアップを繰り返すと寿命は短くなります。また封筒、厚紙、ラベル、ハガキ、OHP など特殊紙への印刷を繰り返した場合も寿命は短くなります。

索引

数字

C

D

E

F

I

J

L

N

O

R

S

T

U

あ

い

う

え

お

か

き

く

け

こ

さ

し

へ

ほ

め

も

ゆ

よ

ら

り

れ

わ